

昭和61年版

数字で見る図書館活動

調布市立図書館

図書館の自由に関する宣言

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを、もっとも重要な任務とする。

この任務を果たすため、図書館は次のことを確認し実践する。

- 第1 図書館は資料収集の自由を有する。
- 第2 図書館は資料提供の自由を有する。
- 第3 図書館は利用者の秘密を守る。
- 第4 図書館はすべての検閲に反対する。

図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまで自由を守る。

社団法人 日本図書館協会

(1979年5月30日 総会決議(改訂)注文)

図書館員の倫理綱領

日本図書館協会

この倫理綱領は、「図書館の自由に関する宣言」によって示された図書館の社会的責任を自覚し、自らの職責を遂行していくための図書館員としての自律的規範である。

(図書館員の基本的態度)

第1 図書館員は、社会の期待と利用者の要求を基本的なよりどころとして職務を遂行する。

(利用者に対する責任)

第2 図書館員は利用者を差別しない。

第3 図書館員は利用者の秘密を漏らさない。

(資料に関する責任)

第4 図書館員は図書館の自由を守り、資料の収集、保存および提供につとめる。

第5 図書館員は常に資料を知ることにつとめる。

(研修につとめる責任)

第6 図書館員は個人的、集団的に、不断の研修につとめる。

(組織体の一員として)

第7 図書館員は、自館の運営方針や奉仕計画の策定に積極的に参画する。

第8 図書館員は、相互の協力を密にして、集団として専門的能力の向上につとめる。

第9 図書館員は、図書館奉仕のため適正な労働条件の確保につとめる。

(図書館間の協力)

第10 図書館員は図書館間の理解と協力につとめる。

(文化創造への寄与)

第11 図書館員は住民や他団体とも協力して、社会の文化環境の醸成につとめる。

第12 図書館員は、読者の立場に立って出版文化の発展に寄与するようつとめる。

日本図書館協会は、わが国の図書館の現状にかんがみこの倫理綱領を作成し、提唱する。本協会はこの綱領の維持発展につとめると共に、この綱領と相いれない事態に対しては、その改善に向けて不断に努力する。

昭和61年版

数字で見る図書館活動

目 次

I 調布市の概況	4
1. 人 口	4
2. 財 政	7
II 図書館の概況	12
1. 運営方針	12
2. 昭和60年度図書館重点事業	12
3. 図書館配置図	13
4. 各館別施設概況	13
III 各館の概況	16
1. 中央館(16) 2. 国領分館(18) 3. つつじヶ丘分館(20)	
4. 深大寺分館(22) 5. 神代分館(24) 6. 宮の下分館(26)	
7. 緑ヶ丘分館(28) 8. 富士見分館(30) 9. 若葉分館(32)	
10. 染地分館(34) 11. 佐須分館(36)	
IV 各館の事業	38
V 図書館の動き	42
1. 蔵書状況	42
(1) 年度別蔵書の推移	42
(2) 館別購入・寄贈受入・除籍冊数	43
(3) 館別蔵書整備計画	44
2. 登録状況	47
(1) 年度別・町別登録者数	47
(2) 館別・町別登録者数	47
(3) 年度別・館別登録者数	47
(4) 館別・職業別登録者数	47
(5) 市内小中学生の登録状況(昭和59年度調査結果)	61

(6) 参考資料 登録者分布状況、利用圏の特徴(東工大昭和59年度調査分析結果)	73
3. 貸出状況	79
(1) 年度別貸出冊数	79
(2) 年度別・館別貸出冊数	79
(3) 館別団体貸出冊数	79
(4) 館別図書予約件数	80
VI 障害者サービス	87
1. 朗読サービス	87
2. 点訳サービス	88
VII 集会・学習活動	91
1. 集会・学習活動の状況	91
2. 行 事	91
3. 図書館まつり	93
4. 調布ブッククラブ	94
(1) 事 業	95
(2) サークル	96
5. 地域文庫	101
VIII 視聴覚ライブラリー	102
1. 事 業	102
2. 視聴覚機材・教材の利用状況	102
IX そ の 他	106
1. 将来計画	106
2. 貸出制度と開館時間	108
3. 運営組織(条例、館則、規則、基準等)	110
4. 事務分掌表	119
X 年 表	121

I 調布市の概況

昭和30年4月調布町・神代町が合併し、人口4万5千余人の調布市が誕生した。

調布市の歴史は、自然が与えた野川沿いに始まり、そこは、先人が残した遺物が数多く発見され、縄文時代中期の土器も出土しており、奈良時代の万葉集には、「多摩川にさらす手づくりさらさらになにそこの児のここだ愛しき」とうたわれ、今も残る、布田、染地、といった地名が当時の人々の生活を象徴的にうっしだしている。更に江戸時代には、甲州街道（国道20号）沿いに宿場が設けられ、「布田五宿の貸座敷」として当時はかなり有名であった。

現在の調布市は、東京都のほぼ中央部、多摩地区の南東部に位置し、都心部へ約24kmの距離にある。また、副都心新宿へは東へ15km 私鉄（京王線）で15分、東西に京王線と甲州街道（国道20号）、ほぼ北東から西南にかけて中央自動車道が横断しており、典型的な近郊住宅都市である。地形は、南端の多摩川附近の低地から北に向うに従って高台となる段丘で、武蔵野台地と立川台地の上に広がり、深大寺附近は、武蔵野の面影を残す絶好の住宅地である。

面積 21.79 km²（東西約7km、南北5.7km）

位置 東経139度32分 北緯35度38分（市役所）

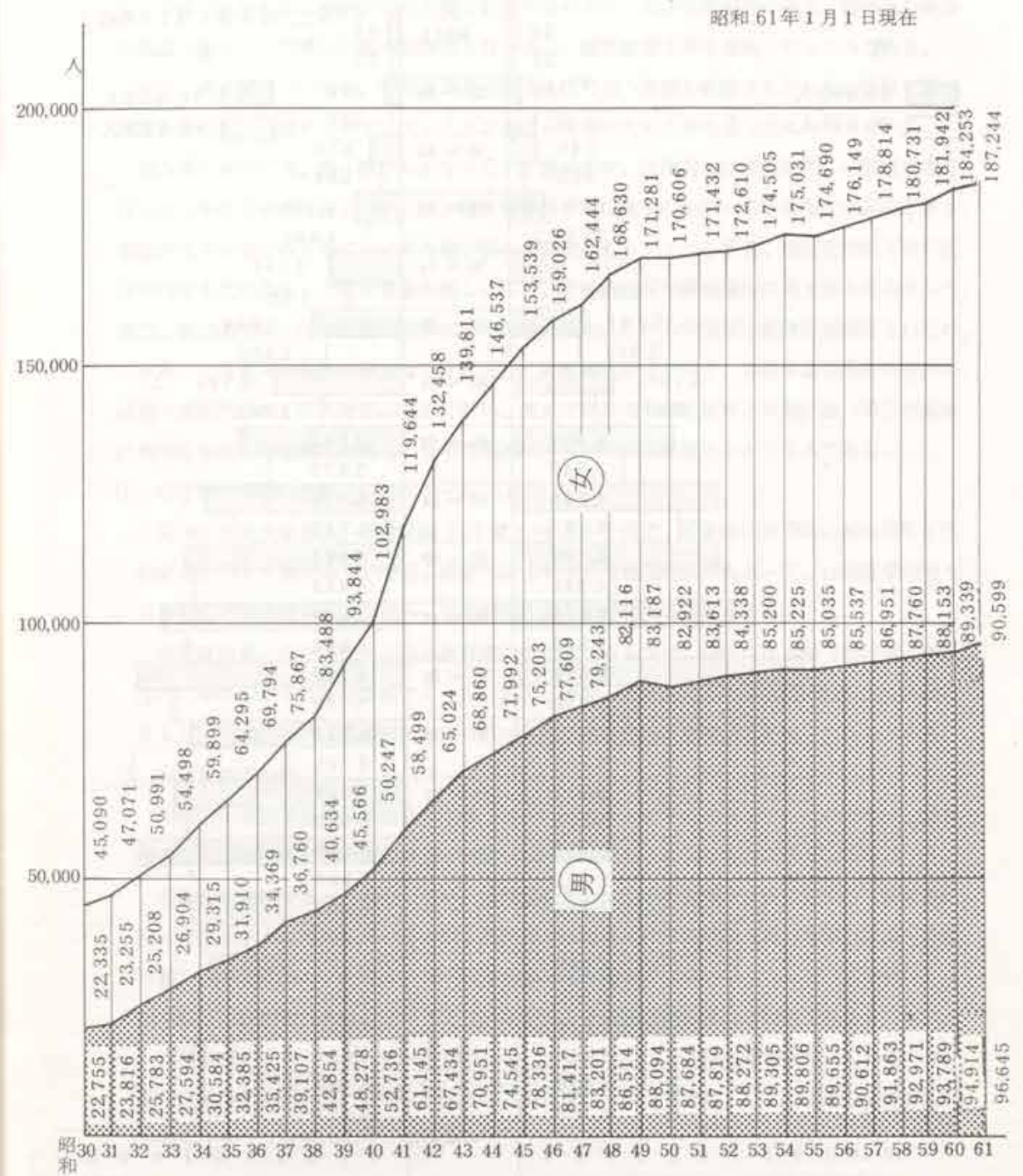


1. 人口表 (I-1)

人口の分布状況を町別にみると、甲州街道（国道20号）と、それに平行して走る私鉄（京王線）に沿って市街地を形成している地域（小島町、布田、国領町、仙川町等）、新しく集団住宅の建設によって形成された住宅地域（染地、西つつじヶ丘、緑ヶ丘等）に大別することができるが、近年は、首都圏内都市に共通する宅地化の波にさらされ、道路の整備とバス路線の充実によって、人口分布も全市的に拡大されつつある。

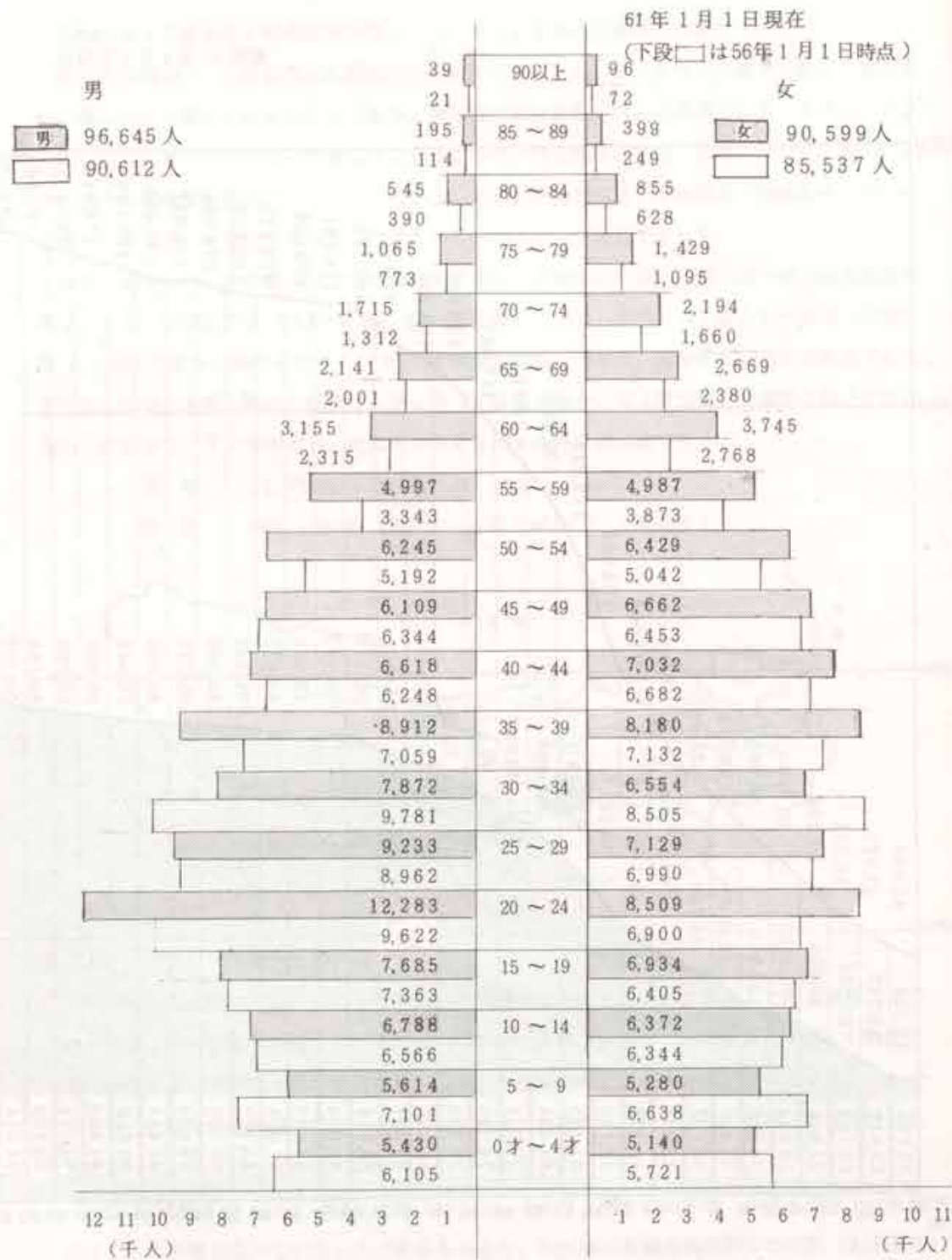
人口の異動をみると、ほぼ安定横ばいとなっており、男女の比率は、次第に男が上回り現在は6千人余増となっている。人口構成をみると、わが国に共通の典型的なつぼ型（先進国型）に近づきつつある。世帯数 74,691世帯 人口総数 187,244人

調布市人口グラフ 表 (I-1)



年齢（5才階級）別、男女別人口の構成

表〔I-1〕



2. 財 政

わが国経済は、回復、拡大の過程をたどっているとはいえ、基本的には低成長の基調にあるといえよう。加えて、地方財政の大幅な財源不足の中で、赤字国債減額の優先、補助金の総合的見直し等といった厳しい歳出抑制策を打ち出し、超緊縮型予算を編成したところである。

一方、東京都においては、行政改革の名の下に市町村へ負担が転嫁されかねない状況にあり、財源の重点配分に徹する中で、マイタウン東京の実現のための折り返し点にかかっている。

調布市においても、国・都から少なからず影響を受け、財政的には非常に苦しい実情にある。収入の大半を占める市税については、経済情勢及び人口増加の停滞から自然増収は期待できず、収益事業その他の収入等についても伸び悩みの状態にあり、また59年度、地方交付税不交付団体の指定を受けるという財政事情の厳しい中で、市税の徴収等財源確保に最大限の努力をした。他方、歳出面では、行政需要の増大による施設の増加、これらの施設の維持管理経費をはじめ、人件費、公債費等の義務的経費は年々累増し、財政構造悪化の中で、事務事業の見直しを行い、経費の徹底的節減と収入財源の確保に努め、健全で効果的な財政運営と長期計画（第三次基本計画の2年次）の着実な実施で、公平な市民サービスの向上に努力したところである。

(1) 年度別決算額の推移 表〔I-2-(1)〕

昭和60年度決算額は、市費総額 370 億 664 万 8 千円で、図書館開設当時の昭和41年と比較すると 17.5 倍であり、副都心新宿へは15分という地理的条件もあって、行政需要の増大と多様化する住民ニーズを生み、首都圏都市としての発展を如実に示している。

本年度決算の中で市費に占める教育費の割合は 19.6 %で、前年に比べ額で約12億 4,900 万円、率において21%の増加であった。更に、市費、教育費に占める図書館費の割合は各 0.4 %、2.2 %であり、前年に比べやや低率なのは施設建設工事費がなくなったためである。

(2) 図書館費の内訳 表〔I-2-(2)〕

昭和60年度図書館費決算額は、1億 5,604 万円余と前年に比べ減少しているのは、図書館資料保存庫完成に伴い施設建設工事費がなくなったことによるものである。

各節毎に比較すると、減少しているのは特に著しい工事請負費のほかは委託料（警備委託料）であり、また増加しているのは、資料保存庫完成に伴う備品購入費（書架、除湿・冷暖房機）が特に著しく、そのほかは一般需用費（印刷製本費「このほんよんで！」の発行）・使用料及び賃借料（土地借上料）となっている。その他は前年とはほぼ同額である。

61年度当初予算は、厳しい財政事情の中、前年度比約 2 千万円の増額となっているのは、新中央館用図書購入費（5 年計画による初年次購入費）であり、いよいよ新中央館建設に向けてスタートを切ったことになる。

年度別決算額の推移 表〔1-2-(1)〕

科目	年度	40	41	47	48	49	50	51
市費総額		1,729,966	2,111,464	1,677,143	1,283,262	1,461,907	16,440,767	18,127,507
指数			100	553	608	692	778	859
教育費		468,770	486,168	235,580	437,172	409,083	5,484,729	4,196,469
指数			100	485	899	841	1,128	863
市費に占める割合			23.0%	20.2%	34.0%	28.0%	33.3%	23.1%
図書館費		18,960	5,914	34,140	97,698	173,055	64,615	53,695
(図書費)			2,044	15,435	20,878	40,083	26,225	17,577
(建設費)		17,348	0	0	53,287	100,689	0	0
(その他)			3,870	18,704	23,533	32,283	38,390	36,118
指数			100	577	1,652	2,926	1,092	908
市費に占める割合			0.3%	0.3%	0.8%	1.2%	0.4%	0.3%
教育費に占める割合			1.2%	1.4%	2.2%	4.2%	1.1%	1.3%
人口		102,983	119,644	162,444	168,630	171,281	170,606	172,610
指数			100	136	141	143	143	144
人口一人当り	市費	16,798	17,647	69,247	74,921	85,689	95,902	105,020
	教育費	4,552	4,063	13,970	25,524	23,978	31,993	24,311
	図書館費	184	49	202	570	1,014	376	311
	図書購入費		17	92	122	235	152	102
図書館分館開館時			中央	宮の下		富士見・ 緑ヶ丘	若葉	

- 図書館費に職員の給与等人員費は含まれていない。
- 人口は1月1日現在。人口1人当りの金額は単位円で示す。
- 44年度国領分館開館、45年度つつじヶ丘分館開館、46年度深大寺、神代分館開館。
- ※ 40、41年度は開館準備年度と開館年度。

(単位 千円)

	52	53	54	55	56	57	58	59	60
	20,942,418	21,746,176	24,331,014	26,876,122	30,229,207	31,855,245	32,295,852	34,544,398	37,006,648
	992	1,030	1,153	1,273	1,431	1,509	1,530	1,636	1,753
	3,480,825	4,532,321	4,647,420	5,126,437	6,195,692	4,802,891	5,259,307	6,000,325	7,249,014
	716	932	956	1,054	1,274	988	1,082	1,234	1,491
	166%	20.8%	19.1%	19.1%	20.5%	15.1%	16.3%	17.4%	19.5%
	68,539	83,015	134,977	91,971	275,630	127,283	120,476	176,760	156,042
	20,227	22,004	55,242	35,314	58,291	51,898	53,959	49,990	49,955
	0	0	0	0	151,548	0	0	49,350	0
	48,312	61,011	79,735	56,657	65,791	75,385	66,517	77,420	106,087
	1,159	1,404	2,283	1,555	4,661	2,152	2,037	2,989	2,741
	0.3%	0.4%	0.6%	0.3%	0.9%	0.4%	0.4%	0.5%	0.4%
	2.0%	1.8%	2.9%	1.8%	4.4%	2.7%	2.3%	2.9%	2.2%
	174,505	175,031	174,690	176,149	178,814	180,731	181,942	184,253	187,244
	146	146	146	147	149	151	152	154	157
	120,010	124,242	139,281	152,576	169,054	176,258	177,506	187,484	197,639
	19,947	25,894	26,603	29,103	34,649	26,575	28,907	32,566	38,714
	393	474	772	522	1,541	704	662	943	833
	116	126	316	200	326	287	297	267	267
				染地		佐須		(資料 保存庫)	

図書館費内訳表 表〔1-2-(2)〕

(単位 円)

節	年度	56年度		57年度		58年	度	59年度		60年度		61年度当初予算
		決算額	百分比	決算額	百分比	決算額		百分比	決算額	百分比		
報酬		450,000	0.16	450,000	0.35	450,000	0.37	0	0	0	0	0
賃金		19,800	0.007	546,600	0.43	2,689,170	2.23	2,694,700	1.52	2,465,738	1.58	2,494,000
報償費		2,941,600	1.07	3,970,300	3.12	3,942,400	3.27	4,233,340	2.39	3,937,300	2.52	5,417,000
旅費		330,520	0.12	337,000	0.26	333,770	0.28	322,290	0.18	270,650	0.17	380,000
一般需用費		25,081,486	9.10	28,340,439	22.27	29,770,812	24.71	32,380,995	18.32	32,771,922	21.00	35,911,000
食糧費		49,920	0.02	45,660	0.04	45,910	0.04	42,500	0.02	42,240	0.03	43,000
役務費		1,539,630	0.56	1,565,650	1.23	2,144,173	1.77	2,005,720	1.14	1,965,581	1.26	3,745,000
委託料		21,960,808	7.97	20,087,108	15.78	21,475,621	17.83	29,066,731	16.45	28,569,317	18.31	30,697,000
使用料及び賃借料		423,020	0.15	424,320	0.33	443,070	0.37	487,530	0.28	723,650	0.46	1,789,000
工事請負費		151,548,000	54.98	14,818,000	11.64	894,000	0.74	51,245,000	28.99	12,384,000	7.94	10,000,000
原材料費		129,560	0.05	148,900	0.12	117,150	0.10	98,550	0.06	100,650	0.06	130,000
備品購入費		70,878,786	25.71	56,439,480	44.34	58,077,697	48.21	54,091,419	30.59	72,740,925	46.62	90,160,000
(図書購入費)		(58,291,286)	(21.15)	(51,897,760)	(40.77)	(53,958,935)	(44.79)	(49,990,159)	(28.28)	(49,954,880)	(32.01)	(73,100,000)
(機械器具)		(97,580)	(0.04)	(77,000)	(0.06)	(577,500)	(0.48)	(184,000)	(0.10)	(16,120,000)	(10.33)	(12,639,000)
(視聴覚教材)		(2,300,000)	(0.83)	(2,257,000)	(1.77)	(2,253,750)	(1.87)	(2,300,000)	(1.30)	(2,491,800)	(1.60)	(2,500,000)
(庁用器具)		(10,189,920)	(3.69)	(2,207,720)	(1.74)	(1,287,512)	(1.07)	(1,617,260)	(0.91)	(4,174,245)	(2.68)	(1,921,000)
負担金、補助及び交付金		100,320	0.04	100,320	0.08	83,040	0.07	82,320	0.05	61,600	0.04	62,000
補償、補填及び賠償金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,000
投資及び出資金		167,620	0.06	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公課費		8,800	0.003	8,800	0.01	8,800	0.01	8,800	0.01	8,800	0.01	9,000
合計		275,629,870	100	127,282,577	100	120,475,613	100	176,759,895	100	156,042,373	100	180,867,000

()内は内訳

II 図書館の概況

昭和41年に調布市立図書館（現在の中央館）が開館してから調布市における図書館活動がはじまった。昭和44年には、分館第一号の国領分館が開館、以後年次的に分館を開館し、現在は中央館を含め11館をかぞえるに至った。

この分館網システムは、人口2万人に1館、半径800メートルに1館、2つの小学校区に1館、の三原則を満たすように計画され、57年度佐須分館の開設により、調布市における分館網システムは、所期の目的が達成された。

現在残されている大きな課題としては、新中央館の早期実現である。狭隘となった現中央館にかわって、10の分館の中核機能を果たすべく65年度完成を目ざして61年度より具体的に動き出した現在、新中央館が完成されたときは、調布市立図書館は、又新しい第一歩を踏み出すことになるといえる。

1. 運営方針

調布市立図書館は、市民の参加と協力のもとに、自立した市民の連帯と地域に根ざした市民文化の創造に向けて積極的な図書館活動を展開していく。

- (1) 買い物カゴを下げても気軽に立ち寄れる図書館づくりを目指し、市民のだれもが自由に図書館サービスを受けられる様にサービスの拠点を広げていく。
- (2) 座して利用を待つという静態的な活動に終始することなく積極的に図書館側から市民に働きかける動態的な図書館活動を目指す。
- (3) 子どもに良い読書環境を整備するため、各館に独立した児童室を設け専任の職員を配置し館内・館外に対し、あらゆる機会をとらえて児童サービスを行う。
- (4) 市民の身近なところで文化的事業（講座、講演会、著者を囲む読書会、座談会、名画鑑賞会等）を開催し、文化創造の拠点として積極的な図書館活動を展開する。
- (5) 市民に充実した図書館サービスを保障するため、種々の機会をとらえて組織的に研修を行い職員の資質の向上をはかる。

2. 昭和60年度 図書館重点事業

図書館は、文化の伝承にとどまらず文化創造の拠点として、積極的な活動を展開し、読書の普及と読書によって啓発された市民の学習意欲を的確に受けとめ、だれでも、自由に図書館サービスが受けられるよう、その拠点を広げ、図書館網機能を存分に活用し、次の重点事業を中心に各々の事業の充実を図った。

ア 蔵書の充実

市民との連帯を深め、市民図書館としての責務を果たすため、限られた予算を効果的に執行し、市民要求に即応できるよう蔵書の充実に努めた。

- (ア) 新刊書を中心に、市民のニーズに適合した資料の選択と収集
- (イ) 参考図書の網羅的な収集と内容の充実・強化
- (ウ) 郷土資料及び行政資料の積極的な収集
- (エ) 内容的に古い資料の買替え・補充による、資料面でのサービス向上

イ 図書館網の整備

調布市長期計画に基づく、図書館網計画は、57年度開設の佐須分館をもって、所期の目的は達成された。その結果、図書館サービスはほぼ全域にわたって行きわたり、市民の図書館利用の機会均等が保障された。今後の課題は、図書館サービス体制の充実にあり、保存資料の整備体制の確立、新中央館構想の策定、現中央館におけるサービス体制の改善、図書館活動の組織的運営等の検討に入っているが、59年、中央自動車道高架下に約20万冊収蔵の図書資料保存庫の完成を見たことは、大きなはずみを与えたといえよう。

ウ 市民と連帯した文化的事業の実施

図書館資料を媒体とする読書啓蒙活動と並行して、読書によって生まれた学習意欲と市民の心の中にある文化的欲求を的確に受けとめ、育てるため社会教育関連機関等と協力し、市民の文化に対する自覚と創造を促し、だれでも気軽に学習に参加できる機会を設け、市民と連帯した文化活動を推進した。

エ 障害者サービスの充実

視覚障害者に対するサービスに重点を置き、朗読テープの作成や対面朗読、点訳サービスを実施し、朗読ボランティアや点字ボランティアの育成等に努め、視覚障害者への読書権の確立を計った。

オ その他日常業務の充実

過去の経験と反省を生かし、今日までの蓄積を基盤に図書の閲覧、貸出業務を遂行しながら、前年に引き続き、次の事業の充実に努めた。

- (ア) 児童対象のおはなし会、小学生読書会、中学生通信の発行等の実施
- (イ) 学校、保育園等他施設及び地域との協力
- (ウ) 地域文庫の育成と援助
- (エ) 図書館PRと広報紙の発行
- (オ) 視聴覚ライブラリー(AVL)業務の充実

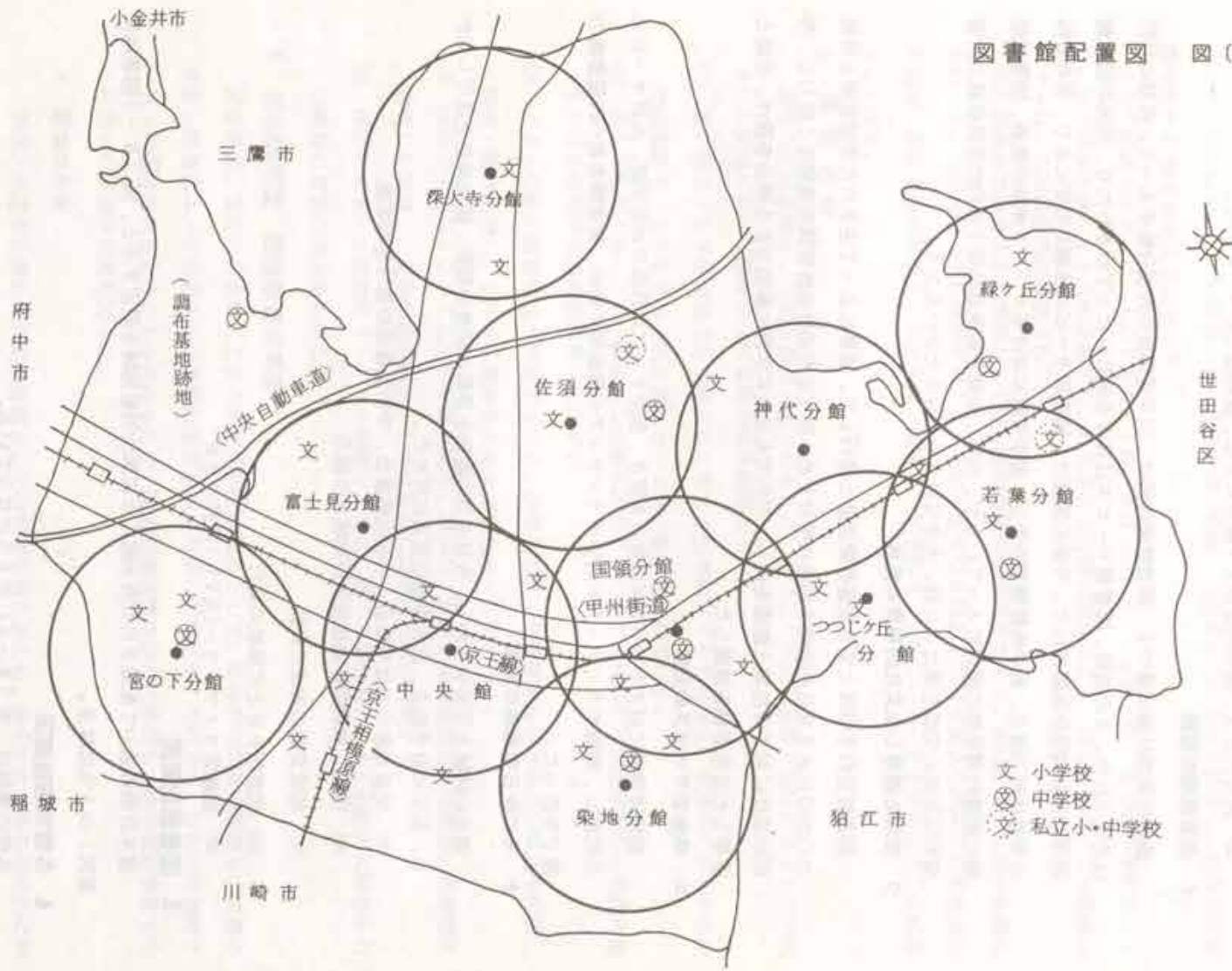
3. 図書館配置図

基本計画に基いて配置された各分館ごとに奉仕対象地域を設定すると、図〔II-3 図書館配置図〕のようになる。

4. 各館別施設概況

各館の施設は、表〔II-4〕のようになっている。

図書館配置図 図(II-3)



施設状況表(II-4)

昭和61年3月31日現在

区分	館別	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	資料保存庫
竣工年月日		41. 3. 31	44. 3. 31	45. 3. 28	46. 2. 28	46. 3. 31	47. 3. 31	49. 3. 31	49. 3. 31	50. 3. 31	55. 5. 19	57. 3. 31	60. 3. 15
開館日		41. 6. 10	44. 8. 14	45. 7. 20	46. 7. 24	46. 10. 1	47. 7. 24	49. 7. 20	49. 7. 20	児童室504.12 成人室507.5	55. 6. 6	57. 7. 13	60. 4. 1
建設費(千円)		17,348	9,120	3,774	13,800	17,080	18,000	30,190	30,798	77,654	東京都負担	143,651	45,000
敷地面積(㎡)		585	1,544	270	824	1,986	1,780	800	1,653	879	1,644	2,166	1,072
土地購入費(千円)		市有地	53,100	借地	27,497	84,000	80,000	借地	162,000	市有地	借地	92,867	借地
建物の造り	構造	鉄筋2階建	鉄筋の階上	コンクリートブロック	鉄骨平家	鉄筋の階上	鉄筋の階上	鉄骨平家	鉄筋の階上	鉄筋コンクリート2階建	鉄筋コンクリート3階建1部部分	鉄筋の階上	鉄骨平家
	併設・単独	単	保育園併設	単	単	保育園併設	保育園併設	単	保育園併設	単	地域福祉センター都営住宅併設	児童館併設	単
設計事務所		和設計事務所	桜井設計事務所	和設計事務所	桜井設計事務所	桜井設計事務所	葵建築研究所	つかさ設計事務所	葵建築研究所	和設計事務所	都市建築計画センター	相和技術研究所	杉原設計事務所
工事請負会社		石原建設	高尾建設	内村建設	増岡建設	増岡建設	白石建設	田辺工務店	山口組	大栄建設	藤田建設	東海建設	久保工務店
所在地		布田 4-17-5	国領町 3-12-1	西つつじヶ丘 4-23-6	深大寺北町 5-6-1	西つつじヶ丘 1-40-5	上石原 3-34-10	緑ヶ丘 2-25	富士見町 2-3-26	若葉町 3-16-13	染地 3-3-1	佐須町 4-42-2	上石原 2-7-6
電話		81-7661	84-2000	85-2000	85-3350	85-0054	86-5798	300-7672	81-7664	309-3411	88-8393	85-1306	87-2660
床面積(㎡)		609	304	113	257	339	324	240	324	516	482(290専用部分192共用)	605	485
職員(司書)		15(8)※	(3)	(2)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(5)	(3)	(3)	0
蔵書能力(冊)		50,000	30,000	10,000	24,000	26,000	23,000	20,000	20,000	34,000	35,000	開架35,000 閉架50,000	200,000
施設の概況	一般室	230㎡	175㎡	26㎡	90㎡	126㎡	111㎡	120㎡	136㎡	148㎡	153㎡	245㎡	電動式書架室 260㎡ 固定式書架室 200㎡
	児童室	63㎡	71㎡	52㎡	63㎡	72㎡	56㎡	64㎡	56㎡	123㎡	105㎡	80㎡	
	集会室	なし	なし	なし	28㎡	52㎡	66㎡	なし	63㎡	78㎡	なし	なし	
	成人用座席	60	30	4	24	30	32	20	24	24	12	24	
	児童用座席	30	30	18	30	30	30	30	30	40	12	12	
冷暖房設備	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	

※ 中央館職員 15人 (内訳) 管理職 1 一般職 4 司書 9 技能職 1 ※※ (専) 専用部分 (共) 共用部分

Ⅲ 各館の概要

1. 中央館



調布市布田4-17-5
電話 0424-81-7661
昭和41年8月10日開館
(京王線調布駅より徒歩2分)

(1) 概況

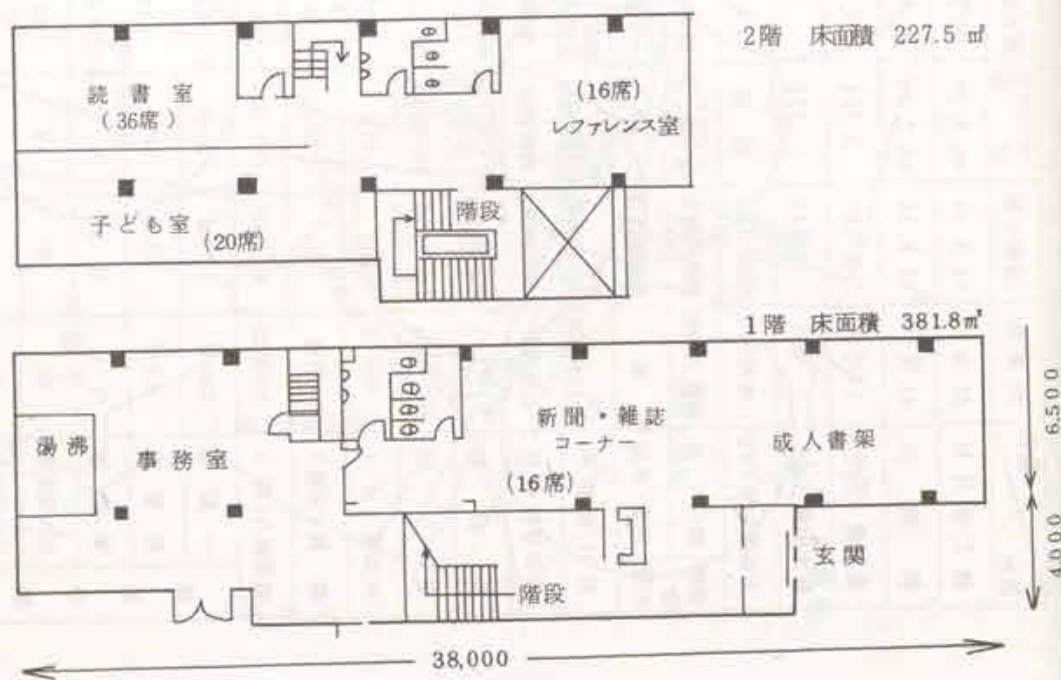
調布における最初の図書館として誕生した。

各種公共施設、商店、銀行などが集中し、調布駅を中心に各方面へのバスの発着場所も徒歩数分以内という所にある。中央館としての性格上、奉仕対象地域は市内全域ということになるが、その意味で利用しやすい恵まれた場所にあると言えよう。

しかし、中央館は、蔵書面においてはもちろん、他の様々な面において、全館をカバーする機能を持たなければならないが、それらを果たすには、いかにも規模が小さすぎる。収容能力を越えた資料は、中央館以外の2ヶ所(佐須分館内共同保存庫、高架下資料保存庫)に分散しているが、その為に利用者にかかる不便は、測り知れないものがある。十分な広さを持った新中央館の建設が待たれるところである。

(2) 施設平面図 (縮尺 1/300)

設計・和設計事務所
延床面積 609㎡



(3) 蔵書及び利用状況 (60年度)

イ 蔵書

郷土資料	2,188
総記	6,053
哲学	3,152
歴史地理	7,277
社会科学	10,247
自然科学	2,759
工業家庭	2,240
産業交通	1,077
芸術スポーツ	5,088
語学	1,017
文学	19,511
児童	19,243

(合計 79,852 冊)

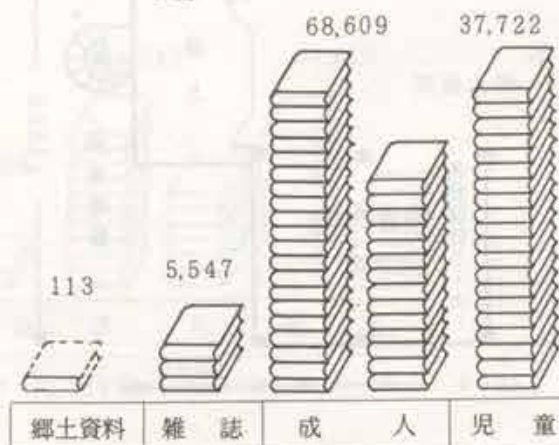
ロ 職業別登録者数 (100人)

中学生	652 (6.8)
高校生	763 (7.9)
学生	1,781 (18.4)
勤人	1,757 (18.2)
主婦	1,524 (15.8)
自営	179 (1.9)
その他	158 (1.6)
無職	393 (4.1)
児童	2,448 (25.3)

(合計 9,655 人)

(100%)

ハ 貸出冊数 (2,000冊)



(合計 111,991 冊 一日平均 425.8 冊)

(4) 定例会

- イ おはなし会
毎月第2・第4水曜日
3:00~3:30
- ロ 小学生読書会
毎月第1日曜日
10:00~11:30
- ハ 子どもの本を読む会
毎月第2火曜日
10:00~12:00

2. 国領分館



調布市国領町3-12-1

電話 0424-84-2000

昭和44年8月14日開館(保育園併設)

(京王線国領駅より徒歩3分)

(1) 概況

京王線、国領駅に近く、駅周辺に商店街を抱えた、立地条件の良い図書館である。公共施設としては、第五保育園、国領・第二小学校、第六・第七中学校、国領児童館などがある。

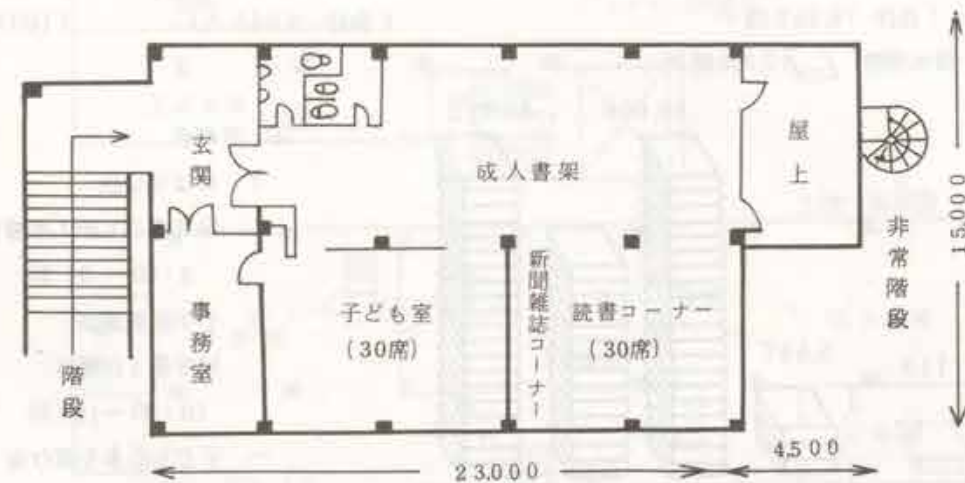
地域内には、都営くすのきアパート、金子団地、国領住宅(公団)などの集合住宅が多い。その他、菊野台など周辺の落ち着いた住宅地街からの利用者もかなり多い。

開館が昭和44年と古く、地域に定着している為、利用は古くからの常連に支えられている。しかしその反面、集合住宅の居住者は転入転出が激しいので、常に図書館のPRが必要でもある。又この集合住宅は老人だけの世帯も増え、館内はゆっくり雑誌などを楽しむ老人の姿と、中高校生を中心とした賑やかな若者が不思議に混ざり合っているのが目に付く。

(2) 施設平面図 (縮尺1/300)

設計・桜井設計事務所

床面積 304㎡



(3) 蔵書及び利用の状況 (60年度)

イ 蔵書冊数

総記	665
哲学	712
歴史地理	2,180
社会科学	2,482
自然科学	1,477
工業家庭	1,685
産業	426
芸術スポーツ	1,879
語学	415
文学	8,934
児童	7,855

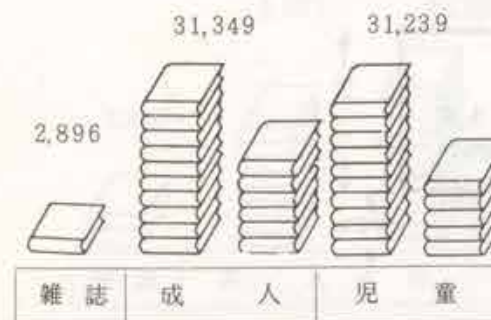
(合計 28,710冊)

ロ 職業別登録者数 (50人)

中学生	479 (12.9)
高校生	193 (5.2)
学生	178 (4.8)
勤人	456 (12.2)
主婦	635 (17.0)
自営	55 (1.5)
その他	40 (1.1)
無職	75 (2.0)
児童	1,611 (43.3)

(合計 3,722人) (100%)

ハ 貸出冊数 (2,000冊)



(合計 65,484冊 一日平均 249.9冊)

(4) 定例会

- イ おはなし会
 - 第2日曜日
 - 10:00~10:30(小学1年生まで)
 - 10:30~11:00(小学2年生以上)
- ロ 小学生読書会
 - 第4日曜日
 - 10:00~11:00

4. 深大寺分館



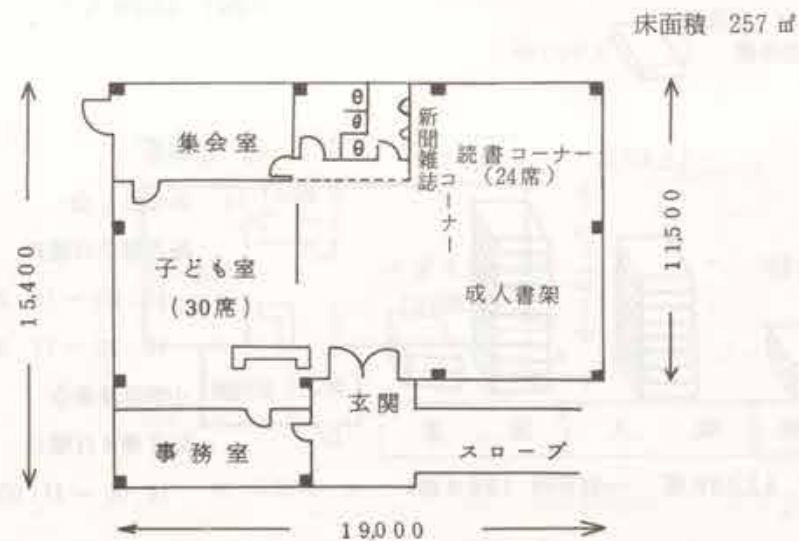
調布市深大寺北町5-6-1
 電話 0424-85-3350
 昭和46年7月24日開館
 (京王線調布駅北口より
 吉祥寺・三鷹行バス
 山野駅下車 徒歩8分)

(1) 概況

調布市の北端部に位置し、三鷹市野崎に隣接している。電車の最寄り駅である調布駅からは、バスで、三鷹街道を10分程北上した所にある。周囲の環境は、南側にある神代植物公園に象徴されるように、あちこちに広葉樹の林と畑の見られる緑豊かな地域である。付近には、北ノ台・深大寺小学校を始め、調布北高校、市営山野住宅、都営住宅などのほか、民間アパートもあるが、全体としては一戸建ての住宅が多く、人口密度の低い閑静な地域である。こうした地域性もあって、世帯の種別では家族世帯の比率が高い。従って、図書館の利用者も、家族連れで利用する姿が多く見られる。また、利用の状況は、常連の顔見知りの方々が多く、地域の状況に大きな変化がない限り、今後もこのような傾向は続いていくものと思われる。

(2) 施設平面図 (縮尺 1/300)

設計・桜井設計事務所



(3) 蔵書及び利用の状況 (60年度)

イ 蔵書冊数

総記	652
哲学	450
歴史地理	2,015
社会科学	1,994
自然科学	1,162
工業家庭	1,626
産業	366
芸術スポーツ	1,955
語学	438
文学	7,950
児童	7,174

(合計 25,782冊)

ロ 職業別登録者数 (△ 50人)

中学生	216 (9.1)
高校生	151 (6.4)
学生	105 (4.4)
勤人	261 (11.0)
主婦	478 (20.2)
自営	51 (2.2)
その他	23 (1.0)
無職	45 (2.0)
児童	1,031 (43.7)

(合計 2,361人) (100%)

ハ 貸出冊数 (△ 2,000冊)



(合計 41,703冊 一日平均 159.2冊)

(4) 定例会

- イ おはなし会
毎週 木曜日
3:00 ~ 3:30 (幼児)
3:30 ~ 4:00 (小学生)
- ロ 小学生読書会
第4日曜日
10:00 ~ 11:00
- ハ 絵本の会
第2木曜日
10:00 ~ 12:00

5. 神代分館



調布市西つつじヶ丘1-40-5
 電話 0424-85-0054
 昭和46年10月1日開館(保育園併設)
 (京王線つつじヶ丘駅より徒歩8分)

(1) 概況

京王線つつじヶ丘駅北口より徒歩8分、住宅地の中の保育園の2階に位置する緑に囲まれた分館である。付近は戸建ての住宅が多く、上ノ原・滝坂小学校や神代中学校、公園などを間近に控えた本格的な住宅地域である。西側には大小のマンションや社宅など、人口密度の高い地域があり、この地域の利用者が最も多い。また北側は、三鷹市と隣接しているため、市外の利用者も多くなっている。社宅などの集合住宅では、転入転出が目立つ半面、開館当初からの利用者もあり、停年退職後の研究などに利用されている方の姿も、よく見受けられる。

全体として、予約・リクエストを上手に活用し、図書館利用に慣れている方々が多いという印象を受ける。この傾向は児童の利用者も同様である。

(2) 施設平面図 (縮尺 1/300)

設計・桜井設計事務所

床面積 339㎡



(3) 蔵書及び利用の状況 (60年度)

イ 蔵書冊数

総記	819
哲学	727
歴史地理	2,231
社会科学	2,557
自然科学	1,528
工業家庭	1,867
産業	522
芸術スポーツ	2,113
語学	427
文学	8,379
児童	7,657

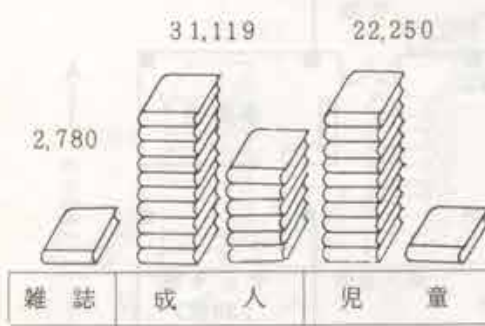
(合計 28,827冊)

ロ 職業別登録者数 (人 50人)

中学生	352 (10.7)
高校生	221 (6.7)
学生	206 (6.2)
勤人	428 (12.9)
主婦	682 (20.6)
自営	43 (1.3)
その他	35 (1.1)
無職	88 (2.7)
児童	1,250 (37.8)

(合計 3,305人) (100%)

ハ 貸出冊数 (冊 2,000冊)



(合計 56,149冊 一日平均 214.3冊)

(4) 定例会

- イ おはなし会
 - 第1・3水曜日(幼児)
 - 第2・4 " (小学生)
 - 3:00~3:30
- ロ 小学生読書会
 - 第2日曜日
 - 10:00~11:00

6. 宮の下分館



調布市上石原3-34-10
電話 0424-86-5798

昭和47年7月24日開館(保育園併設)
(京王線西調布駅より徒歩15分)

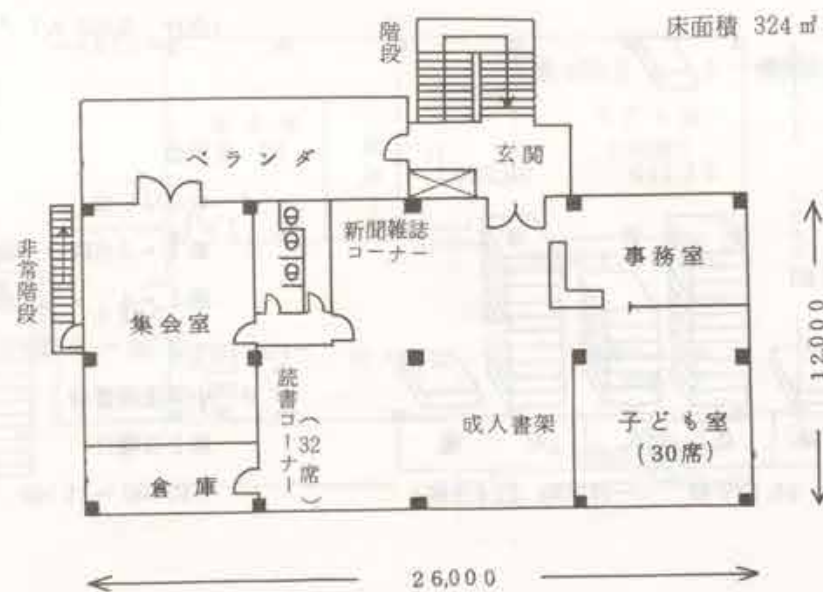
(1) 概況

京王線西調布駅より南西へ徒歩15分、品川街道と多摩川の間地点に位置する。近隣の公共施設としては、分館と併設の一階・宮の下保育園、第五中学校、西部公民館・児童館・学童保育所、第三・飛田給・多摩川小学校などがある。

サービスエリア内で、もっとも利用の多い上石原三丁目、多摩川一丁目の地域には、住宅、民間アパート、小規模の工場が混在している。地図上ではかなりの利用者が予想される飛田給三丁目、上石原二丁目、下石原二・三丁目からは、実際には、分館が生活動線上にないことや、品川道や「はけ」にさえぎられる等からか、利用者は限られている。分館周辺に多かった空地や農地に、近年、高層集合住宅や民間アパートの建設が目立ち、特に一般の利用が上向く傾向にある。

(2) 施設平面図 (縮尺 1/300)

設計・葵建築研究所



(3) 蔵書及び利用状況 (60年度)

イ 蔵書冊数

総記	574
哲学	456
歴史地理	2,124
社会科学	1,897
自然科学	1,298
工業家庭	1,576
産業	452
芸術スポーツ	1,955
語学	397
文学	8,224
児童	6,782

(合計 25,735冊)

ハ 貸出冊数 (2,000冊)



ロ 職業別登録者数 (50人)

中学生	347 (12.8)
高校生	122 (4.5)
学生	75 (2.8)
勤人	325 (11.9)
主婦	497 (18.3)
自営	25 (0.9)
その他	12 (0.4)
無職	39 (1.4)
児童	1,277 (47.0)

(合計 2,719人) (100%)

(4) 定例会

イ おはなし会

第1・2木曜日
3:00 ~ 3:30 (幼児)
3:30 ~ 4:00 (小学生)

ロ 小学生読書会

毎月最後の日曜日
10:30 ~ 11:30

7. 緑ヶ丘分館



調布市緑ヶ丘2-25
 電話 03-300-7672
 昭和49年7月20日開館
 (京王線仙川駅より徒歩12分)

(1) 概況

調布市の北東に位置し、世田谷区、三鷹市と隣接している。駅前商店街とは逆方向に、甲州街道を渡り、坂を下りると都営緑ヶ丘団地に至る。当館は、この団地の中央公園の一角に建っている。周辺には、鯉のすむ仙川が流れ、畑や林がまだ残っている静かな環境で、白百合女子大学、第八中学校、緑ヶ丘小学校、私立緑ヶ丘幼稚園、私立緑ヶ丘保育園、児童館、緑ヶ丘福祉センターなどの施設が揃っている。

近年の、児童数の減少、高齢化の傾向は、当サービスエリアでも同様であり、今後登録者数の著しい伸びは期待できない。しかし、登録者一人当りの貸出冊数が市内全館でトップ(約21.3冊)ということから、地域住民が、当館を効率よく利用していることが伺える。外装が地味で、目立つ存在ではないが、館内の雰囲気、蔵書内容など、地域の家庭文庫的な持ち味のある、ホットな図書館である。

(2) 施設平面図 (縮尺1/300) 設計・つかさ設計事務所



(3) 蔵書及び利用の状況 (60年度)

イ 蔵書冊数

総記	567
哲学	354
歴史地理	1,497
社会学	1,728
自然科学	936
工業家庭	1,623
産業	358
芸術スポーツ	1,431
語学	386
文学	7,343
児童	6,764

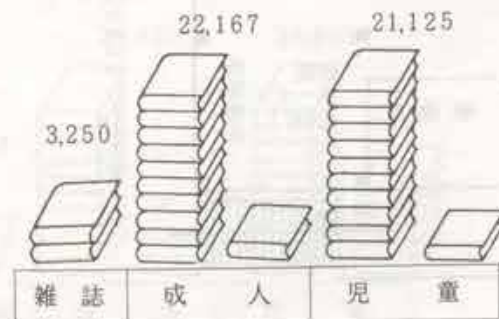
(合計 22,987冊)

ロ 職業別登録者数 (△ 50人)

中学生	231 (10.6)
高校生	111 (5.1)
学生	65 (3.0)
勤人	248 (11.4)
主婦	422 (19.3)
自営	35 (1.6)
その他	14 (0.6)
無職	42 (1.9)
児童	1,015 (46.5)

(合計 2,183人) (100%)

ハ 貸出冊数 (△ 2,000冊)



(合計 46,542冊 一日平均 177.6冊)

(4) 定例会

- イ おはなし会
毎週金曜日(第4をのぞく)
3:30 ~ 4:00
- ロ 小学生読書会
毎月最後の日曜日
10:30 ~ 11:30

8. 富士見分館



調布市富士見町2-3-26

電話 0424-81-7664

昭和49年7月20日開館(保育園併設)

(京王線調布駅下車 徒歩15分)

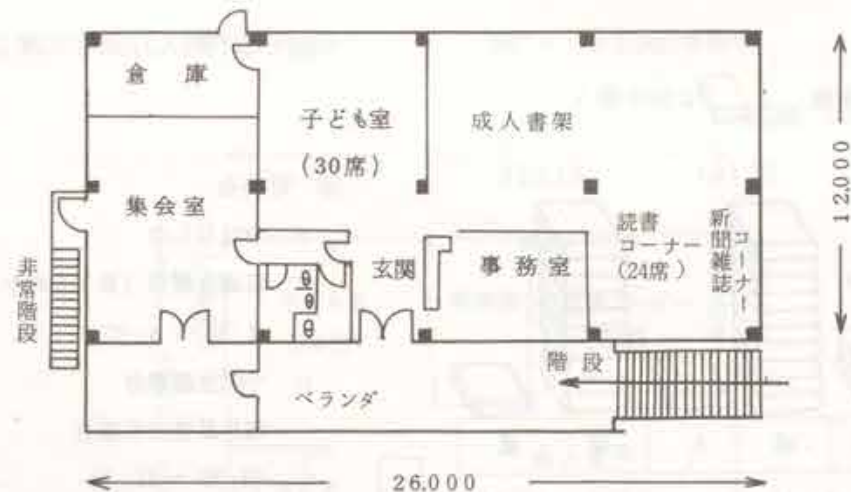
(1) 概況

奉仕地域は調布市の北西部 — 富士見町、調布ヶ丘4丁目とその周辺 — で、甲州街道、中央自動車道調布インターチェンジ、鶴川街道が交差している交通量の多い地域である。当館は調布駅から歩いて15分、八幡神社の近くの比較的閑静な住宅地の一角にあり、一階が富士見保育園、二階が図書館の複合施設である。付近の教育施設は石原・第一小学校、調布中学校、電気通信大学、保惠学園、調布養護学校がある。地域性としては都営住宅、マンションなどの集合住宅と一戸建ての住宅に形成される住宅地域である。住民は30代~40代の比較的若い世代が多く、図書館の利用層にも反映されている。平日は子ども達の利用が多く、土・日曜日は家族ぐるみの利用が目立つ図書館である。

(2) 施設平面図 (縮尺 1/300)

設計・葵建築研究所

床面積 324㎡



(3) 蔵書及び利用の状況 (60年度)

イ 蔵書冊数

総記	947
哲学	552
歴史地理	1,778
社会科学	2,099
自然科学	1,255
工業家庭	1,451
産業	363
芸術スポーツ	1,735
語学	397
文学	8,030
児童	8,039

(合計 26,646冊)

ロ 職業別登録者数 (1人=50人)

中学生	105 (3.7)
高校生	74 (2.6)
学生	329 (11.6)
勤人	577 (20.3)
主婦	30 (1.0)
自営	19 (0.7)
その他	59 (2.1)
無職	1,374 (48.4)
児童	

(合計 2,840人) (100%)

ハ 貸出冊数 (1冊=2,000冊)



(合計 57,672冊 一日平均 220.1冊)

(4) 定例会

- イ おはなし会
毎週水曜日
2:00 ~ 2:20 (幼児)
3:30 ~ 3:50 (小学生)
- ロ 小学生読書会
第3金曜日
3:30 ~ 4:30

9. 若葉分館



調布市若葉町 3-16-13
 電話 03-309-3411
 昭和50年4月12日(児童室) 開館
 7月5日(成人室)
 (京王線仙川駅より徒歩12分)

(1) 概況

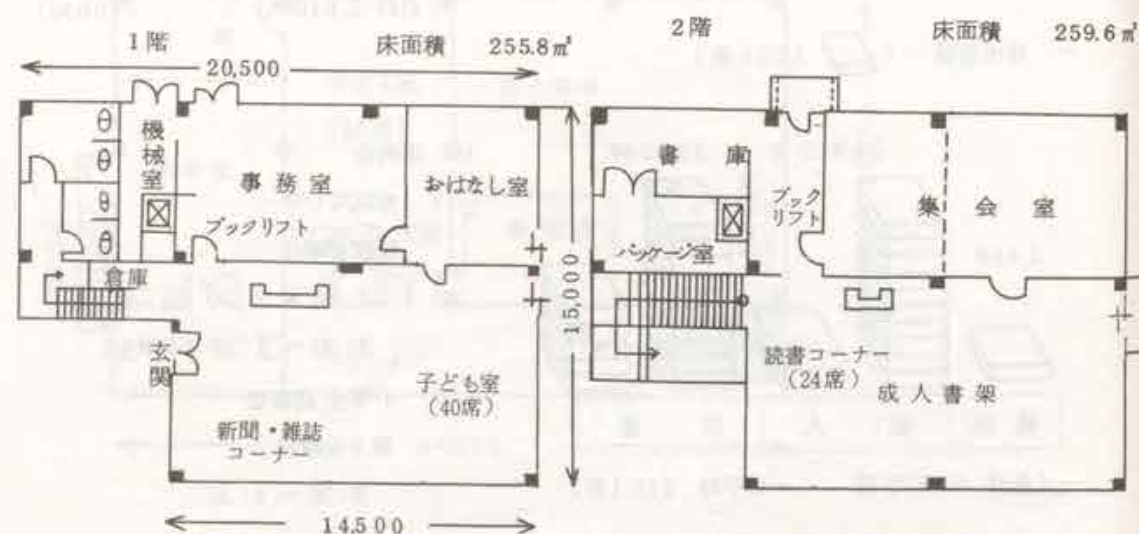
市内で8番目の分館として昭和50年4月に開館した。それまでの分館の広さは300㎡台であったが、若葉分館は516㎡の広さがあり、広い開架スペース、独立のおはなし室、3,500冊収容できる書庫、緑が美しい集會室など他の分館に見られない施設を備えている。

サービス・エリアは、若葉町、人間町、仙川の一部、東つつじヶ丘の一部などが含まれ、人口1万5千、世帯数6,350世帯を擁する地域で、住宅街が広がっている。利用の状況は、立地条件もあって若葉町、人間町の住民の利用が大半を占めている。サービス面での特色として、若葉小の「読書の時間」協力事業がある。分館のすぐ前に若葉小学校があるので、「読書の時間」に児童室を開放したり、お話しや本の紹介を行っている。また付近には、第四中学、神代高校、桐朋学園(幼~大)、実篤公園、東部公民館などがある。

(2) 施設平面図 (縮尺 1/300)

設計・和設計事務所

延床面積 516㎡



(3) 蔵書及び利用の状況 (60年度)

イ 蔵書冊数

総記	883
哲学	828
歴史地理	3,044
社会科学	2,979
自然科学	1,892
工業家庭	2,563
産業	537
芸術スポーツ	2,746
語学	549
文学	13,630
児童	8,128

(合計 37,779冊)

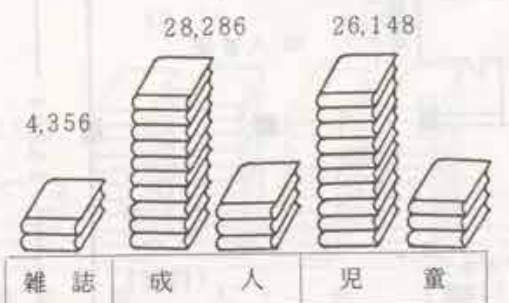
ロ 職業別登録者数 (人) (50人)

中学生	492 (12.8)
高校生	225 (5.8)
学生	189 (4.9)
勤人	440 (11.5)
主婦	697 (18.2)
自営	57 (1.5)
その他	41 (1.1)
無職	87 (2.3)
児童	1,606 (41.9)

(合計 3,834人)

(100%)

ハ 貸出冊数 (冊) (2,000冊)



(合計 58,790冊 一日平均 224.4冊)

(4) 定例会

- イ おはなし会 (3:00 ~ 3:30)
- 日曜日 幼児 ~ 小学生
- 火曜日 小学生
- 木曜日 幼児
- 第1金曜日 3年生以上

10. 染地分館



調布市染地 3-3-1
 電話 0424-88-8393
 昭和55年6月6日開館
 (地域福祉センター併設)
 (京王線調布駅南口より多摩川住宅西
 行バス染地公園前下車徒歩3分)

(1) 概況

都営住宅の1階に、染地地域センターと併設して建てられた複合施設である。

調布市染地は、かつて東洋のハリウッドといわしめた、日活撮影所がある。市の南限をつくる多摩川にもほど近く、公共施設の乏しい所だっただけに、市民の熱い期待を担って、55年6月9番目の分館として開館した。

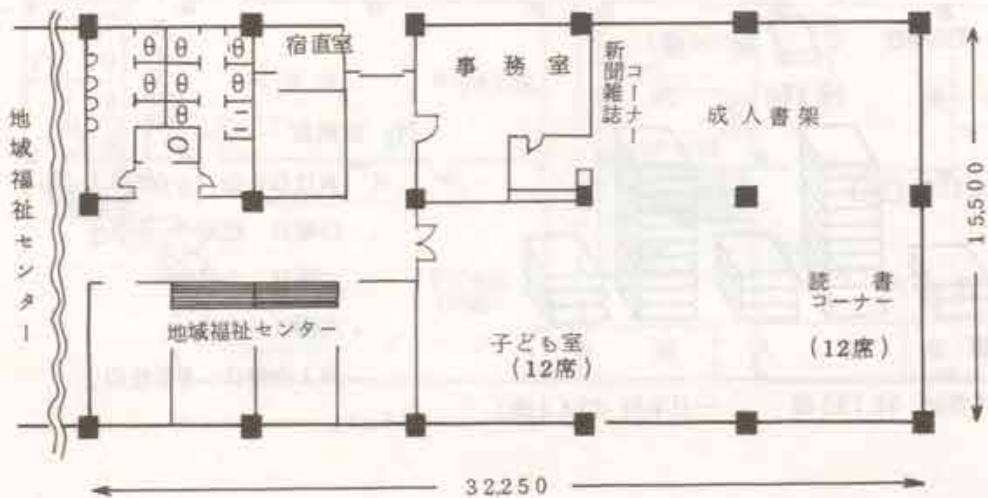
サービスエリアには、都住宅供給公社多摩川住宅、都営住宅、世帯数600を越す大規模なマンションなどの集合住宅がたち並び、染地・杉森小学校・第三中学校などがある。

若い世帯が多く、中央館について、登録者数、貸出冊数が著しく高く、特に子どもの利用が多い館である。

(2) 施設平面図 (縮尺 1/300)

設計・都市建築計画センター

床面積 482㎡
 図書館専用部分 290㎡
 共用部分 192㎡



(3) 蔵書及び利用の状況 (60年度)

イ 蔵書冊数

総記	812
哲学	672
歴史地理	2,183
社会科学	2,677
自然科学	1,328
工業家庭	1,555
産業	415
芸術スポーツ	2,529
語学	475
文学	9,857
児童	9,217

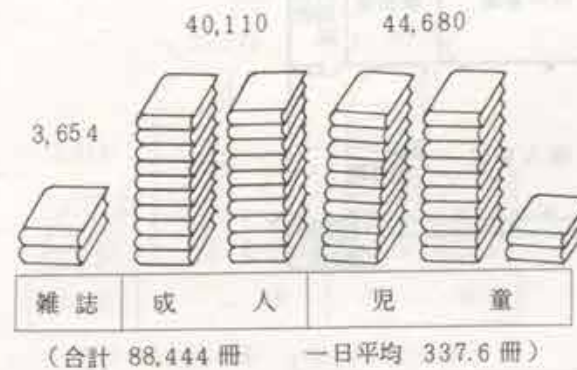
(合計 31,720 冊)

ロ 職業別登録者数 (人 50人)

中学生	590 (12.6)
高校生	240 (5.1)
学生	115 (2.5)
勤人	588 (12.6)
主婦	905 (19.3)
自営	43 (0.9)
その他	28 (0.6)
無職	87 (1.9)
児童	2,084 (44.5)

(合計 4,680 人) (100%)

ハ 貸出冊数 (冊 2,000冊)



(4) 定例会

- イ おはなし会
 第2・4木曜日
 2:30 ~ 3:00 (幼児)
 3:30 ~ 4:00 (小学生)
- ロ 小学生読書会
 第1日曜日
 10:30 ~ 11:30

11. 佐須分館



調布市佐須町4-42-2
 電話 0424-85-1306
 昭和57年7月13日開館(児童館併設)
 (京王線布田駅より徒歩15分)

(1) 概況

サービスエリアは、佐須町・八雲台を中心に柴崎・調布ヶ丘・深大寺元町・南町の一部に及んでいる。この地域は田畑が残され大きな農家が点在する一方、最近では宅地化が進み一戸建ての住宅が多くなってきている。

分館は、柏野・八雲台両小学校の中間あたりにあり、神代・第七中学校や私立見華学園(幼、小、中)も近く、児童館と併設という立地条件のため、平日は幼児や小・中学生でにぎわっている。また、土曜日曜ともなると家族づれで利用する姿がみられる。一般の利用者には、市内の他の図書館を利用している人も多く、図書館に対する要求や期待の高さがうかがえる。

施設面では、閉架書庫があること、身体障害者への配慮があることが特徴である。

(2) 施設平面図 (縮尺1/300)

設計・相和技術研究所

延床面積 605㎡
 床面積 575㎡
 一階共用部分 30㎡



(3) 蔵書及び利用の状況(60年度)

イ. 蔵書冊数

総記	696
哲学	801
歴史地理	2,205
社会科学	2,859
自然科学	1,932
工業家庭	1,708
産業	522
芸術スポーツ	2,233
語学	431
文学	8,197
児童書	8,839

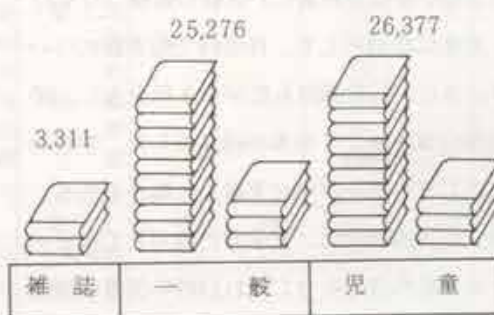
(合計 30,423冊)

ロ. 職業別登録者数 (△ 50人)

中学生	459 (13.1)
高校生	173 (4.9)
学生	128 (3.7)
勤人主婦	407 (11.6)
自営	53 (1.5)
その他	21 (0.6)
無職	71 (2.0)
児童	1,580 (45.1)

(合計 3,505人) (100%)

ハ. 貸出冊数 (△ 2,000冊)



(合計 54,964冊 一日平均 209.8冊)

(4) 定例会

- イ. おはなし会
毎週水曜日
2:30~3:00 (幼児)
3:30~4:00 (小学生)
- ロ. 小学生読書会
第2日曜日
10:00~11:00

IV 各館の事業

1. 子ども対象の事業

(1) おはなし会

実施館	日時	内容
全館	館によって異なるが、毎月1～4回実施。若葉分館は毎週3回。(Ⅲ各館の概要参照)	幼児から小学校低学年までを対象に、ストーリーテリング、絵本の読み聞かせ、紙芝居、スライド、16ミリフィルム等を組み合わせたプログラムを用意し、楽しいお話の世界へ導くことを目的として実施した。

(2) 小学生読書会

実施館	日時	内容
全館	毎月1回。曜日、時間は館によって異なる。(Ⅲ各館の概要参照)	小学校3・4年生から6年生までを対象に、幅広い本の世界の楽しさを知ってもらうために実施した。日常生活に結びついたテーマを中心にプログラムを組み、ストーリーテリング、本の読み聞かせと合わせて、文学作品、ノンフィクション双方とりまげた本を紹介し、また、子どもたちにも発言してもらった。創作活動もとり入れ、創造力を啓発した。 若葉分館では、同上の対象に、ストーリーテリングや本の読み聞かせを行った。

(3) 市立小学校との協力事業

実施館	日時・会場	内容
全館	各学級の授業時に合わせて実施。 各小学校または図書館	市内公立全小学校を対象に、読書の動機づけを行った。対象は原則として、社会科で図書館について学び、また、行動範囲も広がる3年生とし、図書館利用のガイダンスや本の紹介をした。学校の要望に応じて、他の学年に実施した場合もある。この他、夏休み向けに、先生方と協力して推せん図書リストを作成したり、それ以外の図書館作成のリストを随時配布するなどして、学校との連携をはかっている。

	内 容
プログラムの例 —— 八雲台小学校	㊤プログラム 3年生ガイダンス 1. 「とじょかんのつかいかた」(利用案内)の説明 2. 本の紹介：夏休みの本「サンタのたのしいなつやすみ」他 戦争の本「おきなわ島のこえ」他 3. ストーリーテリング「かんださまのいびき」
	㊦プログラム 1学年：春の本 1. 本の紹介「のはらうた 1・2」「わんわん村のおはなし」他 2. スライド「木はいいなあ」 3. 16ミリフィルム「ロージーのおさんぽ」
	㊧プログラム 6学年：空を飛ぶ 1. 本の紹介「火の鳥と魔法のじゅうたん」「ムササビ」他 2. ストーリーテリング「おスだんとおスおくさん」

学校協力事業実施児童数及び団体貸出冊数

学校名	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	全校児童数	実施率	団体貸出冊数
第1	一	131	130	143	136	158	170	868	868	100.0	1,760
	二	57	77	72	75			281	452	62.2	11
第2	一			112				112	719	15.6	450
	二	② 112	113	105	111	119	② 123	683	683	100.0	638
第3	一			97				97	625	15.5	720
	二			109				109	698	15.6	
第4	一			79				79	472	16.7	
	二			158				158	919	17.2	150
第5	一			120				120	745	16.1	
	二	① 115		123		132		370	694	53.3	7,114
第6	一			84				84	521	16.1	
	二			97				97	667	14.5	353
第7	一		68	81				149	546	27.3	551
	二			131				131	876	15.0	500
第8	一			73				73	538	13.6	
	二			143				143	894	16.0	
第9	一			69				69	451	15.3	17
	二			74				74	458	16.2	
第10	一			82				82	475	17.3	234
	二			134				134	787	17.0	
第11	一			81				81	539	15.0	1,020
	二										
計		415	388	2,167	322	409	293	3,994	-	-	13,538
各学年児童数		2,039	2,129	2,167	2,247	2,487	2,558	-	13,627	-	-
実施率		20.4	18.2	100.0	14.3	16.4	11.5	-	-	29.3	-

※ ○の中の数字は、同一学年に対して、2度以上事業を行った場合の回数を示す。
 ※ 児童数は、事業を行なった学年の、昭和60年4月8日現在における在籍児童数。事業実施日までの転入・転出、当日の欠席等は考慮していない。



おはなし会風景
(緑ヶ丘分館)



小学生読書会風景
(中央館)



中学生通信
「ぶちねこ便」編集風景
(国領分館)

(4) その他

事業名	日時・会場	内容
中学生通信の発行	毎月1回、第1日曜日 午前10時～12時 (編集会場)国領分館	中学生との交流と、図書館利用の促進をめざして、中学生による中学生のための通信「ぶちねこ便」を発行した。各図書館のカウンターを通し配布をしたところ、読者からの反響は大きかった。
二葉学園読書会	毎月1回、第4水曜日 午後6時半～7時半 二葉学園	読み聞かせや本の紹介などを中心に、本の世界の楽しさを知ってもらい、読書への導入をはかった。また、本を媒介にしての創作も行った。
その他 (実施)各館	随時 児童館・学童保育所 保育園・幼稚園等。	市の施設等に対して、図書の特貸出や施設を利用している子どもたちを対象に、ストーリーテリングや読み聞かせなどを行い、相互の連携をはかった。

2. 成人対象の事業

事業名	日時・会場	内容
子どもの本を読む会	毎月1回、第2火曜日 午前10時～12時 中央館	昔話、新刊書、基本的な図書などをとりあげて読書会を催した。大冊の作品にも手をのばし、相互の読後感を話し合い、子どもと本に対する理解を深めた。
絵本の会	毎月1回、第2木曜日 午前10時～12時 深大寺分館	絵本についての勉強会で、今年度は「ひとまねこざる」など絵本の人気キャラクター別に特集を組み、絵本と子どもをめぐる様々な問題について話し合った。

V 図書館の動き

1. 蔵書状況

各分館における蔵書の状況は、文学を中心に社会科学、歴史、芸術、家庭等比較的利用頻度の高い分野に重点を置いて整備をすすめている。児童図書は全体の約30パーセントを占めているが、当市における分館の規模は比較的小さく（平均約330平方メートル、蔵書収容能力約25,000冊～30,000冊）このことによって収集範囲や収容冊数が限定されてしまうのが現状である。

分館が地域館としての機能を十分果たしていくためには、各館の規模の拡大や機能の充実をはかると同時に、他の分館及び中央館との連携を密にし、相互の資料交換等全館が一体となった組織的運営を進めていかなければならない。

一方、中央館における蔵書の状況は、すべての分野にわたって網羅的に収集することを原則として蔵書の構築をはかっているが、予算の不足、施設の不備等の理由により、その体制は十分でなく各分野における欠落部分の補充が急がれている。

現在の中央館は蔵書収容能力をはるかに超えた状況の中で図書資料の収集を行っているが、昭和57年に開館した佐須分館内の閉架書庫（5万冊収容可能）を利用して、書架から溢れた図書を保存している。又、昭和60年3月、中央自動車道高架下に完成した高架下資料保存庫（収容能力約20万冊）を利用して、雑誌、逐次刊行物、新聞の地方版等のバックナンバーを保存し、利用者の要求にこたえている。この種の要望は近年増加の傾向にあり、市立図書館レベルでも一応の資料を揃え利用に供することが必要不可欠の要件となっている。

しかし、資料保存が二ヶ所に分散し現中央館の状況では比較的新しいバックナンバーまでもが書庫に入れざるを得ないのが実状である。そのため利用者の求める資料を所蔵しているにも拘らず直ちに提供出来ない悩みをかかえており、十分な書架スペースと保存機能を備えた新しい中央図書館の建設が大いに期待される。

(1) 年度別蔵書の推移 表〔V-1-(1)〕

昭和60年度の蔵書数は345,429冊であり前年度と比較すると4,447冊の増である。

市民1人当りの冊数は、1.84冊であり、当面の目標である市民1人当り2冊の蔵書が整備されるのもそれ程遠い道のりではなくなった。

一昨年の蔵書数はその前年比でマイナス増加となったが、これは中央館の老朽化した蔵書を全て再点検し、利用の状況、内容の鮮度、資料的価値等総合的な判断によって不要となった図書を大量除籍した結果である。

図書館の開架書架は、常に一定の鮮度を維持し、利用者の興味をいつも引きつけられるだけの魅力が必要である。特に蔵書収容能力の低い小規模な分館においては絶対的条件である。

※ 館別分類別蔵書冊数は、「Ⅲ 各館の概要」の項に掲載されている。

(2) 館別購入・寄贈受入、除籍冊数 表〔V-1-(2)〕

① 館別購入冊数

図書の購入は各館ごとに選定し、購入している。選定にあたっては調布市立図書館の収集方針にもとづき、各館の状況等を配慮し、分館の場合には比較的範囲を限定し、日常的なものを中心に購入している。

一方、中央館の場合は、分館規模の基礎的な資料から、調布市内で一冊といった専門的資料への奥行を深めていく様配慮すると同時に、各分館のセンターとしての役割をも果たしていかなければならない。

今年度の図書購入は、34,800冊で昨年度より500冊増加であるが、総蔵書数の約10.0パーセントにあたる。

図書の年間購入冊数は、その利用の状況から見ると総蔵書数の約20パーセントを常に更新させることが望ましいと、専門的なデータでも明らかになっている。前にも述べた様に比較的小規模の分館の場合は、蔵書の新鮮度によって利用の状況が大きく左右され書架の鮮度を維持することは大変重要なことと考えなければならぬ。年間購入冊数の総蔵書数に占める割合によって、蔵書の新鮮度を見ることができ、調布図書館の場合新鮮度は10.1パーセントであり、望ましい年間購入冊数の比率15～20パーセントを下回る結果となっており、利用者のリクエストにきちんとこたえていくためにも更に充実した図書購入をはからなければならない。

② 館別寄贈受入冊数

市民からの図書の寄贈は、日常的に行われ市民図書館としての認識の高まりを示している。寄贈された図書は当館の受入基準と照し合せ可能な限り受入れている。

今年度の寄贈受入冊数は、3,682冊を受入れたが昨年度より若干増加した。今後の課題としては、図書館の求めている図書資料（現在購入出来ない資料、保存雑誌等のバックナンバー等）を広く市民にPRし、積極的な収集をはかっていきたい。

又、市民図書館としては不可欠な資料である調布市に関する資料（郷土資料）の収集についても市民の協力を得て埋もれている資料の発掘に努めていきたい。

③ 館別除籍冊数

一般的な蔵書の寿命は受入後約5～6年を経過すると利用は殆んどなくなってしまい、書架に停滞してしまう。規模の小さい図書館の場合には特にその傾向が顕著である。

そのため各分館では、利用頻度の低下したものを書架から外し、蔵書の鮮度を維持し魅力のある書架をつくっていかなければならない。

この様に定期的に書架の状況を点検し、利用の少ない図書や傷んだ図書を抜き出して新しい図書を適切に補充していかないと、折角の新刊を書架に並べても書架の中に埋もれて

しまい魅力のない書架(蔵書)となってしまう。

③ 館別蔵書整備計画

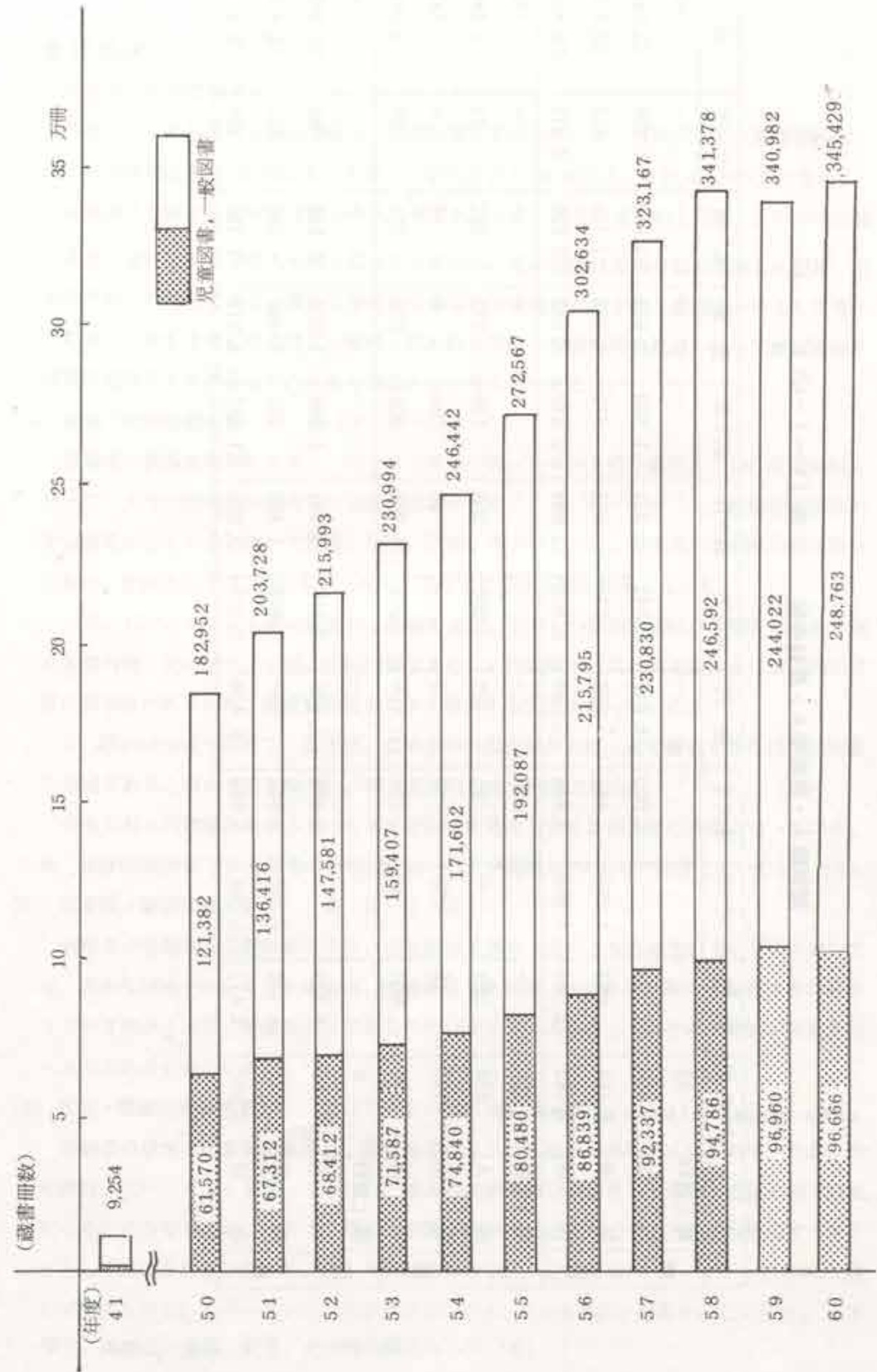
各館における蔵書収容能力は平均約30,000冊であり、歴史の新しい2～3館を除いては、既に収容能力を超えているのが現状である。しかし、常に新鮮な蔵書を求めている市民に対し限られたスペースしか持たない分館の場合は、蔵書の量よりも内容によって市民の期待にこたえていかなければならない。つまり毎年の蔵書整備の課題は、分館の場合、今何を市民は求めているかを適確に把握し、蔵書に反映させることである。従って新刊書中心の蔵書構成の中で蔵書整備が進められる。

一方、中央館としての蔵書整備については、これらの分館を包括的にカバーし、バックアップの機能が求められるため、新刊書を整備すると同時に各分野において核となる蔵書等をも整備計画の主要な柱としていかなければならない。

整備計画と同時に考えなければならないこととして、図書の保存計画がある。昨年度完成した高架下資料保存庫を全館の共同書庫として有効的な活用をはかり、市民の役に立つ蔵書(財産)づくりを具体的に進めていかなければならない。

又、日常的に利用される蔵書とは別に、調布市の図書館として郷土に係る人々の著作や、郷土に関する資料等、地域の図書館においてこれらの資料をコレクションとして収集することは、非常に重要な意味を持ち、調布市立図書館の蔵書を構築していく上で大きな柱となるものであり、今後これらの分野にも積極的な姿勢で取り組んでいきたい。

年度別蔵書の推移 表〔V-1-1(1)〕



館別購入・寄贈受入・除籍冊数 表(V-1-1(2))

購入	中央館		国領	つつじヶ丘	深大寺	神代	宮の下	緑ヶ丘	富士見	若葉	柴地	佐須	計
	郷土資料	成 人											
購入	63	4,660	1,700	-	2,005	1,912	2,042	2,011	1,869	2,913	1,694	1,736	63
寄贈	156	2,459	883	1,253	844	668	931	853	970	1,324	1,135	877	156
除籍	0	7,182	2,583	1,253	2,849	2,580	2,973	2,864	2,839	4,237	2,829	2,613	0
合計	156	14,301	5,166	2,506	5,693	4,550	5,916	5,668	5,679	8,474	6,653	5,266	156
成 人	626	11,781	5,910	2,453	4,849	3,882	4,983	4,814	4,709	7,151	5,521	4,889	626
児 童	177	2,678	1,073	253	844	668	931	853	970	1,324	1,135	877	177
合 計	959	14,459	6,983	2,759	5,693	4,550	5,916	5,668	5,679	8,474	6,653	5,266	959

2. 登録状況

(1) 年度別・町別登録者数 表(V-2-1(1))

当館では、毎年4月で貸出登録の一斉切り替えを行っている。昭和60年度の登録者数は、成人(中学生以上)24,560人、児童(小学生以下)16,339人、合計40,899人である。

昨年度と比較すると成人は約400人の増であったが、児童は逆に約1,300人の大巾な減であり、全体として900人の減となってしまった。この傾向は佐須分館が開館した翌年、昭和58年からの傾向である。確かな分析は出来ないが児童数の減少等も要因の一つとして考えられる。しかしそれだけではない様にも思われるので、今後時間の経過を待って検討を加え図書館活動をすすめる上での大きな課題として考えていきたい。

(2) 館別・町別登録者数 表(V-2-2(2))

登録者の状況を町別にみると、昨年まで唯一の30パーセント代を維持していた佐須地域に代って、大きな団地をかかえている柴地地域が上昇し、32.5パーセントと全地域の最高の登録率を示している。次いで佐須、柴崎、国領、西つつじヶ丘、富士見の各地域の順になっており、全体としては、21.1パーセントで昨年を若干下廻る結果となった。

一方、15パーセント未満の地域が3地域あるが、その一つ仙川地域は京王線をはさんで南に若葉分館、北に緑ヶ丘分館の中間地域であり、この地域の住民は生活動線とは逆方向の位置に図書館があるため、図書館利用を大きく阻害する要因となっている。

又、飛田給地域も同様で、富士見、宮の下の各図書館からは、遠く離れており利用が困難の地域であると言わざるを得ない。深大寺東町地域も同様である。

今後これらの地域におけるサービスをどの様に考えていくかが大きな課題となっている。

※ 昭和59年度町別登録者の分布図(P73~P78)が掲載してあるので参照していただきたい。

(3) 年度別・館別登録者数 表(V-2-3(3))

利用者の登録状況を館別にみると、中央館が全体の4分の1を占めている。分館においては、大きな団地をかかえている柴地、国領をはじめ若葉、佐須の各分館の登録者は他の館の1.5~2倍近くあり、地域によってかなりのバラツキがみられ、それぞれの地域の状況がはっきりとあらわれている。

(4) 館別・職業別登録者数 表(V-2-4(4)) (館別の登録者状況については「Ⅲ 各館の概要」を参照)

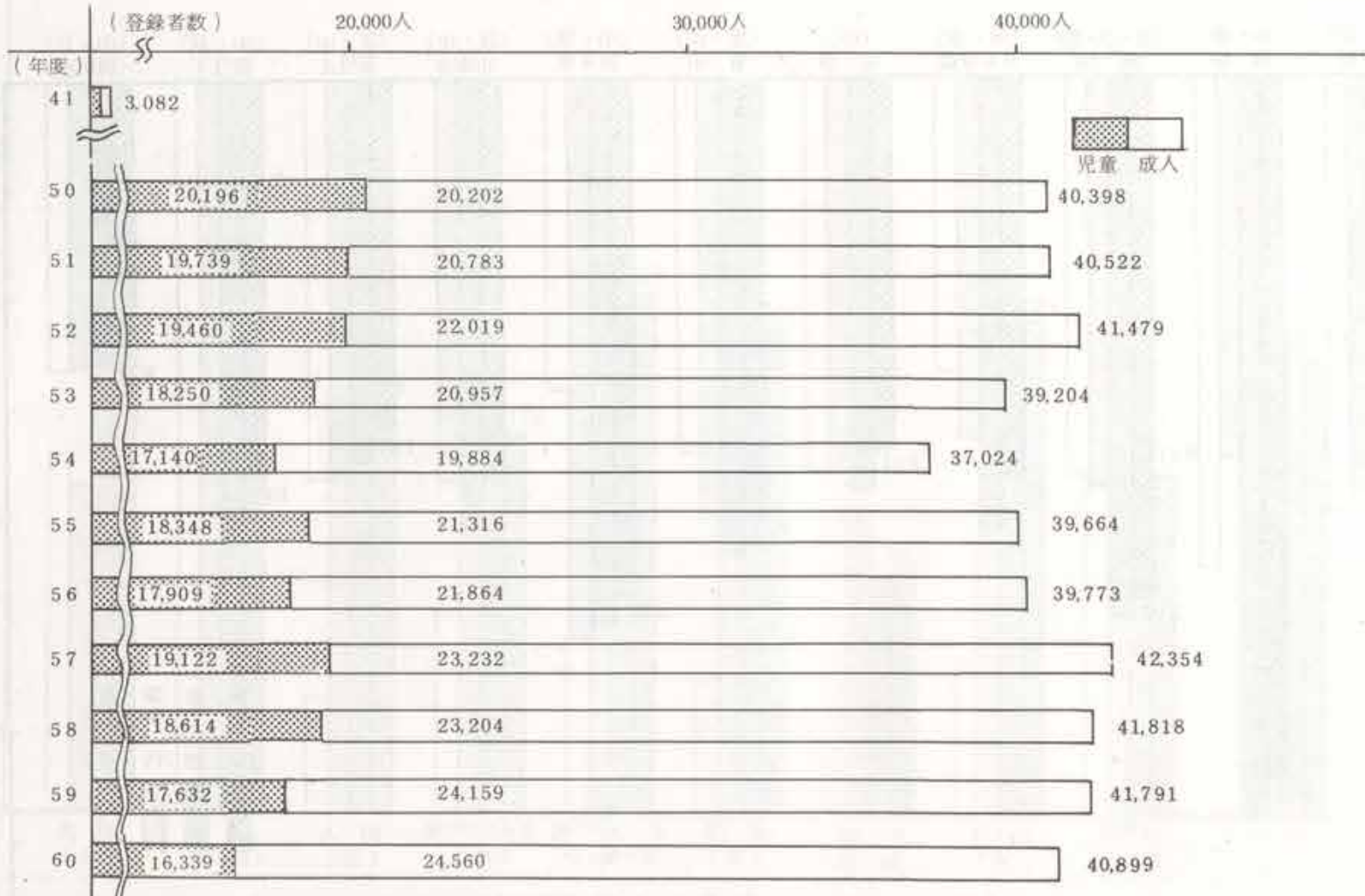
登録者の状況を職業別にみると、昨年までは辛うじて児童が半数近くを占めていたが、今年度は、40パーセントを割ってしまい、成人の利用の伸びが目立って来た。児童の減少は気になるところであるが、一方で、成人の利用者が徐々に定着しつつある傾向は歓迎すべきこととして捉えることが出来る。成人の登録者の中では、主婦が30.7パーセントを占め、次いで勤め人の22.2パーセント、中学生の17.3パーセントと高い位置を示しており、以下学生、高校生、無職、自営、その他の順となっている。

年度別・町別登録者数 表〔V-2-(1)〕

町名	年度	(各年度末)											60	
		41	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	登録者数	人口
飛田給 <small>(町水・西町 を含む)</small>			672	575	600	589	662	687	682	697	708	770	747	5,940
上石原		1,743	1,573	1,563	1,367	1,370	1,441	1,432	1,500	1,472	1,575	1,479	8,072	
下石原		2,478	2,344	2,511	1,326	1,262	1,212	1,285	1,252	1,249	1,260	1,267	7,884	
多摩川		—	—	—	1,865	1,806	1,944	2,111	2,080	1,929	1,911	1,907	10,231	
富士見		2,399	2,302	2,263	2,083	2,105	2,247	2,137	2,366	2,380	2,403	2,282	9,540	
小島		1,864	2,219	2,202	1,798	1,716	1,726	1,789	1,859	1,874	1,770	1,714	8,354	
下布田		1,748	1,708	1,765	1,528	1,470	1,461	1,579	1,644	1,689	1,640	1,572	9,076	
調布ヶ丘		359	55	90	117	66	95	70	81	69	84	—	—	
国領地		925	936	1,125	1,127	1,096	1,062	1,016	1,249	1,197	1,265	1,186	6,382	
深大寺元		3,286	3,422	3,838	3,795	3,667	4,341	4,688	5,208	6,133	6,042	5,256	21,697	
深大寺北		2,483	2,420	2,686	2,438	2,300	5,080	5,149	5,184	4,162	4,095	4,988	15,370	
深大寺東		4,192	4,431	4,399	4,094	4,048	3,959	3,872	4,410	4,366	4,411	—	—	
深大寺南												857	4,847	
佐須崎												1,289	5,547	
柴崎												1,369	9,221	
入間												577	3,034	
東つつじヶ丘		848	794	851	786	733	668	714	1,556	1,455	1,468	1,376	4,961	
西つつじヶ丘		1,354	1,495	1,498	1,504	1,508	1,523	1,440	1,780	1,754	1,720	1,622	6,635	
若葉川		1,229	1,298	1,348	1,302	1,212	1,158	1,161	1,189	1,132	1,275	1,281	6,770	
緑ヶ丘		869	827	930	955	876	849	924	930	822	845	805	4,561	
菊野台		3,830	3,985	3,793	3,560	3,293	3,177	3,160	3,112	3,246	3,288	3,284	13,696	
市内小計		876	1,125	1,177	1,103	1,001	1,004	997	1,007	1,073	1,134	1,149	5,095	
調布市外		877	639	709	694	676	591	550	521	564	519	548	4,876	
合計		2,598	2,517	2,566	2,291	2,146	1,914	1,800	1,688	1,638	1,644	1,801	7,860	
		1,150	1,422	1,258	1,332	1,238	1,271	1,287	1,303	1,400	1,254	1,202	7,595	
合計		3,082	40,398	40,522	41,479	39,204	37,024	39,664	39,773	42,354	41,818	41,791	40,899	
合計		4,618	4,435	4,307	3,563	2,773	2,254	1,933	1,738	1,506	1,418	1,341	—	
合計		3,082	40,398	40,522	41,479	39,204	37,024	39,664	39,773	42,354	41,818	41,791	40,899	

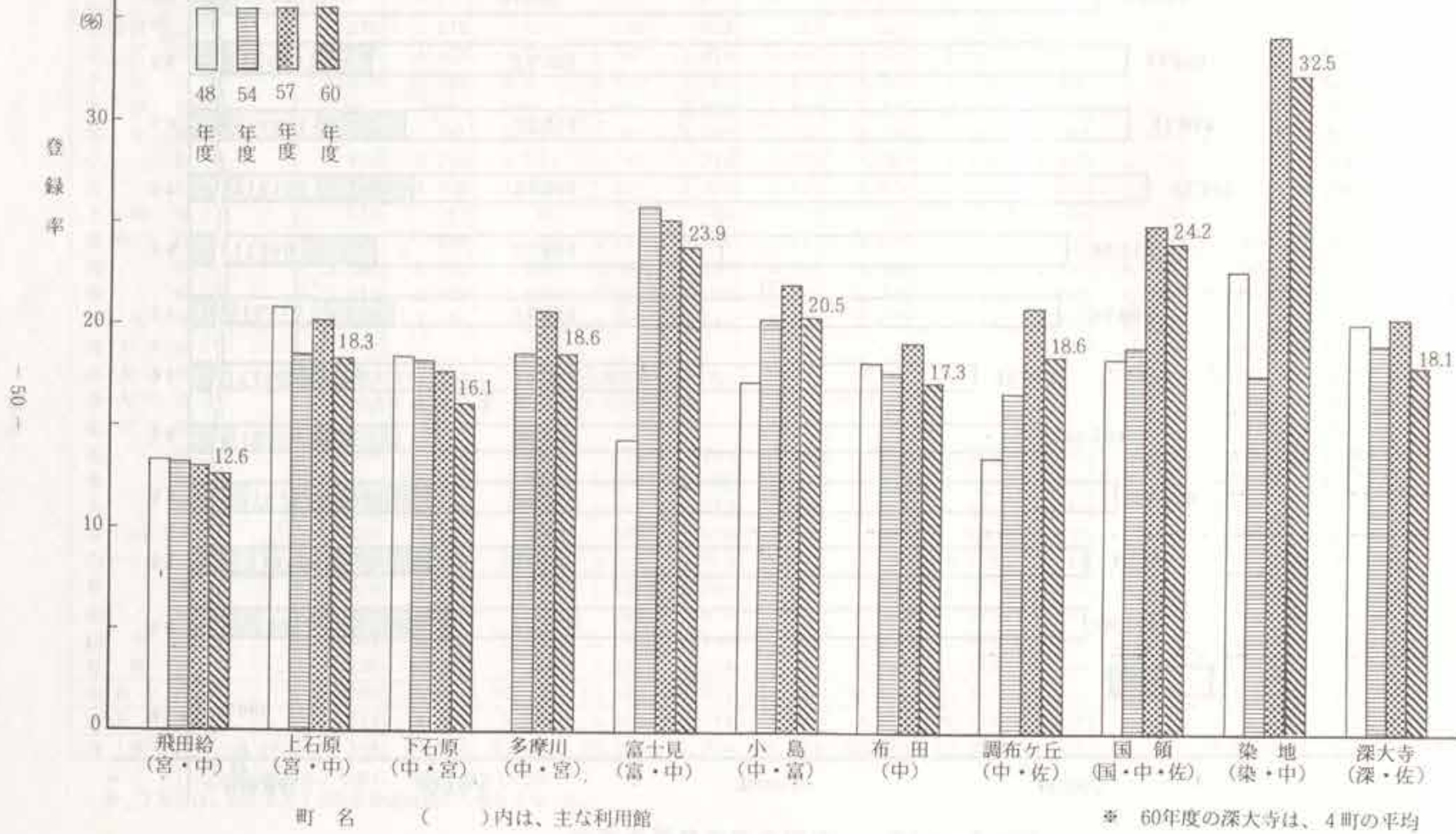
※ □ は分館の開館により著しく登録の増加した例
 ※ 下布田は、60年9月1日町名地番改正のためなくなった。

年度別登録者数の推移 表〔V-2-(1)〕



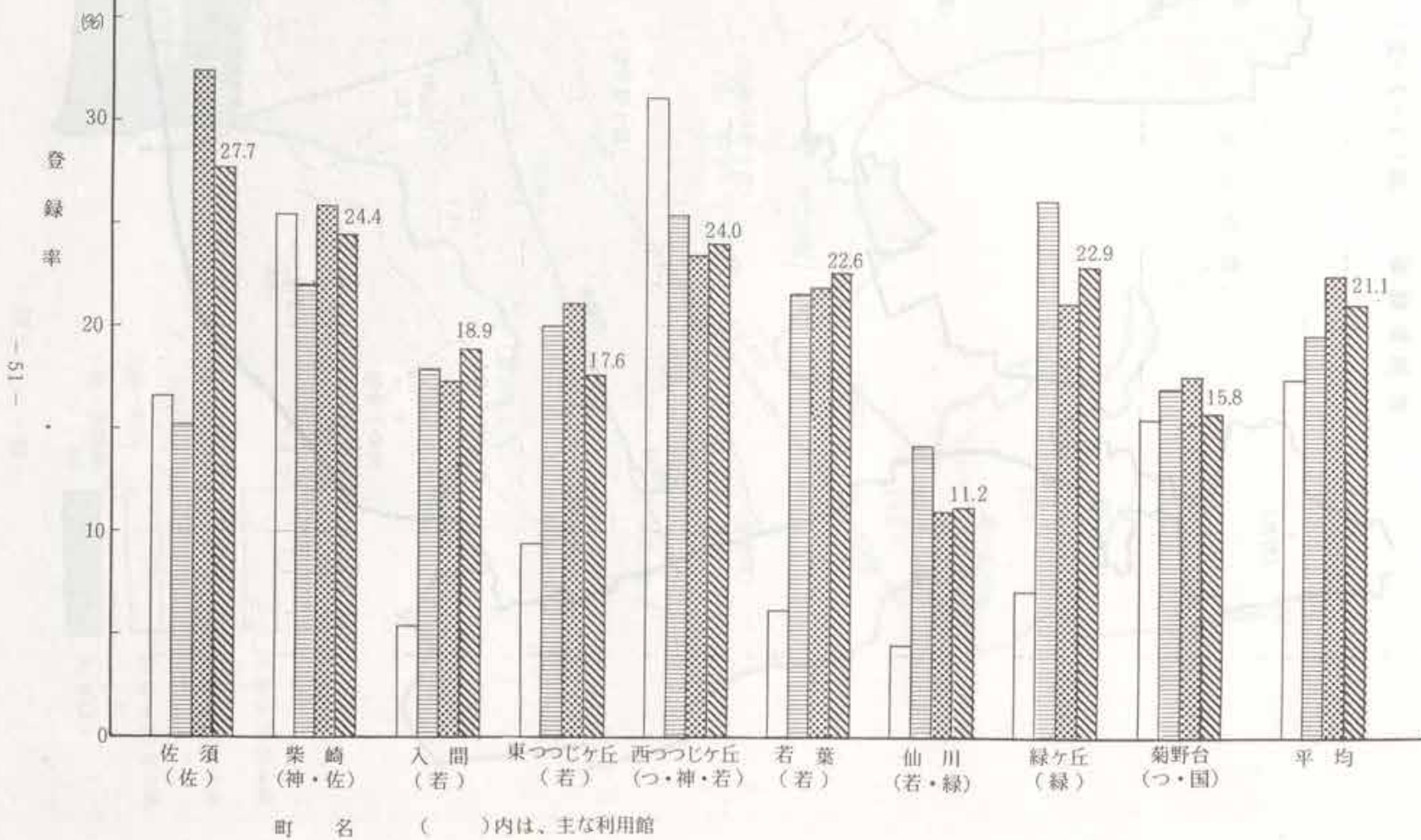
年度別・町別登録率の変化 表(V-2-(2))

No.1

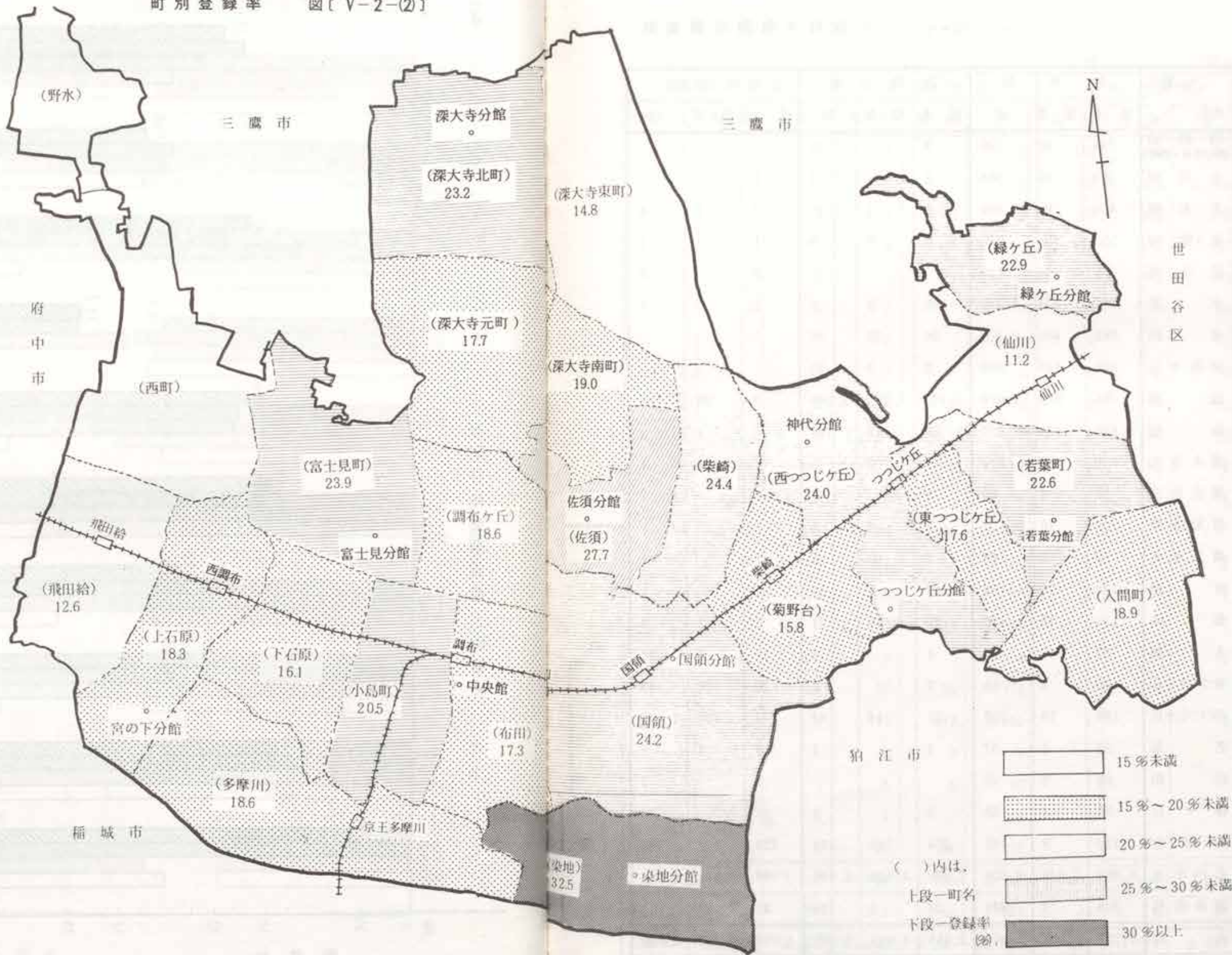


年度別・町別登録率の変化 (V-2-(2))

No.2



町別登録率 図〔V-2-(2)〕



館別・町別登録者数

館名 町名	中央館			国領分館			つつじヶ丘分館		
	成人	児童	計	成人	児童	計	成人	児童	計
飛田給 (含、野水・西町)	253	82	335	3		3			
上石原	299	69	368	3		3	1		1
下石原	451	198	649	9	1	10	3	1	4
多摩川	592	357	949	6	3	9	1		1
富士見	355	64	419				2		2
小島	875	474	1,349	5	3	8	1		1
布田	869	446	1,315	20	20	40			
調布ヶ丘	445	148	593	8	2	10			
国領	785	291	1,076	1,573	1,375	2,948	13	26	39
染地	695	144	839	89	18	107	3	1	4
深大寺元	210	67	277	3	3	6		1	1
深大寺北	59	4	63	3		3	1		1
深大寺東	102	10	112	5	2	7	1		1
深大寺南	57	5	62	3	2	5	1		1
佐須	134	20	154	17	2	19	1		1
柴崎	100	13	113	46	25	71	3	3	6
入間	37	3	40	1		1	10	3	13
東つつじヶ丘	50	8	58	2		2	20	23	43
西つつじヶ丘	188	19	207	27	14	41	701	709	1,410
若葉	54	3	57	1		1	5	1	6
仙川	62	8	70				1		1
緑ヶ丘	55	3	58	5		5			
菊野台	137	9	146	254	140	394	229	278	507
市内小計	6,864	2,445	9,309	2,083	1,610	3,693	997	1,046	2,043
調布市外	343	3	346	28	1	29	35	17	52
合計	7,207	2,448	9,655	2,111	1,611	3,722	1,032	1,063	2,095

(成人・児童別) 表[V-2-(2)]

No 1

深大寺分館			神代分館			宮の下分館		
成人	児童	計	成人	児童	計	成人	児童	計
2		2	1		1	188	170	358
			1		1	552	454	1,006
2	1	3	1	1	2	193	181	374
			2		2	407	440	847
7		7	1		1	4	1	5
5	3	8	2		2	40	9	49
			2		2	3		3
2		2	1		1	1	1	2
2		2	10	6	16	4	6	10
5		5	9		9	4	6	10
101	88	189	3	2	5	1	2	3
662	531	1,193	8		8	1		1
468	373	841	184	138	322			
21	15	36	71	54	125	1	1	2
3		3	28	8	36	1		1
2	3	5	653	435	1,088			
			4		4	1		1
			37	35	72			
3		3	713	447	1,160	1		1
1		1	6	3	9			
			5	5	10			
1		1	1		1			
	1	1	41	34	75			
1,287	1,015	2,302	1,784	1,168	2,952	1,402	1,271	2,673
43	16	59	271	82	353	40	6	46
1,330	1,031	2,361	2,055	1,250	3,305	1,442	1,277	2,719

館別・町別登録者数

館名 町名	緑ヶ丘分館			富士見分館			若葉分館		
	成人	児童	計	成人	児童	計	成人	児童	計
飛田給 (含、野水・西町)	1		1	20	25	45			
上石原		1	1	55	39	94	2		2
下石原	2		2	107	99	206	1	1	2
多摩川	1		1	6	3	9	4		4
富士見				937	874	1,811	3	2	5
小島	3		3	126	139	265	1		1
布田	1		1	9	4	13	3		3
調布ヶ丘				77	87	164	1		1
国領	3	7	10	2	10	12	9	8	17
染地	4	1	5	4	1	5	9		9
深大寺元				95	85	180	2	1	3
深大寺北	1		1						
深大寺東	3	2	5				1		1
深大寺南							1		1
佐須	2		2	4	1	5	1		1
柴崎				1		1	7		7
入間							657	564	1,221
東つつじヶ丘	1	1	2	1		1	331	294	625
西つつじヶ丘	7	5	12	1		1	266	129	395
若葉	9	2	11	1		1	639	420	1,059
仙川	102	90	192				153	121	274
緑ヶ丘	877	830	1,707	2		2	17	9	26
菊野台	1		1				18	7	25
市内小計	1,018	939	1,957	1,448	1,367	2,815	2,126	1,556	3,682
調布市外	150	76	226	18	7	25	102	50	152
合計	1,168	1,015	2,183	1,466	1,374	2,840	2,228	1,606	3,834

(成人・児童別) 表(V-2-(2))

No 2

染地分館			佐須分館			合計		
成人	児童	計	成人	児童	計	成人	児童	計
1		1	1		1	470	277	747
2	1	3				915	564	1,479
4	2	6	7	2	9	780	487	1,267
55	26	81	4		4	1,078	829	1,907
3		3	18	11	29	1,330	952	2,282
9	3	12	11	5	16	1,078	636	1,714
40	21	61	51	83	134	998	574	1,572
1	1	2	199	212	411	735	451	1,186
259	208	467	324	335	659	2,984	2,272	5,256
2,186	1,799	3,985	9	1	10	3,017	1,971	4,988
	1	1	96	96	192	511	346	857
			15	4	19	750	539	1,289
1		1	39	40	79	804	565	1,369
			199	146	345	354	223	577
2		2	720	432	1,152	913	463	1,376
2		2	169	160	329	983	639	1,622
			1		1	711	570	1,281
			2		2	444	361	805
	5	5	21	28	49	1,928	1,356	3,284
1	1	2	1	1	2	718	431	1,149
1		1				324	224	548
1		1				959	842	1,801
3	1	4	25	24	49	708	494	1,202
2,571	2,069	4,640	1,912	1,580	3,492	23,492	16,066	39,558
25	15	40	13		13	1,068	273	1,341
2,596	2,084	4,680	1,925	1,580	3,505	24,560	16,339	40,899

年度別・館別登録者数

館別		年度				
		41	50	51	52	53
成人	中央館	2,161	8,288	7,984	8,520	8,262
	国領分館		1,881	1,930	2,157	2,180
	つづじヶ丘分館		1,168	1,080	1,058	996
	深大寺分館		1,564	1,665	1,557	1,346
	神代分館		2,004	2,301	2,324	2,222
	宮の下分館		1,252	1,264	1,315	1,205
	緑ヶ丘分館		1,154	1,201	1,348	1,314
	富士見分館		1,174	1,249	1,287	1,179
	若葉分館		1,717	2,109	2,453	2,253
	佐須分館					
計	2,161	20,202	20,783	22,019	20,957	
指数	100	935	962	1,019	970	
児童	中央館	921	4,842	4,531	4,659	4,425
	国領分館		2,255	2,108	2,225	2,058
	つづじヶ丘分館		2,246	2,343	1,842	1,643
	深大寺分館		1,688	1,605	1,746	1,473
	神代分館		2,103	2,142	2,023	1,918
	宮の下分館		1,754	1,620	1,644	1,574
	緑ヶ丘分館		1,761	1,768	1,755	1,705
	富士見分館		1,537	1,564	1,476	1,428
	若葉分館		2,010	2,058	2,090	2,026
	佐須分館					
計	921	20,196	19,739	19,460	18,250	
指数	100	2,193	2,143	2,113	1,982	
合計	中央館	3,082	13,130	12,515	13,179	12,687
	国領分館		4,136	4,038	4,382	4,238
	つづじヶ丘分館		3,414	3,423	2,900	2,639
	深大寺分館		3,252	3,270	3,303	2,819
	神代分館		4,107	4,443	4,347	4,140
	宮の下分館		3,006	2,884	2,959	2,779
	緑ヶ丘分館		2,915	2,969	3,103	3,019
	富士見分館		2,711	2,813	2,763	2,607
	若葉分館		3,727	4,167	4,543	4,279
	佐須分館					
計	3,082	40,398	40,522	41,479	39,207	
指数	100	13,111	13,15	1,346	1,272	
登録率	2.5	2.36	2.35	2.38	2.24	

表 (V - 2 - (3))

54	55	56	57	58	59	60
7,844	7,609	7,868	7,666	7,360	7,325	7,207
2,000	1,972	2,017	2,129	2,037	2,026	2,111
944	949	1,009	971	1,027	1,004	1,032
1,377	1,344	1,375	1,483	1,475	1,460	1,330
2,010	1,984	1,927	1,901	1,919	1,957	2,055
1,203	1,170	1,264	1,242	1,256	1,381	1,442
1,243	1,068	1,023	954	941	1,071	1,168
1,177	1,262	1,197	1,304	1,324	1,421	1,466
2,086	1,958	2,003	1,948	1,935	2,167	2,228
	2,000	2,181	2,279	2,370	2,440	2,596
			1,355	1,560	1,879	1,925
19,884	21,316	21,864	23,232	23,204	24,131	24,560
920	986	1,011	1,075	1,074	1,117	1,137
4,057	3,558	3,534	3,210	2,901	2,687	2,448
1,910	2,022	2,113	1,989	1,969	1,740	1,611
1,422	1,326	1,235	1,234	1,296	1,192	1,063
1,471	1,404	1,320	1,349	1,203	1,190	1,031
1,755	1,687	1,576	1,516	1,481	1,366	1,250
1,598	1,535	1,507	1,532	1,389	1,350	1,277
1,583	1,334	1,188	1,073	1,000	950	1,015
1,436	1,529	1,414	1,521	1,481	1,449	1,374
1,908	1,736	1,692	1,688	1,750	1,761	1,606
	2,217	2,330	2,388	2,331	2,243	2,084
			1,622	1,813	1,732	1,580
17,140	18,348	17,909	19,122	18,614	17,660	16,339
1,861	1,992	1,944	2,076	2,021	1,917	1,774
11,901	11,167	11,402	10,876	10,261	10,012	9,655
3,910	3,994	4,130	4,118	4,006	3,766	3,722
2,366	2,275	2,244	2,205	2,323	2,196	2,095
2,848	2,748	2,695	2,832	2,678	2,650	2,361
3,765	3,671	3,503	3,417	3,400	3,323	3,305
2,801	2,705	2,771	2,774	2,645	2,731	2,719
2,826	2,402	2,211	2,027	1,941	2,021	2,183
2,613	2,791	2,611	2,825	2,805	2,870	2,840
3,994	3,694	3,695	3,636	3,685	3,928	3,834
	4,217	4,511	4,667	4,701	4,683	4,680
			2,977	3,373	3,611	3,505
37,024	39,664	39,773	42,354	41,818	41,791	40,899
1,201	1,287	1,290	1,374	1,357	1,356	1,327
21.2	22.5	22.2	23.4	23.0	22.7	21.8

館別・職業別登録者数 表〔V-2-(4)〕

館名 職業別	中央館	国領	つづじヶ丘	深大寺	神代	宮の下	緑ヶ丘	富士見	若葉	築地	佐須	合計	％
中学生	652	479	164	216	352	347	231	273	492	590	459	4,255	10.4(17.3)
高校生	763	193	64	151	221	122	111	105	225	240	173	2,368	5.8(9.7)
学生	1,781	178	29	105	206	75	65	74	189	115	128	2,945	7.2(12.0)
勤人	1,757	456	201	261	428	325	248	329	440	588	407	5,440	13.3(22.2)
主婦	1,524	635	507	478	682	497	422	577	697	905	613	7,537	18.4(30.7)
自営	179	55	26	51	43	25	35	30	57	43	53	597	1.5(2.4)
その他	158	40	11	23	35	12	14	19	41	28	21	402	1.0(1.6)
無職	393	75	30	45	88	39	42	59	87	87	71	1,016	2.5(4.1)
小計	7,207	2,111	1,032	1,330	2,055	1,442	1,168	1,466	2,228	2,596	1,925	24,560	60.1(100)
児童	2,448	1,611	1,063	1,031	1,250	1,277	1,015	1,374	1,606	2,084	1,580	16,339	39.9
合計	9,655	3,722	2,095	2,361	3,305	2,719	2,183	2,840	3,834	4,680	3,505	40,899	100
％	23.6	9.1	5.1	5.8	8.1	6.6	5.3	6.9	9.4	11.4	8.7	100	

⑤ 市内小中学生の登録状況(昭和59年度調査結果) 表〔V-2-(5)〕

この調査は、3年に一回の割合で実施している調査で、調査方法は図書館に登録されたデータをもとに、各学校別、学年別に仕訳けをして集計したものである。

これまでの調査は昭和43、47、50、53、56年度に実施をし、今回は6回目の調査である。

イ. 小学生の状況

学校別に登録状況を見ると、飛田給小が60%を下廻っており、富士見台小、深大寺小、がそれに次いで低い登録率となっている。これらの地域は市内に点在する分館との距離が比較的遠く、児童の図書館利用に関しては困難な地域といわなくてはならない。

しかし、前回の調査結果と比較すると50%台の学校が2校あったが今回は1校となり60%台が5校で全体的なレベルアップが計られた。

学年別の状況を見ると、3～4年生を頂点として山型の登録率を示しているが、前回の調査結果と比べ各学年とも登録率が上廻っており4年生では95.8%殆んど全児童が登録している。前回65%であった6年生も76.0%と大巾にアップし、小学生の全体の登録率は86.0%で全国的にも高い数値を示している。

尚、当館においては、小学校と協力をして3年生を対象に図書館利用のガイダンスや、ブックトーク、読み聞かせ、ストーリーテリング等を定期的実施し、読書の動機づけを行っている。(IV-1-(3)参照)

このことが何らかの成果として高い登録率となっていると思われる。

ロ. 中学生の状況

中学生の場合は、学校別の格差がかなりあり高い学校で73.1%(四中)、低い学校では35.4%(八中)、38.9%(調布中)となっており、近くに分館がある場合とそうでない場合の状況が端的にあらわれている。また館別の登録状況を見ると蔵書を多く所蔵している館に集まる傾向が少しずつ見られ、中学生の行動範囲が小学生のときよりさらに拡大していることがわかる。

一方、学年別の状況を見ると1年生が66.5%と最も多く、2年、3年と進むにつれて登録率が低くなってしまふ。なお前回の調査結果と比べると僅かだが増えており、今後の働きかけによって更に拡大されることが期待出来る。

ハ. 未就学児童の状況

0才～6才までの未就学児童(乳児・幼児)の状況であるが(6才児のデータは小学1年生と重複するため若干誤差が認められるので参考程度とする)、5才児では62.0%と半数以上の幼児がすでに図書館の利用者として登録されている。これは市内全域をカバーする分館が整備されていることの具体的な現われと考えられる。

学校別・館別登録者数

学校名	中央館		国領分館		つつじヶ丘分館	
	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
第一	428	47.3	9		5	
第二	173	35.3	238	48.6	6	
第三	109	15.7	3		2	
八雲台	118	16.1	85	11.6	3	
富士見台	382	59.0	3			
滝坂	7				24	
深大寺	42	8.0				
上の原	11		17		2	
石原	58		1		1	
若葉			4		8	
野川	20		16		418	78.6
緑ヶ丘	1					
染地	24		25			
北の台	8		1			
多摩川	52	9.0				
杉森	72		25		1	
大町	5		123	26.9	230	43.2
飛田給	71	14.5				
柏野	19		5		1	
国領	56		694	86.3	17	
布田	245	43.3				
小計	1,901		1,249		718	
桐朋	17		5		3	
晃華	21		7		5	
その他	49		13		31	
合計	1,988		1,274		757	

(小学校) 表[V-2-(5)]

No. 1

深大寺分館		神代分館		宮の下分館	
登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
		4		3	
1		4		1	
				443	63.6
				11	
1		146	19.7		
144	27.4	36			
17		655	69.4		
		1		2	
		4			
		26			
679	74.1	1		1	
				332	57.5
		21			
				169	34.6
		9			
4		11		8	
846		918		970	
4		12		7	
10		38		3	
27		87		10	
887		1,055		990	

学校別・館別登録者数

学校名	緑ヶ丘分館		富士見分館		若葉分館	
	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
第一	3		266	29.4	4	
第二	4		3		3	
第三	3		44			
八雲台	4				4	
富士見台			6			
滝坂	20		1		297	40.1
深大寺			11			
上の原					6	
石原			579	74.3	1	
若葉	3				780	105.8
野川	9				83	15.6
緑ヶ丘	587	79.9			13	
染地						
北の台						
多摩川			3			
杉森	1					
大町					6	
飛田給			10			
柏野	1				1	
国領	5		4		11	
布田						
小計	640		927		1,209	
桐朋	6		4		20	
晃華	3		1		6	
その他	75		12		40	
合計	724		944		1,275	

(小学校) 表[V-2-(5)]

No.2

染地分館		佐須分館		計	
登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
6		71		799	88.4
44	9.0	10		487	99.4
		2		606	87.1
5		431	58.9	650	88.8
4		2		408	63.1
				496	66.9
		105	20.0	338	64.4
		135	14.3	843	89.3
		4		647	83.1
				799	108.4
		16		588	110.5
2				603	82.0
474	80.2	1		524	88.7
		2		692	75.5
1				388	67.2
791	85.1			890	95.7
		1		386	84.3
3		3		256	52.4
		455	92.3	491	99.9
14		42		866	107.7
148	26.1			393	69.4
1,492		1,280		12,150	85.0
4		7		89	
2		24		120	
44		10		398	
1,542		1,321		12,757	

学校別・学年別登録者数

学年 学校名	1 年		2 年		3 年	
	児童数	登録者数	児童数	登録者数	児童数	登録者数
第一	131	106	141	127	144	118
第二	72	58	70	61	78	82
第三	93	72	107	85	123	118
八雲台	120	95	108	95	113	109
富士見台	108	61	104	67	109	77
滝坂	123	73	110	72	121	89
深大寺	78	47	87	37	76	51
上の原	145	114	151	116	139	121
石原	109	90	117	108	137	121
若葉	104	109	127	136	114	124
野川	105	86	85	90	76	128
緑ヶ丘	103	89	99	91	112	116
染地	68	61	82	76	96	89
北の台	142	110	133	114	126	104
多摩川	92	46	87	60	110	82
杉森	149	138	146	139	152	148
大町	69	62	68	68	73	61
飛田給	79	30	74	30	74	60
柏野	72	74	85	86	76	82
国領	98	95	137	150	151	147
布田	92	54	83	68	82	62
小計	2,152	1,670	2,202	1,877	2,283	2,089
登録率	77.6		85.2		91.5	
桐朋		11		12		16
晃華		10		18		21
その他		63		39		55
合計		1,754		1,946		2,181

(小学校) 表[V-2-(5)]

4 年		5 年		6 年		合計		登録率
児童数	登録者数	児童数	登録者数	児童数	登録者数	児童数	登録者数	
167	168	168	135	153	145	904	799	88.4
73	100	97	74	100	112	490	487	99.4
137	142	109	90	127	99	696	606	87.1
122	135	121	111	148	105	732	650	88.8
92	62	126	88	108	53	647	408	63.1
110	84	141	102	131	76	741	496	66.9
77	44	107	85	100	74	525	338	64.4
167	176	162	174	180	142	944	843	89.3
150	126	136	120	130	82	779	647	83.1
129	145	119	128	144	157	737	799	108.4
78	91	91	99	97	94	532	588	110.5
141	116	147	102	133	89	735	603	82.0
102	102	121	106	115	90	591	524	88.7
169	128	184	129	162	107	916	692	75.5
99	75	76	54	113	71	577	388	67.2
152	160	169	163	162	142	930	890	95.7
82	60	81	67	82	68	458	386	84.3
96	48	78	55	88	32	489	256	52.4
95	97	72	65	93	87	493	491	99.9
139	238	151	139	128	97	804	866	107.7
104	85	107	72	98	52	566	393	69.4
2,487	2,382	2,563	2,158	2,599	1,974	14,286	12,150	85.0
95.8		84.2		76.0				
	16		22		12		89	
	25		24		22		120	
	90		70		81		398	
	2,513		2,274		2,089		12,757	

学校別・館別登録者数

学校名	中央館		国領分館		つつじヶ丘分館	
	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
調布	133	12.5				
神代	22				1	
第三	218	15.9	72	5.3		
第四	13		13		77	9.3
第五	161	16.4	8			
第六	26		234	43.2	39	
第七	56		41		2	
第八	1		3			
小計	630		371		119	
桐朋	17		8		1	
晃華	5		1		1	
その他	84		20		7	
合計	736		400		128	

学校名	緑ヶ丘分館		富士見分館		若葉分館	
	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
調布			250	23.4		
神代			3			
第三					1	
第四	9		1		460	55.6
第五			3		1	
第六					4	
第七			2		2	
第八	155	32.6			6	
小計	164		259		474	
桐朋	8		2		16	
晃華	2				4	
その他	43		17		40	
合計	217		278		534	

(中学校) 表[V-2-(5)]

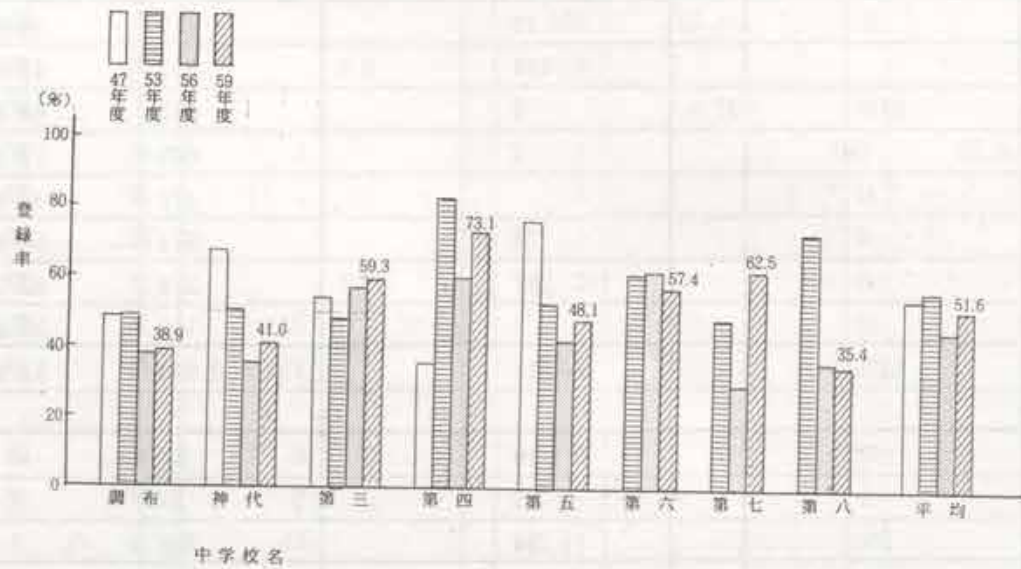
深大寺分館		神代分館		宮の下分館	
登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
9				8	
202	16.0	165	13.1		
		30		1	
		13		282	28.7
		5			
		7			
		2			
211		222		291	
1		15		2	
2		3			
24		52		21	
238		292		314	

染地分館		佐須分館		計	
登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
2		13		415	38.9
		124	9.8	517	41.0
519	37.9	3		813	59.3
		1		605	73.1
4				472	48.1
		3		311	57.4
1		267	44.1	378	62.5
1				168	35.4
527		411		3,679	51.6
7		10		87	
		5		23	
26		24		358	
560		450		4,147	

学校別・学年別登録者数 (中学校) 表 [V-2-(5)]

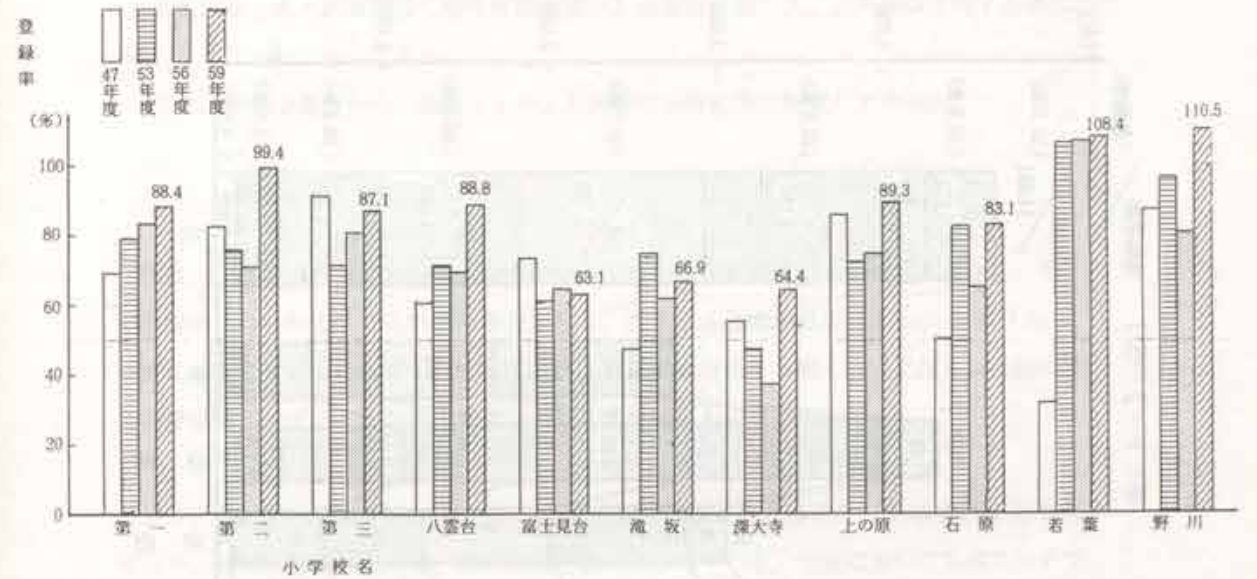
学校名	1 年		2 年		3 年		計		登録率
	生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	
調布	375	255	359	109	333	51	1,067	415	38.9
神代	410	236	441	192	411	89	1,262	517	41.0
第三	443	272	435	274	493	267	1,371	813	59.3
第四	289	255	259	154	280	196	828	605	73.1
第五	354	203	306	156	321	113	981	472	48.1
第六	203	145	181	107	158	59	542	311	57.4
第七	230	198	183	98	192	82	605	378	62.5
第八	161	76	160	59	154	33	475	168	35.4
小計	2,465	1,640	2,324	1,149	2,342	890	7,131	3,679	51.6
登録率	66.5		49.4		38.0				
桐明		36		19		32		87	
晃華		7		7		9		23	
その他		161		117		80		358	
合計		1,844		1,292		1,011		4,147	

学校別登録率の推移 (中学校) 表 [V-2-(5)]



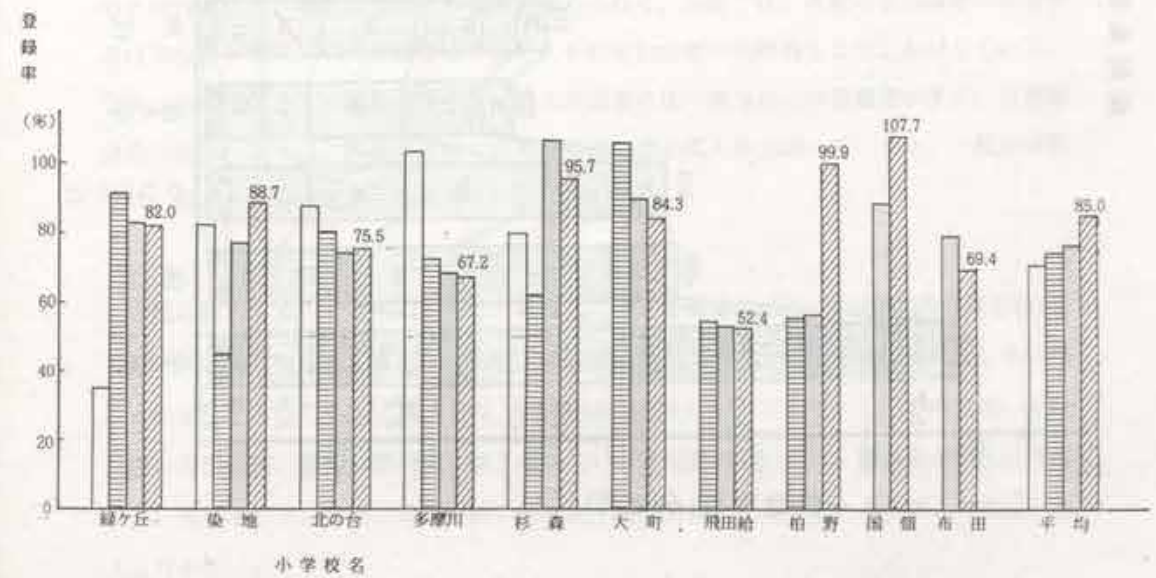
学校別登録率の推移 (小学校) 表 [V-2-(5)]

No. 1

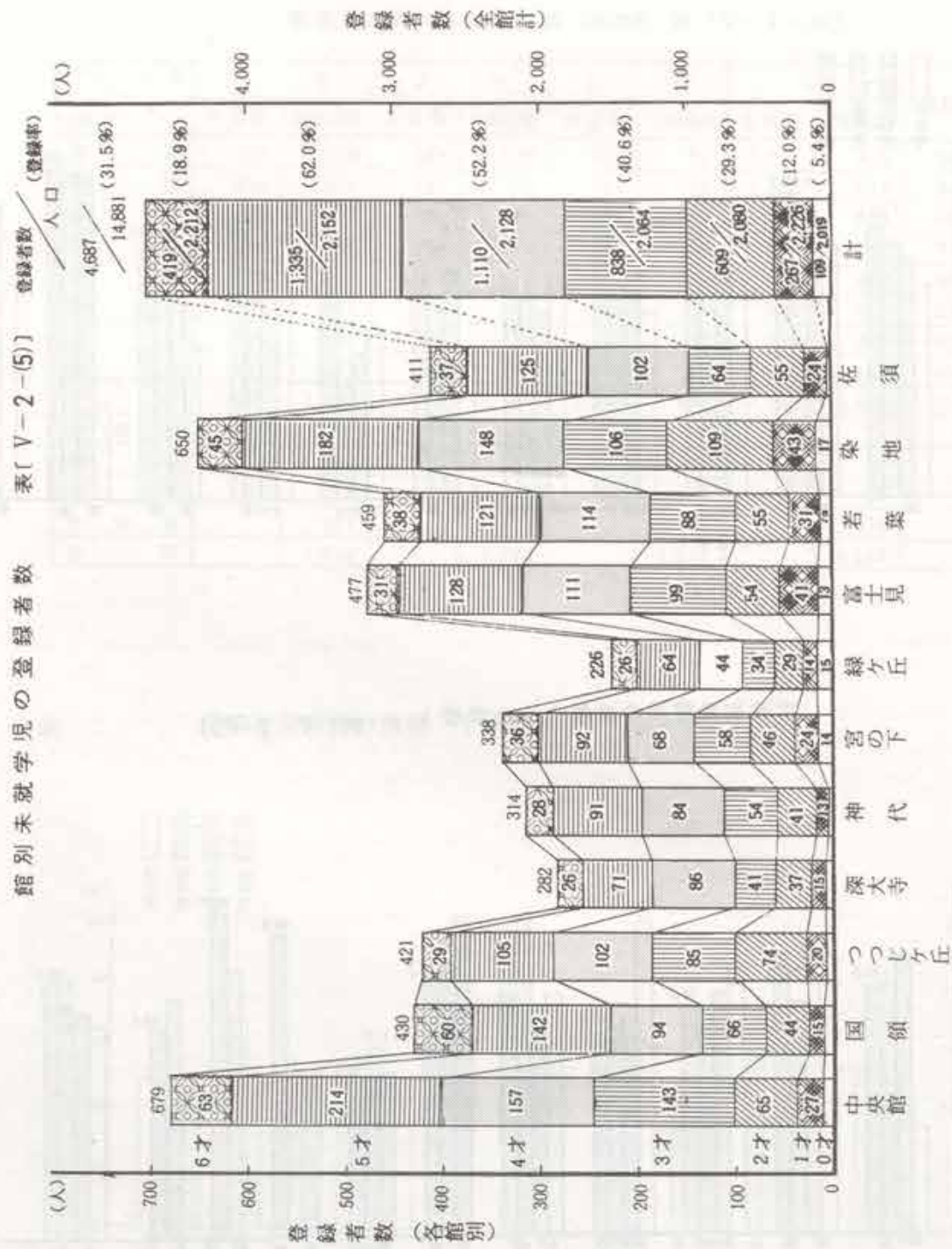


学校別登録率の推移 (小学校) 表 [V-2-(5)]

No. 2



館別未就学児の登録者数



参考資料

(6) 登録者分布状況、利用圏の特徴(東工大一昭和59年度調査分析結果)表[V-2-(6)]

この調査分析は、60年12月、東京工業大学工学部建築学科谷口研究室(谷口汎邦教授・担当者天川恭一氏・武田理氏<昨年度担当者>)の要請に基づき、公共施設に関する研究の一環として行われたものである。

なお、紙幅の都合から、各館ごとのより詳細な分析結果は割愛してある。

はじめに

現在、調布市の図書館整備は、首都圏の中でもかなり進んでいる。しかしながら、地区別登録率からわかるように地域間格差が有り、是正する余地があると思われる(表1)。そこでこの報告では、登録者の分布状況及び、利用圏の特徴を各館ごとに把握し、今後の図書館整備を進めていく上での、基礎的資料を提供するものである。

まず、登録者の分布を見ると(図1)、中央館では成人の登録者が市全域に広く分布しており、特に市西部の京王線、府中方面沿線に広がっている。児童においても成人ほどではないが、他館に比べ広い分布がみられる。また、分館の中では成人において、立地条件の良い国領分館に広い分布が見られる。児童においては、遠距離の利用は成人に比べ少ないが、児童館併設の佐須分館は、比較的遠距離の利用が多くなっている。

次に登録者の分布と距離の関係を探ってみる(図2)。中央館で広範囲の分布が見られるのと同時に成人と児童の差が最も顕著に認められる。分館では、各館の全登録者の70%がほぼ500m~800m以内に居住しており、それぞれ分館の利用圏をおおむね示している。また、立地条件のよい国領分館では、成人が児童に比べ遠方からの登録者が多く、児童館併設の佐須分館では、図書館近傍での児童の登録者が成人を上回っているが、一般に分館では、成人と児童の差は、明確でない。

各館の魅力を表わすと考えられる、吸収力の強さを捉るために、非近隣施設登録者数(最も近い図書館ではないにもかかわらず、その図書館に登録をしている登録者の数)を各館ごとに示してみる(表2)。成人では、中央館が分館を圧倒しており、分館の中では、佐須分館、若葉分館、国領分館が高い値となっている。児童においては、中央館が成人と同様に高い値を示しているが、分館で高い値を示す佐須分館、若葉分館と中央館との差は、成人より小さい。

このことから、利便性(中央館・国領分館)、蔵書数(中央館・若葉分館)、児童館併設

(佐須分館)などは、それぞれの施設を魅力あるものとし、遠距離からの利用を促す要因になると考えられる。

最後に各館のサービスエリアを把握するために勢力図を検討してみる(図3)。一般に成人に比べ児童の方が明確に勢力圏が分かれている。成人においては、市西部で中央館の影響が強く、勢力圏の境界部分で中央館への登録者が多くなっている。また、児童においては成人と比較し、中央館、国領分館の勢力圏が小さくなり、つつじヶ丘分館、佐須分館、染地分館、宮の下分館、富士見分館の勢力圏が大きくなっている。

すなわち、児童においては、より近い施設を利用する傾向が成人より強く、成人では児童以上に、蔵書数、利便性が重要となる。

これらの結果から、中央館新設の際には、中央館の機能から主に、市全域の成人が対象になると考えられ、生活動線方向の利便性を考慮すると、調布駅以東の駅付近がよいと考えられる。また、大規模で利便性の高い中央館が新設された場合、現在の分館の利用が減少する恐れもあり、今後分館は、それぞれ中央館にはない特徴を持たせ、中央館との相互利用を促す必要があると思われる。

表-1 町丁別登録率

成人				児童			
町名	登録率	町名	登録率	町名	登録率	町名	登録率
飛田給 1	6.5	東つつ 1	29.2	飛田給 1	29.2	東つつ 1	36.8
飛田給 2	10.9	東つつ 2	8.6	飛田給 2	33.7	東つつ 2	47.2
飛田給 3	11.2	東つつ 3	16.8	飛田給 3	30.4	東つつ 3	74.4
上石原 1	8.3	西つつ 1	17.0	上石原 1	47.0	西つつ 1	61.4
上石原 2	22.3	西つつ 2	14.5	上石原 2	48.0	西つつ 2	49.3
上石原 3	19.5	西つつ 3	10.1	上石原 3	72.7	西つつ 3	34.3
富士見 1	11.4	西つつ 4	17.4	富士見 1	59.6	西つつ 4	69.4
富士見 2	25.3	人間 1	9.3	富士見 2	78.2	人間 1	61.2
富士見 3	16.7	人間 2	17.8	富士見 3	55.6	人間 2	66.0
富士見 4	12.8	人間 3	7.0	富士見 4	45.9	人間 3	51.7
下石原 1	10.3	仙川 1	9.0	下石原 1	57.6	仙川 1	36.9
下石原 2	11.4	仙川 2	3.8	下石原 2	46.2	仙川 2	24.0
下石原 3	13.5	仙川 3	7.0	下石原 3	43.1	仙川 3	47.8
小島 1	16.3	緑ヶ丘 1	10.0	小島 1	57.6	緑ヶ丘 1	49.1
小島 2	15.3	緑ヶ丘 2	14.0	小島 2	54.1	緑ヶ丘 2	68.3
小島 3	13.8	野水 1	0.0	小島 3	46.0	野水 1	0.0
布田 1	8.9	若葉 1	15.6	布田 1	44.6	若葉 1	63.2
布田 2	13.5	若葉 2	11.6	布田 2	46.6	若葉 2	65.5
布田 3	12.6	若葉 3	28.0	布田 3	52.6	若葉 3	72.4
布田 4	12.9	調布丘 1	13.6	布田 4	34.2	調布丘 1	47.1
布田 5	15.8	調布丘 2	9.3	布田 5	49.4	調布丘 2	40.1
布田 6	16.2	調布丘 3	14.1	布田 6	42.1	調布丘 3	54.5
下布田	24.8	調布丘 4	11.2	下布田	75.0	調布丘 4	50.5
国領	13.6	深大元 1	14.5	国領	54.4	深大元 1	70.8
国領 1	12.4	深大元 2	15.2	国領 1	57.2	深大元 2	50.6
国領 2	19.8	深大元 3	9.6	国領 2	97.9	深大元 3	38.9
国領 3	18.5	深大元 4	12.6	国領 3	82.7	深大元 4	41.5
国領 4	17.3	深大元 5	11.9	国領 4	63.9	深大元 5	36.3
国領 5	12.9	深大北 1	22.8	国領 5	61.5	深大北 1	65.3
国領 6	11.3	深大北 2	16.1	国領 6	42.9	深大北 2	57.8
国領 7	12.5	深大北 3	24.5	国領 7	62.7	深大北 3	63.0
国領 8	20.6	深大北 4	13.4	国領 8	71.5	深大北 4	55.8
染地 1	18.4	深大北 5	18.2	染地 1	58.7	深大北 5	82.4
染地 2	26.7	深大北 6	16.3	染地 2	73.4	深大北 6	60.6
染地 3	22.8	深大北 7	15.8	染地 3	50.8	深大北 7	57.4
多摩川 1	27.6	深大東 1	10.6	多摩川 1	60.6	深大東 1	43.4
多摩川 2	9.9	深大東 2	10.0	多摩川 2	57.9	深大東 2	48.2
多摩川 3	10.8	深大東 3	11.7	多摩川 3	32.9	深大東 3	58.7
多摩川 4	6.0	深大東 4	10.7	多摩川 4	18.7	深大東 4	38.2
多摩川 5	10.6	深大東 5	9.8	多摩川 5	34.6	深大東 5	47.8
多摩川 6	17.8	深大東 6	12.4	多摩川 6	51.3	深大東 6	48.2
多摩川 7	9.9	深大東 7	10.8	多摩川 7	46.8	深大東 7	37.2
佐須	21.9	深大東 8	8.9	佐須	71.1	深大東 8	38.7
柴崎	13.8	深大南 1	15.5	柴崎	49.1	深大南 1	69.8
柴崎 1	12.2	深大南 2	24.0	柴崎 1	63.1	深大南 2	57.5
柴崎 2	20.1	深大南 3	7.9	柴崎 2	54.8	深大南 3	21.1
菊野台 1	8.1	深大南 4	11.7	菊野台 1	54.9	深大南 4	50.5
菊野台 2	12.1	深大南 5	8.2	菊野台 2	54.9	深大南 5	34.9
菊野台 3	10.5			菊野台 3	57.7		

表〔V-2-(6)〕

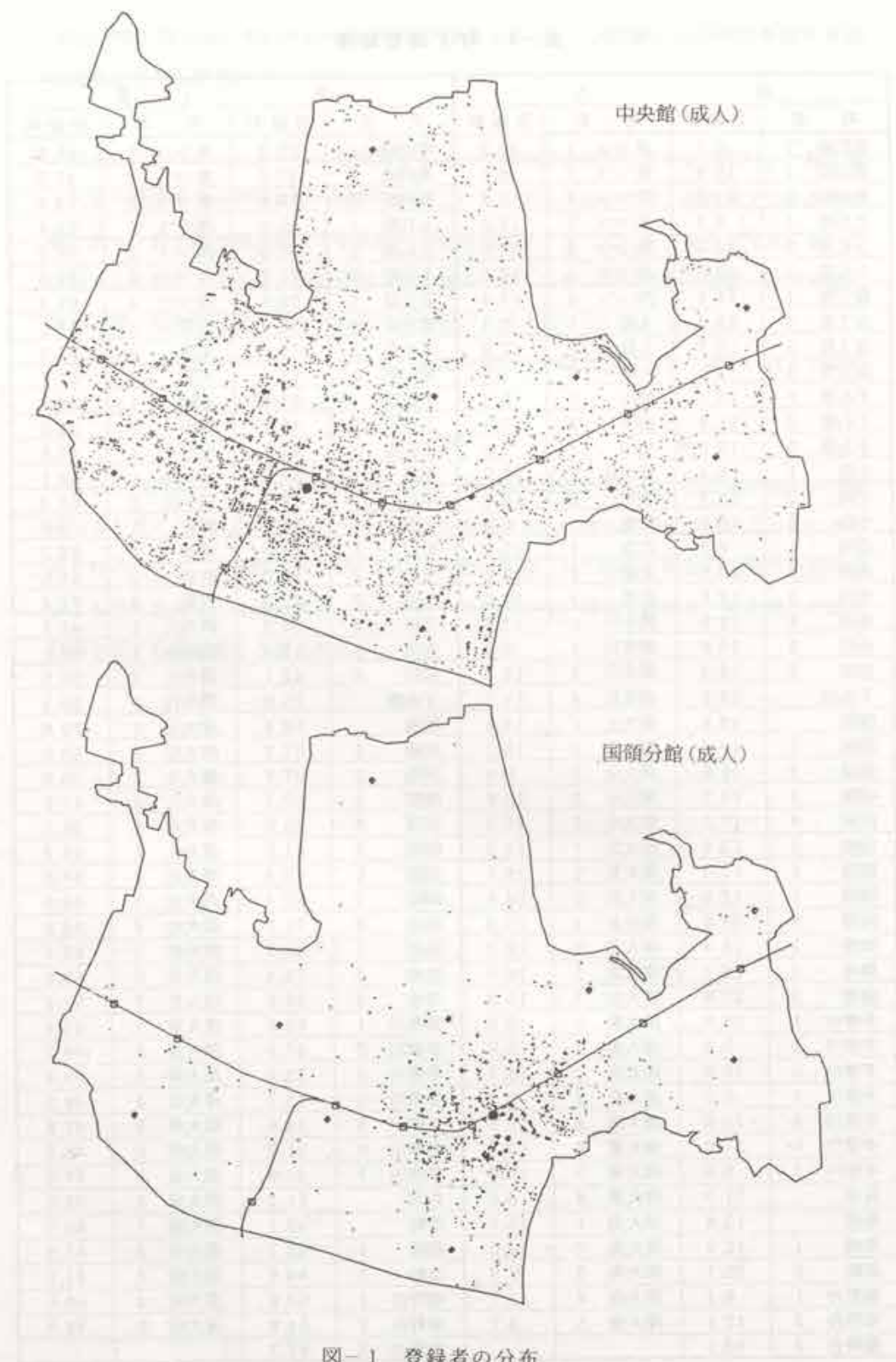


図-1 登録者の分布

表〔V-2-(6)〕

図-2 距離と登録者数の関係

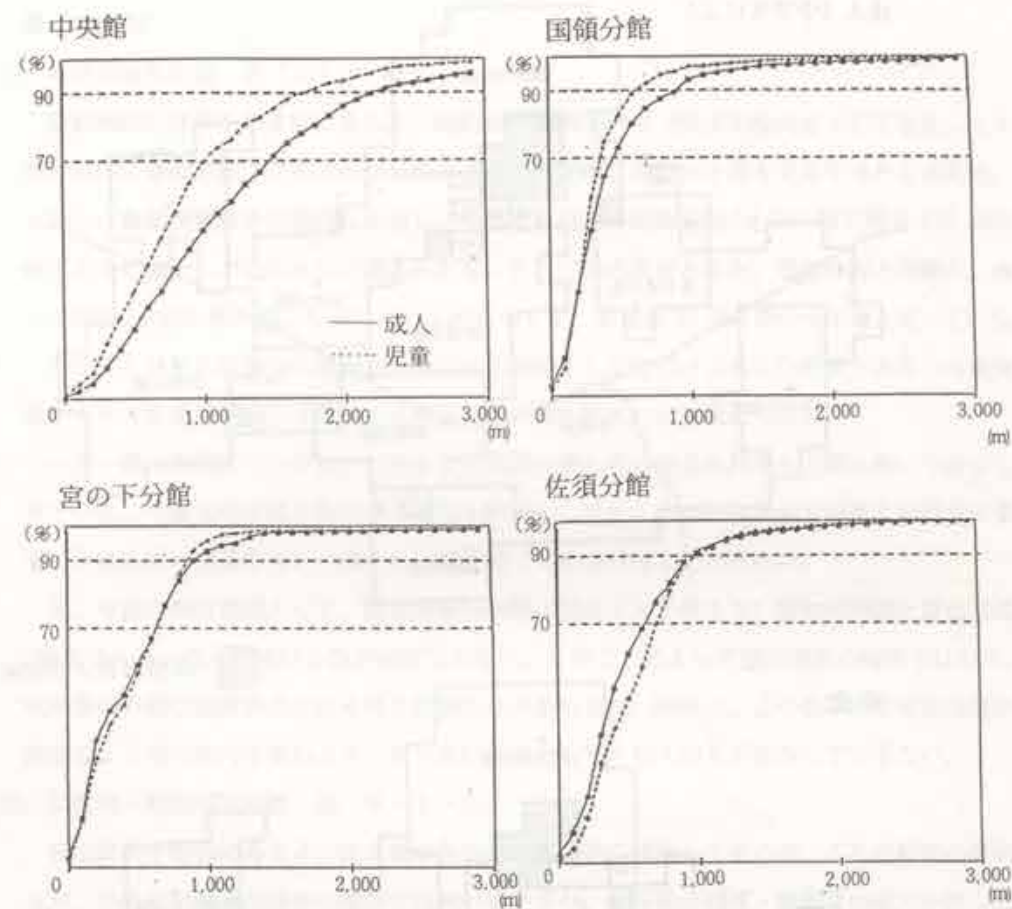


表-2 非最近隣施設登録者数

館名	成人(人)	児童(人)
中央館	4484	1275
国領分館	381	186
つつじヶ丘分館	84	160
深大寺分館	107	108
神代分館	264	193
宮の下分館	159	124
緑ヶ丘分館	35	46
富士見分館	118	68
若葉分館	497	339
染地分館	229	182
佐須分館	517	670

距離と登録者数の関係 (図-2)

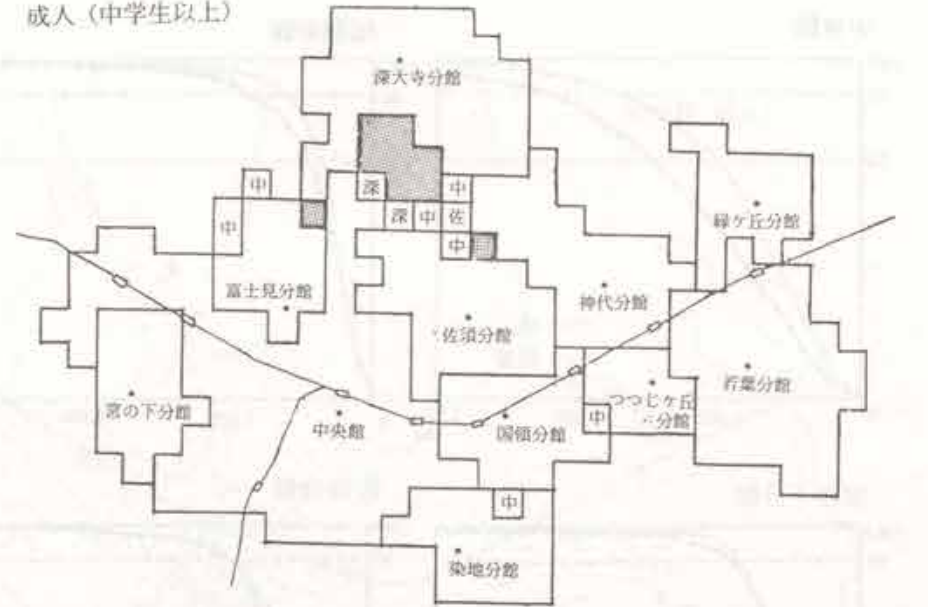
各館を中心に100mごとに登録者を集計し、横軸に距離、縦軸にその距離内にある登録者数の全登録者数に対する百分率をとりプロットしたものである。

非最近隣施設登録者数 (表-2)

最も近い図書館ではないにもかかわらず、その図書館に登録している登録者の数を各館ごとに集計した。

表[V-2-(6)]

成人(中学生以上)



児童



図-3 各館の勢力圏

調布市に250mメッシュをかけて各メッシュごとに、各館の登録者数の集計を行った。A図書館に対する登録者が最も多いメッシュ群を、A図書館の勢力圏と考え、この勢力圏を作成した。

3. 貸出状況

(1) 年度別貸出冊数 表[V-3-(1)]

貸出冊数の推移を年度別にみると、昭和54年以降徐々に上向きの傾向を示してきた。この間、55年に染地分館、57年に佐須分館がそれぞれ開館し冊数の上昇を支えて来たと言える。しかし、昨年度以降その傾向は後退し、今年度も前年の冊数を約24,000冊下廻る672,672冊と大巾に減少し、近年にない落込みとなった。この内訳をみると、登録状況と同様に、成人では約10,000冊の伸びを示しているのに対して、児童は33,000冊の大巾減となっている。

このことは単に児童数の減少というだけの原因として片付けられない結果であり、今後児童サービスを進めていく上で大きな課題として取り組まなければならない。

一方一般の利用については、これまでの状況を更に進め児童の利用を上回る勢いで伸びて来ている。今後も引き続き利用者の動向を把握し、リクエストの体制を十分整え利用者の希望に対応出来る運営を行い、役に立つ図書館づくりを目指していきたい。

又、今後の検討課題として、貸出冊数の制限(現在1人2冊まで)緩和の問題と貸出方式(現在ブラウン式)の検討を急がねばならない。このことによって貸出冊数の増冊をはかり、利用者の多様な読書要求に応え得る体制作りが進められ、同時に、より能率的な貸出処理が出来るよう更に検討を重ねカウンター窓口におけるサービス向上をはかっていきたい。

(2) 年度別・館別貸出冊数 表[V-3-(2)]

貸出状況を館別にみると、中央館が各分館の約2倍の貸出しであるが、これは駅前の利便さや、中央館の蔵書規模等の関係で当然の事であり、中央館の規模・機能等の拡大が計られればその差は更に広がっていくと考えられる。

又、各分館をそれぞれ比較してみると、染地分館が昨年同様他の分館を大きく上廻っており、次いで、国領、若葉、富士見、神代、佐須の順となっており、昨年と比べて若干の入れ替えが見られるが地域としては昨年とほぼ同様の結果となっている。

一方、利用者別にみると成人の利用者は一部を除いて殆んどどの館で昨年を上廻り順調な伸びを示しているが、児童の利用については、富士見を除いてすべての館で昨年を下廻る結果となった。

(3) 館別団体貸出冊数 表[V-3-(3)]

現在図書館に登録されている団体は46団体である。その大半が幼児や児童をかかえている文庫や、学校、幼稚園等である。

貸出しの実績は昨年とほぼ同様であり、団体貸出しがある程度定着してきたと言える。特に注目すべきことは、文庫の活動状況もさることながら、学校との協力事業にもとづいた学校図書館や、学級文庫への貸出しである。これらは団体貸出冊数の約半分を占めており、協力事業が順調に進められ先生方の図書館に対する期待が大きくなってきていることを示して

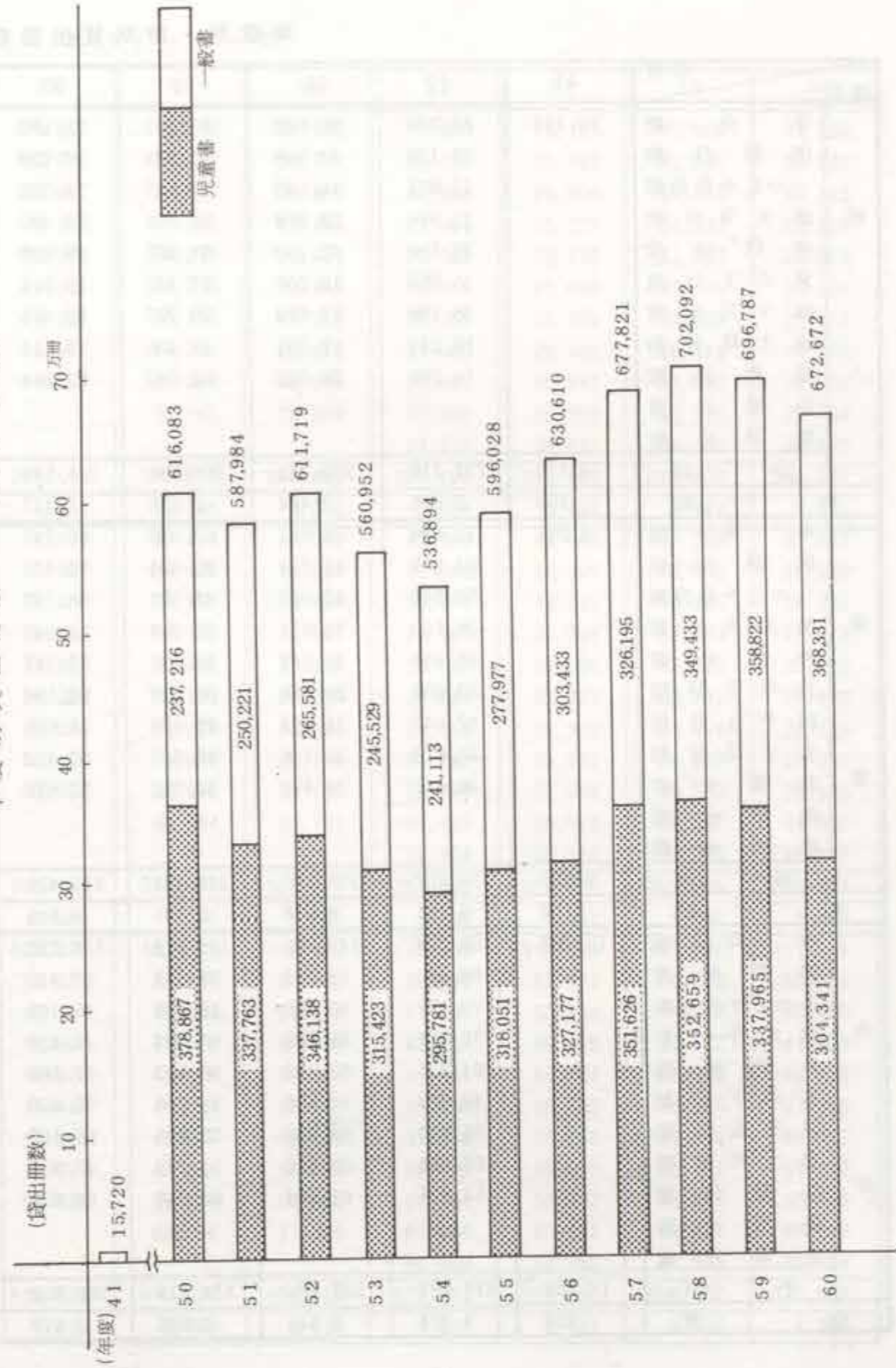
いる。

(4) 館別予約図書受付件数 表〔V-3-(4)〕

貸出中等によって借りることの出来ない図書資料を予約することが出来る制度がある。これは、その受付件数を調査したものである。(57年4月から調査を開始する)

予約制度は、貸出しを行う上では絶対に切り離すことの出来ないものであり、今日の公共図書館活動において重要な役割を持つものである。

年度別貸出冊数 表〔V-3-(1)〕



年度別・館別貸出冊数

館名		年度	41	50	51	52	53
成人	中央館		10,115	84,206	80,093	81,262	75,982
	国領分館			22,138	21,968	25,134	26,938
	つつじヶ丘分館			17,837	15,248	16,647	14,022
	深大寺分館			21,604	23,874	23,504	16,492
	神代分館			28,794	32,250	31,567	28,838
	宮の下分館			15,856	15,208	17,112	15,614
	緑ヶ丘分館			16,186	17,614	20,777	20,475
	富士見分館			16,292	17,334	17,496	15,514
	若葉分館			14,303	26,632	32,082	31,654
	染地分館						
佐須分館							
小計			10,115	237,216	250,221	265,581	245,529
指数			100	2,345	2,474	2,626	2,427
児童	中央館		5,587	71,098	63,687	67,653	60,247
	国領分館			34,307	31,773	32,434	30,472
	つつじヶ丘分館			52,600	40,957	41,531	35,740
	深大寺分館			34,123	31,675	32,904	23,943
	神代分館			35,441	36,642	35,135	32,747
	宮の下分館			33,056	29,548	31,134	30,194
	緑ヶ丘分館			37,047	35,863	37,438	36,688
	富士見分館			40,673	33,146	33,647	32,422
	若葉分館			40,522	34,472	34,262	32,970
	染地分館						
佐須分館							
小計			5,587	378,867	337,763	346,138	315,423
指数			100	6,781	6,046	6,195	5,644
合計	中央館		15,702	155,304	143,780	148,915	136,229
	国領分館			56,445	53,741	57,568	57,410
	つつじヶ丘分館			70,437	56,205	58,178	49,762
	深大寺分館			55,727	55,549	56,408	40,435
	神代分館			64,235	68,892	66,702	61,585
	宮の下分館			48,912	44,756	48,246	45,808
	緑ヶ丘分館			53,233	53,477	58,215	57,163
	富士見分館			56,965	50,480	51,143	47,936
	若葉分館			54,825	61,104	66,344	64,624
	染地分館						
佐須分館							
小計			15,702	616,083	587,984	611,719	560,952
指数			100	3,924	3,745	3,896	3,572

表〔V-3-(2)〕

54	55	56	57	58	59	60
72,697	75,135	81,207	77,898	75,104	75,986	74,269
25,650	26,454	29,727	28,635	31,562	31,545	34,245
13,637	17,597	21,682	20,248	20,909	20,152	19,448
19,251	21,032	22,244	24,494	25,273	24,533	23,229
27,945	29,776	30,331	29,643	29,776	31,748	33,899
16,395	18,333	19,243	20,555	22,058	23,175	25,553
19,417	16,950	17,902	18,258	20,764	23,263	25,417
16,564	19,351	20,862	24,009	26,382	26,415	27,278
29,557	28,267	30,666	29,685	28,911	31,659	32,642
	25,082	29,569	33,595	39,883	40,194	43,764
			19,175	28,811	30,152	28,587
241,113	277,977	303,433	326,195	349,433	358,822	368,331
2,384	2,748	3,000	3,224	3,455	3,547	3,641
54,480	47,694	51,262	47,758	44,649	41,706	37,722
28,967	30,426	38,058	33,642	36,399	32,668	31,239
32,467	31,547	32,429	30,961	32,715	30,085	24,250
26,755	26,183	24,652	24,963	24,305	22,589	18,474
30,927	30,888	29,120	27,238	24,868	23,577	22,250
28,054	28,184	26,709	24,641	23,227	23,331	21,682
35,694	29,027	25,230	24,554	24,522	24,091	21,125
29,463	28,989	29,789	34,783	33,231	29,886	30,394
28,974	24,949	28,137	28,039	27,081	30,582	26,148
	40,164	41,791	47,613	50,678	48,247	44,680
			27,434	30,984	31,203	26,377
295,781	318,051	327,177	351,626	352,659	337,965	304,341
5,294	5,691	5,856	6,293	6,312	6,049	5,447
127,177	122,829	132,469	125,656	119,753	117,692	111,991
54,617	56,880	67,785	62,277	67,961	64,213	65,484
46,104	49,144	54,111	51,209	53,624	50,237	43,698
46,006	47,215	46,896	49,457	49,578	47,122	41,703
58,872	60,664	59,451	56,881	54,644	55,325	56,149
44,449	46,517	45,952	45,196	45,285	46,506	47,235
55,111	45,977	43,132	42,812	45,286	47,354	46,542
46,027	48,340	50,651	58,792	59,613	56,301	57,672
58,531	53,216	58,803	57,724	55,992	62,241	58,790
	65,246	71,360	81,208	90,561	88,441	88,444
			46,609	59,795	61,355	54,964
536,894	596,028	630,610	677,821	702,092	696,787	672,672
3,419	3,796	4,016	4,316	4,471	4,438	4,284

館別個人貸出冊数

	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館
雑誌	5,547	2,896	3,826	1,923	2,780	2,536
郷土資料	113					
成人図書	68,609	31,349	15,622	21,306	31,119	23,017
小計	74,269	34,245	19,448	23,229	33,899	25,553
児童図書	37,722	31,239	24,250	18,474	22,250	21,682
合計	111,991	65,484	43,698	41,703	56,149	47,235

館別団体貸出冊数

		中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館
団体数		7	2	4	5	6
貸出冊数	成人			38	98	6
	学校	2,180	11	17	500	150
	文庫等	175	712	209	44	1,313
	合計	2,355	723	264	642	1,469

館別予約図書受付件数

	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館
成人図書	2,160	987	994	583	1,225
児童図書	616	653	237	320	353
合計	2,776	1,640	1,231	903	1,578

表〔V-3-(2)〕

緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計	%
3,250	2,458	4,356	3,654	3,311	36,537	5.4
					113	
22,167	24,820	28,286	40,110	25,276	331,681	49.3
25,417	27,278	32,642	43,764	28,587	368,331	54.8
21,125	30,394	26,148	44,680	26,377	304,341	45.2
46,542	57,672	58,790	88,444	54,964	672,672	100

表〔V-3-(3)〕

宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計
6	3	2	3	6	2	46
15	149		6	12		324
450	353	1,320	7,114	551	892	13,538
374	330	63	305	511		4,036
839	832	1,383	7,425	1,074	892	17,898

表〔V-3-(4)〕

宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計
777	794	1,026	771	1,473	645	11,435
390	424	436	607	753	459	5,248
1,167	1,218	1,462	1,378	2,226	1,104	16,683

図書館活動6ヶ年間の実績

年度	55	56	57	58	59	60
登録者数 ($\frac{\text{登録者数}}{\text{人口}} \times 100$)	$\frac{39654}{176149} \times 100 = 22.5$	$\frac{39773}{178814} \times 100 = 22.2$	$\frac{42354}{180731} \times 100 = 23.4$	$\frac{41818}{181942} \times 100 = 23.0$	$\frac{41791}{184253} \times 100 = 22.7$	$\frac{40899}{187244} \times 100 = 21.8$
市民1人当りの貸出冊数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{人口}}$)	$\frac{596028}{176149} = 3.38$	$\frac{630610}{178814} = 3.53$	$\frac{694732}{180731} = 3.84$	$\frac{718780}{181942} = 3.95$	$\frac{714091}{184253} = 3.88$	$\frac{690570}{187244} = 3.69$
登録者1人当りの貸出冊数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{登録者数}}$)	$\frac{596028}{39654} = 15.0$	$\frac{630610}{39773} = 15.9$	$\frac{694732}{42354} = 16.4$	$\frac{718780}{41818} = 17.2$	$\frac{714091}{41791} = 17.1$	$\frac{690570}{40899} = 16.9$
1冊当りの貸出冊数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{開館日数}}$)	$\frac{596028}{2250} = 265$	$\frac{630610}{2317} = 272$	$\frac{694732}{2633} = 264$	$\frac{718780}{2923} = 246$	$\frac{714091}{2978} = 240$	$\frac{690570}{2883} = 240$
1冊当りの利用回数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{圖書数}}$)	$\frac{596894}{272567} = 2.2$	$\frac{630610}{283690} = 2.2$	$\frac{694732}{323167} = 2.1$	$\frac{718780}{341378} = 2.1$	$\frac{714091}{340982} = 2.1$	$\frac{690570}{345429} = 2.0$
市民1人当りの年間貸出冊数 ($\frac{\text{年間貸出冊数}}{\text{人口}}$)	$\frac{48618}{176149} = 0.28$	$\frac{48822}{178814} = 0.27$	$\frac{41508}{180731} = 0.23$	$\frac{39756}{181942} = 0.22$	$\frac{36823}{184253} = 0.20$	$\frac{38484}{187244} = 0.21$
登録者1人当りの年間貸出冊数 ($\frac{\text{年間貸出冊数}}{\text{登録者数}}$)	$\frac{48618}{39654} = 1.23$	$\frac{48822}{39773} = 1.23$	$\frac{41508}{42354} = 0.98$	$\frac{39756}{41818} = 0.95$	$\frac{36823}{41791} = 0.88$	$\frac{38484}{40899} = 0.94$
市民1人当りの圖書冊数 ($\frac{\text{圖書冊数}}{\text{人口}}$)	$\frac{272567}{176149} = 1.55$	$\frac{283690}{178814} = 1.59$	$\frac{323167}{180731} = 1.79$	$\frac{341378}{181942} = 1.88$	$\frac{340982}{184253} = 1.85$	$\frac{345429}{187244} = 1.84$
市民1人当りの図書購入費 ($\frac{\text{図書購入費}}{\text{人口}}$)	$\frac{35314}{176149} = 200$	$\frac{58291}{178814} = 326$	$\frac{51898}{180731} = 287$	$\frac{53959}{181942} = 297$	$\frac{49990}{184253} = 271$	$\frac{49955}{187244} = 267$

※ 57年度以降の貸出冊数は団体貸出冊数をも含む。

VI 障害者サービス

調布市立図書館における障害者サービスは、昭和54年4月障害者サービスの打合せ会が発足し、サービスの体制づくりが始まった。

サービスの内容は、主に視覚障害者を対象とした朗読サービスと点訳サービスであり、開始当初と殆んど変わりはないが、年を追うごとにその質・量ともに拡充がはかられ、その体制も徐々に整備されつつある。

今年度は、初めての試みとして「障害者と図書館」と題してのシンポジウムを開催した。パネラーは、専門家や、ボランティア（朗読・点訳）、利用者、図書館員で構成され、視覚障害者の読書環境について、障害者の現状や図書館に期待すること等が話し合われた。

多数の参加者を得て盛況のうちに会は終り、図書館の今後のサービスについて新たな指針を与えてくれた有意義な会となった。

1. 朗読サービス

昭和50年4月から、すでに「朗読奉仕の会」（調布ブッククラブ）の地道な活動があったが、新たに、昭和57年4月から朗読ボランティア養成講座を開始し、以後毎年継続し、ボランティアの技術の向上と育成を目指している。同時に朗読ボランティアの登録制度を採用し、現在41名の朗読ボランティアがおられ、録音テープの作成と対面朗読に協力していただいている。

(1) 録音テープ所蔵状況 表〔VI-1-1〕

当館作成テープとは、図書館資料等をそのまま音読し録音したものである。この場合は著作者又は著作権者等に「普通の出版物のままでは利用できない目の不自由な人、寝たきりの人、身体の不自由な人々に録音テープを貸出す」という条件で許諾を得ている。

これ以外に、市販テープがある。これは一般に市販されている録音テープそのものを購入したものと、寄贈されたものがあり、寄贈の中では日本盲人会連合からのものが殆んどである。これら市販テープも年次的に整備をはかり、録音テープの所蔵の幅を広げていきたい。

一方、講演会等記録テープは特に障害者用という限定はなく、各種講座、講演会、読書会等を記録したものであり、当日参加出来なかった人々にも提供している。

(2) 録音テープ利用状況 表〔VI-1-2〕

当館作成テープは年間約40タイトルの作成があり、市販テープの寄贈を加えると約100タイトルの増加をみている。こうした中でテープの利用は着実な伸びを見せている。昨年度の総数730タイトル、3,180巻を大きく上廻り、830タイトル、3,391巻となっており、より優れたテープを作成することによって、その利用も確実に伸びることが明らかになった。今後更に作成テープの充実に努力していかなければならない。

(3) 対面朗読実施状況 表〔VI-1-(3)〕

対面朗読は利用者の自宅を訪ねて実施する訪問サービスと、図書館等に来館して行う方法とがある。実施の状況は毎年着実に増加して来たが、今年度は利用者の病気・入院等により利用が困難となり、その結果大巾な減少となった。利用者の実人数は 9 名である。

58年には、調布市総合福祉センターが開館し、その中に対面朗読室が設けられ、来館の場合にはここを拠点として実施している。

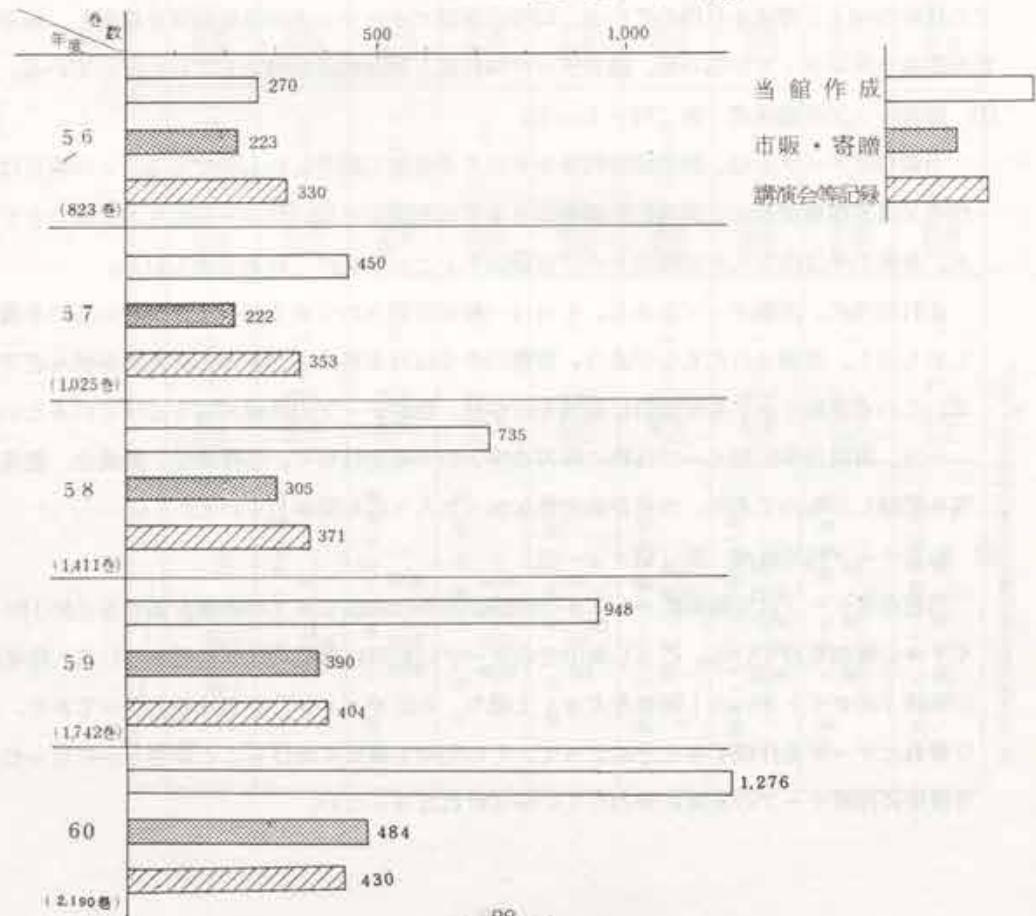
2. 点訳サービス

図書館主催の点訳講座を終了したボランティアの方々によって、「調布ブライユ」という点訳サークルを作り点訳活動を続けている。利用者からの点訳依頼は図書館を経由して、ボランティア・グループに依頼するルートが出来ている。

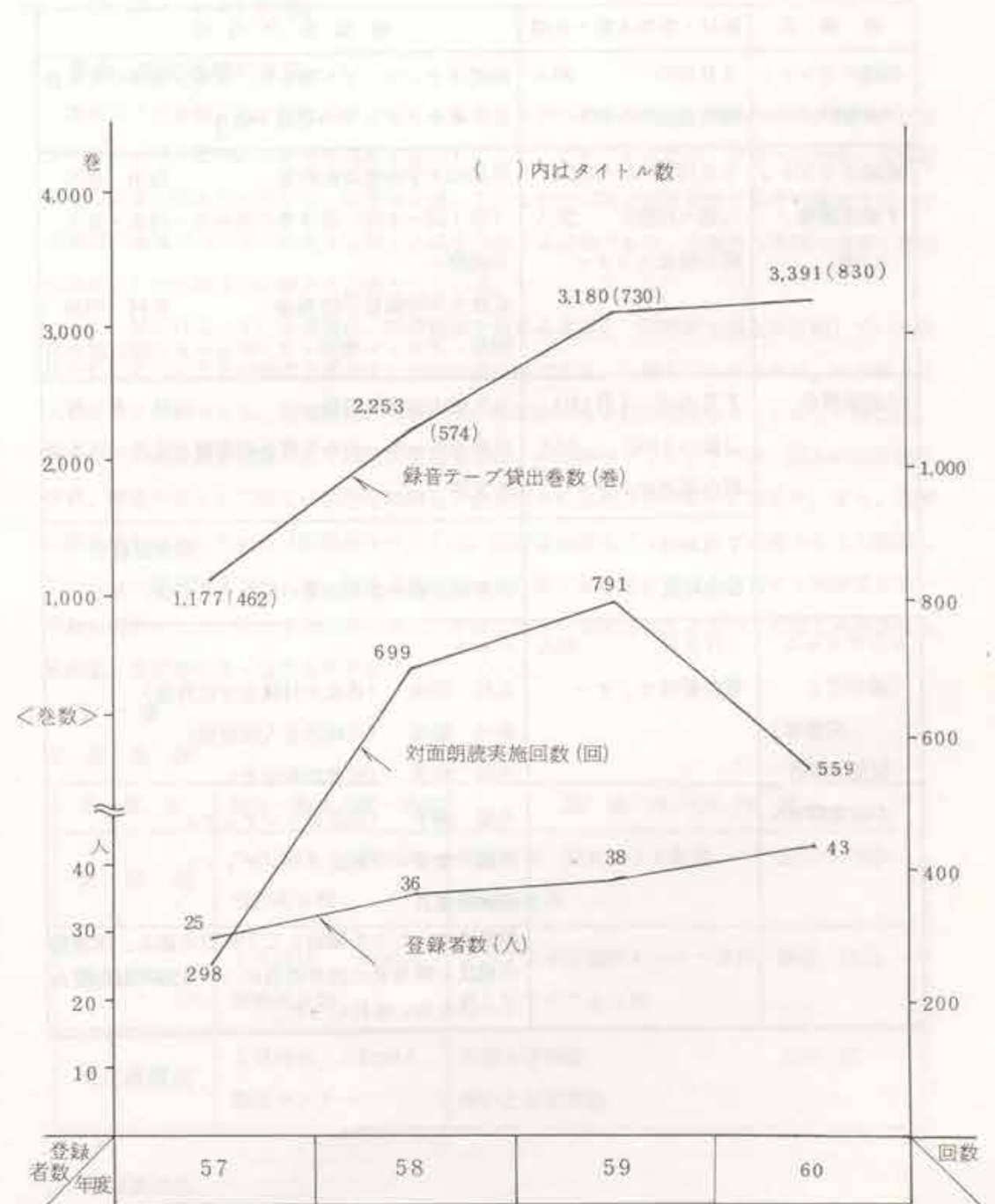
これまでの主な点訳は、雑誌記事、法律書、児童書、教科書等である。図書館からのPRや、ボランティアの方の不足などから依頼者は限られたものとなっているのが現状である。

今後は初級ボランティアの養成を積極的に行い利用者からの依頼に対し適確に対応出来る体制を作らなければならない。

録音テープ所蔵状況 表〔VI-1-(1)〕



録音テープ利用、対面朗読実施状況



講座、講習会その他

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
朗読ボランティアの集い	4月12日 30人 総合福祉センター	朗読ボランティアが集まり、情報交換等のこん談と、ボランティアの登録手続き
朗読ボランティア養成講座(中級)	5月17日～11月22日(延べ10回) 30人 総合福祉センター	早稲田大学法職課程教室 指田 忠司 (第1回～4回) 法律書の読み方—用語・条文の実際— 筑波大学附属盲学校教諭 高村 明良 図形・グラフ・地図・コンピュータの図の読み方
点訳講習会	6月29日～7月13日(延べ3回) 20人 総合福祉センター	元久我山盲学校校長 伊藤 真三郎 点訳のルール、わかち書きの基礎と応用、日本語の文法
	1月30日 20人 総合福祉センター	図書館職員 図書館所蔵の参考図書の紹介とその使い方
シンポジウム「障害者と図書館—視覚障害者の読書環境をめぐって—」	3月7日 80人 総合福祉センター	パネラー 高村 明良 (筑波大付属盲学校教諭) 新井 健司 (川崎市盲人図書館) 田中 好男 (図書館利用者) 大塚 淑子 (点訳ボランティア) 高橋 繁子 (朗読ボランティア) 図書館職員 障害者サービスを開始して7年目を迎え、図書館の現状と障害者の読書環境について様々な角度からの話し合いを行なった。

VII 集会・学習活動

1. 集会・学習活動の状況

調布市立図書館では、開館以来さまざまな集会学習活動を実施し、積極的に図書館側から市民に働きかける動的な図書館活動を展開してきた。これらの活動は、読書への啓蒙と図書館利用の促進を図るだけでなく、読書等を通して生まれた市民の学習意欲と文化的要求に対して図書館が地域で共に学び創造する機会と場を提供する活動であり、有機的な市民の連帯と生活に根を下した生涯学習の確立を目的としている。

さて、現在行なっている事業は、図書館が主催する事業と、図書館を拠点に活動している市民の自主的な読書会や研究会等のサークルの連合体である、「調布ブッククラブ」の事業とに大別することができる。図書館は、内容の深い時局的な各分野の図書をテーマにした講演会、講座を中心に事業を実施し広く市民の参加を求め、一方調布ブッククラブは、開かれた市民の学習、創造の場として幅広い活動を展開し、会員個々の生涯学習の確立に努めた。また、市民の間に根をおろしている「図書館まつり」は、図書館と調布ブッククラブの協力により開催している。「図書館まつり」は、例年2月の約一ヶ月間に集中的に事業を実施する図書館において最も規模の大きい集会学習活動であり、多様な市民の要求に答えるため、内容も各種講演会、映画会、市民俳句会・短歌会等多岐にわたっている。

2. 行事

(1) 講演会

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
講演会	11月6日 約90人 市役所8階	国文学者 鶴見女子大教授 山下 一海 蕪村の世界
時局講演会	1月24日 約50人 市役所8階	アジア太平洋資料センター理事 鶴見 良行 貧しいアジアと日本
文化講演会	3月19日 約60人 福祉センター	北里大学教授 立川 昭二 病いと日本文化

(2) 地域講演会

深大寺地域講演会	11月20日 約350人 晃華学園	アナウンサー 中西 龍 言葉はしみじみと…… 優しさの中
第一小学校地域講演会	2月6日 約450人 公民館	作家 藤原 てい これから期待される人間像 * 私の歩んだ道。

(3) 講座・講習会

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
教育講座 第1回	6月28日 約150人 調布中学校	横浜市立大教授 伊藤 隆二 いじめ・登校拒否の原点をさぐる
教育講座 第2回	7月9日 約150人 第一小学校	東京学芸大教授 河井 芳文 いじめの実態と心理
教育講座 第3回	7月18日 約200人 滝坂小学校	教育学者 遠藤 豊吉 いじめの深層と克服
児童文学 講座	11月7・14日各60人 横浜銀行	国立教育研究所室長 板倉 聖宣 科学の本はむずかしいか
手袋人形 講習会	2月25日 18人 市民センター	人形作家 三木 和子 「ブーねこ」人形の製作

(4) 著者を囲む会

第1回	6月19日 約60人 三菱銀行	作家 増田みず子 「家の匂い」
第2回	9月27日 約120人 福祉センター	作家 山本 茂實 「日本青年は健在だった」

(5) 座談会

さわやか 座談会	10月19日 約120人 福祉センター	シナリオ作家 山田 太一 山田太一の世界
-------------	------------------------	-------------------------

(6) 映画会

夏休み子ども 映画会	7月20日 約400人 公民館ホール	映画 「こむぎ色の天使」 「クマのプーさん」原作 A・Aミルン
名画鑑賞会	12月10日 約230人 福祉会館	映画 「天平の甕」 原作 井上 靖 監督 熊井 啓

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
地域映画会と 懇談会	7月12日 約100人 公民館ホール	映画 「ある父親の願い」 「お父さんお母さんけんかしないで」
八雲台地域 映画会	7月21日 約400人 八雲台小学校	映画 「こむぎ色の天使」 「豆象武勇伝」

(7) その他

年賀状展	1月11日～26日 中央館	現在活躍されている作家・評論家・芸術家等の 直筆賀状を展示した。
------	------------------	-------------------------------------

3. 図書館まつり (第14回)

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
時局講演会	2月2日 約100人 福祉センター	早大教授・平和学会理事 西川 潤 第三世界の飢えの構造
座談会	2月5日 約250人 福祉会館	早大教授 紅野 敏郎 武者小路實篤と中川一政
子ども映画会	2月8日 約200人 公民館ホール	映画「まえがみ太郎」 原作 松谷みよ子
子どもと親の 遊びの広場	2月9日 85人 染地分館	紙芝居・指あそび・人形劇・手品・歌あそび
名画鑑賞会	2月9日 約250人 公民館	映画 「生きる」 監督 黒沢 明 主演 志村 喬
朗読の会	2月13日 約150人 福祉会館	童話作家 岩崎 京子 俳優 金内 吉男 言葉ありき 豊かな韻き
第14回 市民句会	2月19日 約250人 福祉会館	飯田龍太、井沢正江、加倉井秋を、鷹羽狩行、 細見綾子、山口青邨、鷺谷七菜子の選評と俳話

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
児童文学 講演会	2月21日 約120人 福祉センター	児童文学者 中川李枝子 本・こども・絵本・私の作品をとおして。
文化講演会	2月22日 約120人 福祉センター	作家 山下 惣一 野に誌す・稲作文化
第13回 市民歌会	2月23日 55人 市民センター	片山貞美、小暮政次、宮地伸一の選評と講話
著者を囲む会	2月25日 約150人 福祉センター	作家 連城三紀彦 「恋文」
文芸講演会	2月26日 約120人 福祉センター	大東文化大教授 渡辺 澄子 野上彌生子の遺産
シンポジウム 障害者と図書館	3月7日 約80人 福祉センター	高村明良、織田 洋、田中好男、大塚淑子、 高橋繁子、視覚障害者の読書環境
作家の筆蹟 横顔展	2月1日～18日 西友調布店	図書館を訪れた作家、評論家等の横顔と筆蹟を 公開し、図書館活動の歩みを展示した。
俳句・短歌展	2月6日～15日 公民館ギャラリー	日頃の創作作品を一堂に展示し、多くの人と鑑 賞した。(俳句・短歌サークル会員)
日本画展	2月21日～3月4日 西友調布店	日本画技法を学ぶ4サークルが一堂に会し、一 般に展示した。(指導 田中與之子)

4. 調布ブッククラブ

図書館と図書の利用を促進し、図書では得られない作品の背景、著者の思想やその形成を探るため、各地の文学史跡を訪れる文学散歩は、参加者の高い学習意欲と連帯に支えられ、図書館を学習の場とする、自主的な市民のサークルを数多く生み出した。これらの独立した読書会や研究会は開かれた市民の学習、創造の場となる知的共同体の実現を目的に連繫し、昭和48年2月「調布ブッククラブ」が発足した。現在、「読むこと」「書くこと」そして「どう生きるかを考える」をテーマにサークル活動、情報交換、相互研修を通して、幅広い活動を展開している。当初、図書館の援助が大きな役割を果たしていたが、現在では市民の自主的な活動が盛んになり、自由な生涯学習の場として定着しつつある。なお、昭和60年度末の会員数は696名

である。

(1) 事業

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
公開合同 読書会	6月18日 約20人 中央館	「薪能」(立原正秋著)
公開互集 読書会	9月11日 約20人 若葉分館	講師 遠丸 立 「四季」(中村真一郎著)
公開合同 読書会	11月21日 約30人 神代分館	講師 萩原 祥三 「担荷者」(石井 仁著)
公開読書会	12月13日 約20人 協和銀行	講師 山口清次郎 「紀ノ川」(有吉佐和子著)
公開合同 読書会	3月12日 約20人 若葉分館	講師 遠丸 立 「剣ヶ崎」「薪能」(立原正秋著)
公開三島由紀夫 を読む会	12月19日 約20人 横浜銀行	講師 織田 保夫 「禁色」(三島由紀夫著)
公開三島由紀夫 を読む会	2月13日 約20人 三菱銀行	講師 織田 保夫 「潮騒」(三島由紀夫著)
たきおん 公開合評会	5月12日 約20人 公民館	社会教育指導員 林 一夫 文芸誌「たきおん」15号
たきおん 公開合評会	11月10日 約20人 公民館	社会教育指導員 林 一夫 文芸誌「たきおん」16号
特別映画 鑑賞会	7月20日 約1300人 福祉会館	映画「ビルマの豎琴」 原作 竹山 道雄 監督 市川 崑
筑前琵琶 団体鑑賞会	5月25日 約600人 福祉会館	演奏 土原 まり 祇園精舎、祇王、敦盛、壇の浦(平家物語より)
団体観劇会	11月13日 約500人 福祉会館	「教員室」 作 山田 太一 演出 木村 光一

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
緑蔭日本画展	6月19日～7月9日 西友調布店	日本画創作4サークル合同の色紙展 (指導 田中 與之子)
秋麗日本画展	10月23日～11月5日 西友調布店	日本画創作4サークル合同の展示 (指導 田中 與之子)
秋季日本画展	11月14日～16日 福祉会館	市制30周年を記念して、日本画創作4サークル 合同の展示を行った。(指導 田中與之子)

(2) サークル

(イ) 読書グループ

グループ名	定例日・会場	講師	テキスト
あすなろ 読書会	第1木曜日 午前 中央館	社会教育指導員 浅野 哲郎	「暗い春」立原正秋著、「朱を奪う もの」岡地文子著 他9冊
柏 読 書 会	第2木曜日 午前 中央館	社会教育指導員 浅野 哲郎	「白夜を旅する人々」三浦哲郎著 「暗夜行路」志賀直哉著 他8冊
名作読書会	第2金曜日 午前 中央館	社会教育指導員 林 一夫	「坂道」壺井栄著、「高瀬舟」森鷗外 著、「走れメロス」太宰治著 他9冊
読書会 夜行列車	第3火曜日 夜間 中央館		「ベリクリーズ」シェイクスピア著、 「それから」夏目漱石著 他9冊
若葉読書会	第1・3水曜日 午後 若葉分館		「源氏物語」を年間のテキストに選 び学習会を行った。
古典文学を 読む会	第1土曜日 午後 若葉分館		年間のテキストに「枕草子」を選び 読書会を行った。
ふたば読書会	第4水曜日 午前 若葉分館	社会教育指導員 浅野 哲郎	「蜚川」宮本輝著、「敦煌」井上靖 著、「流れる」幸田文著 他7冊
七宝読書会	第2水曜日 午 前 富士見分館	社会教育指導員 浅野 哲郎	「巴里に死す」芹沢光治良著、「波」 立原正秋著 他10冊

グループ名	定例日・会場	講師	テキスト
こだま読書会	第3木曜日 午 前 富士見分館	社会教育指導員 浅野 哲郎	「しなやかに女の時間」木村治美著 「どん底」ゴーリキ著 他9冊
針布読書会	第3木曜日 午後 神代分館		「海神丸」野上彌生子著、「伸子」 宮本百合子著 他8冊
白鳥読書会	第2木曜日 午前 神代分館	社会教育指導員 浅野 哲郎	「貧乏物語」河上肇著、「平家物語」 「波の塔」松本清張著 他5冊
緑ヶ丘読書会	第4水曜日 午 前 緑ヶ丘分館	社会教育指導員 林 一夫	「伽椰子のために」李恢成著、「椿 の海の記」石牟礼道子著 他9冊
やまなみ 読書会	第1火曜日 午 前 深大寺分館	社会教育指導員 浅野 哲郎	「河童」芥川龍之介著、「文鳥」夏 目漱石著 他9冊
宮の下読書会	第2火曜日 午 前 宮の下分館	社会教育指導員 林 一夫	「隅田川暮色」芝木好子著、「小説 日本芸譚」松本清張著 他9冊
つくし読書会	第3火曜日 午 後 多摩川地区	社会教育指導員 林 一夫	「泥の河」宮本輝著、「遠野物語」 柳田国男著、「百人一首」他8冊
芙蓉読書会	第2火曜日 午前 国領分館	社会教育指導員 浅野 哲郎	「冬の花火」渡辺淳一著、「真知子」 野上彌生子著 他9冊
SFを読む会	第4日曜日 午 後 中央館ほか		筒井康隆、野田昌広の作品について 学習した。
読書を たのしむ会	第2金曜日 午前 協和銀行		「蒼氓」石川達三著、「青桐」木崎 さと子著、「白痴」坂口安吾著 他9冊

(ロ) 研究グループ

グループ名	定例日・会場	講師	内 容
グリム童話を 読む会	第1金曜日 午後 横浜銀行	児童文学者 西本 鶏介	グリム兄弟が綴ったドイツの代表的 な児童文学を学習した。
自然法爾の会	第4木曜日 (10～3月) 午後 横浜銀行	作 家 高 史明	親鸞の「歎異抄」をテキストに取り 上げ解釈を中心に学習

グループ名	定例日・会場	講師	内容
三島由紀夫 を読む会	第2木曜日 午後 三菱銀行	近代文学研究家 織田 保夫	世界的に知られた作家、三島由紀夫 の作品を読み学習した。
私の昭和史 を読む会	第3金曜日 午前 中央館	指導 萩原 祥三	「証言 私の昭和史」を読み身近な 現代史を学習した。
現代作家研究 互葉会	第2水曜日 午後 若葉分館	詩人・文芸評論家 遠丸 立	現代の代表的作家の作品を中心に人 と作品を考察した。
万葉集を 読む会	第3土曜日 午後 第百生命	国文学者・歌人 片山 貞美	古典文学の代表的作品である万葉集 を読み深める。
赤彦・茂吉を 読む会	第3木曜日 午後 横浜銀行	歌人 宮地 伸一	今年度は島木赤彦の人と作品を考察 し言葉を探った。
聖書を読む会	第4水曜日 午前 中央館	立教女学院教授 秋吉 輝雄	聖書を歴史的、宗教思想史的観点か ら学習した。
仏典に親しむ 会	第1水曜日 午前 市内寺院	指導 長谷瑞英 指導 本多慈昭	仏典と日常生活の関りについて、法 句経、法華経を学習
朗読奉仕 語りの会	第2・3木曜日 夜間 中央館		目の不自由な人のための朗読テープ の作成と技術の学習
論語を読む会	第4木曜日 午前 中央館	指導 職員	世界的な古典である論語の素読を通 し解釈する。

イ) 創作グループ

随想を書く会	第3土曜日 午前 神代分館	社会教育指導員 林 一夫	随想の創作と合評を行い、優れた創 作作品を全員で鑑賞した。
綴り方 サークル	第1・3火曜日 午前 神代分館	詩人 菅原 克己	生活に根ざした文章の創作を学習し た。
たきおん	第2日曜日 午 後 公民館ほか	作家 青木 健	文芸作品を創作し、文芸誌「たきお ん」を発行した。

グループ名	定例日・会場	講師	内容
みちくさ	第3木曜日 午 前 深大寺分館	指導 職員	小説・短歌・俳句などの創作と合評

ロ) 俳句・短歌グループ

※ 内容は、俳句の創作と合評

グループ名	定例日・会場	講師
火曜句会	第2火曜日 午後 神代分館	指導 緒方 梧葉
水曜句会	第4水曜日 午後 若葉分館	指導 職員
く(にすい)句会	第2水曜日 午後 横浜銀行	指導 職員
木曜句会	第1木曜日 午後 公民館ほか	指導 岡田 信成
こ 二木句会	第2木曜日 午後 横浜銀行	指導 職員
金曜句会	第2金曜日 午後 公民館ほか	指導 原田走日朗
みずき句会	第2金曜日 午後 横浜銀行	指導 職員
あ 煌ら句会	第3金曜日 午後 横浜銀行	指導 職員
たづくり句会	第3・4木曜日 午後 公民館ほか	指導 原田走日朗
つつじヶ丘句会	第1火曜日 午後 岡田宅	指導 岡田 信成
合同句会	第4土曜日 午後 公民館ほか	指導 斎藤 杏子他
あ 風舎句会	第2土曜日 午後 市民センター	指導 若月 瑞峰

※ 内容は、短歌の創作と合評

グループ名	定例日・会場	講師	内容
青 條 歌 会	第4日曜日 午前 公民館ほか	歌 人 小暮 政次	
径 歌 会	第4日曜日 午後 公民館ほか	国文学者・歌人 片山 貞美	
水 嶺 歌 会	第3金曜日 午後 公民館ほか	国文学者・歌人 片山 貞美	
からすうり歌会	第2月曜日 午後 羽入宅		
福 寿 草 歌 会	第4金曜日 午前 神代分館	指 導 職 員	

(ハ) 絵画グループ

指導 田中與之子(日本画家)、内容 日本画の創作と作品発表

グループ名	定例日・会場	グループ名	定例日・会場
朱 彩 会	第1・3土曜日 午前 中央館ほか	碧 彩 会	第1・3土曜日 午後 公民館ほか
彩 雅 会	第1・3火曜日 午前 中央館	彩 耀 会	第1・3火曜日 午後 公民館ほか

(イ) そ の 他

グループ名	定例日・会場	講師	内容
古典講読の会	第2木曜日 午前 中央館		ラジオ放送「古典講読」の源氏物語を聞き学習会を行った。
文学散歩 同好会	5月27日～28日 福井県小浜他	画 家 渡辺 淳 楼	”水上勉の若狭と小浜の五番町夕霧
	9月30日～ 10月1日 山形県上市市	作家・百姓 佐藤藤三郎	”「白き山」「赤光」の茂吉と藤三郎と山びこ学校の狸森

グループ名	定例日・会場	講師	内容
文学散歩 同好会	11月25日～26日 長野県飯山市他	飯山公民館 古田十一郎他	”藤村の「破戒」の飯山と鷗外・八一・水穂の信州中野
	3月10日～11日 新潟県出雲崎町他	指 導 磯部友記雄	”良寛・芭蕉の寺泊・出雲崎と安吾・白秋・八一の越後
	以上宿泊分その他に、都内日帰り 10回、近県日帰り 4回、を実施した。		

5. 地域文庫

市内親子読書グループ(長流文庫)

文庫名	代表者	地 域	担 当 館
つつじ文庫	[REDACTED]	西つつじヶ丘	つつじヶ丘分館
たんぼ文庫		深大寺元町	深大寺分館
しゃぼん玉文庫		飛田給	宮の下分館
ばたぼん文庫		染地	染地分館
すぎな(B)文庫		染地	”
ふたば文庫		染地	”

市内に点在する文庫は6団体である。大規模な地域文庫は、分館整備にともなって発展的解消を遂げ、現在の各文庫の多くは家庭文庫といえよう。

小規模ながらも幼児を中心としたこれらの文庫は、図書館とは一味違うアットホームな雰囲気、熱心な市民の運営によって支えられている。

図書館側からは、図書の貸出のみに終らず、情報の提供・ストーリーテリング・本の読み聞かせ等を行ない、積極的な協力を続けている。

① 手袋人形講習会……年一回開催、60年度はブーねこを製作(P 92 参照)

② 児童文学講座・講演会等のお知らせ……図書館主催事業を優先的に通知

・ 長流文庫連絡会は「子どもと親の遊びの広場」(P 93 参照)に発展的解消

・ 「文庫だより」は、対象を幼児をもつ一般の母親に広げて「児童室だより」と改題。

年2回発行。

VIII 視聴覚ライブラリー

視聴覚ライブラリーは市民生活に密着した視聴覚教育活動の普及と充実を図るため視聴覚機材及び教材を整備し、次の事業を行った。

1. 事業

(1) フィルム選定会

視聴覚教育活動の啓蒙と視聴覚機材及び教材の利用促進を図るため、新規購入フィルムの選定試写会を行った。同時に、視聴覚ライブラリーの運営及び機材整備等について意見を聞いた。

(2) 16ミリ発声映写機操作講習会

映写機の基礎的な構造の理解と機械操作技術の修得並びにフィルムの安全利用について学習し、地域における視聴覚教育活動、特に映画会等の普及に役立つものとした。

講習会日程 ① 5月29日～6月2日 ② 6月25日～29日 計2回 修了者78名。

(3) 16ミリ発声映写機検定

映写機及びフィルムの安全利用のため、学校、事業所等各団体の所有する16ミリ映写機の機能点検を実施した。なお、新規購入の映写機については、随時実施した。

検定日 6月5日～7日 検定台数89台

(4) フィルム試写と研修会

毎月1回、新着フィルム等ライブラリーの所蔵するフィルムを試写紹介し、地域や各事業所の映画会のために利用案内を行った。また同時に、長期間映写機の操作をしていない講習会修了者等を対象に操作実習の研修会を行い、視聴覚機材・教材の利用促進と安全利用に努めた。

(5) 地域における映画会等視聴覚活動の指導・援助

映画会等の開催、フィルム選定に関する相談等、地域の視聴覚活動の窓口として、指導援助に努めた。

2. 視聴覚機材・教材の利用状況 表〔Ⅷ-1・2〕

今年度の利用状況の中で最も貸出が多いのは、16ミリフィルムであるが、さらに月別に統計を追ってみると、最も利用が多いのは7月である。これは、地域の子供映画会等が数多く企画されるためである。また、年度別の統計は、16ミリフィルム貸出の伸びに比較して、16ミリ映写機の貸出が、ほとんど伸びていない。これは、小中学校等各施設や事業所に16ミリ映写機が普及したためと考えられる。また、8ミリ映写機貸出の減少はビデオ機器の普及が理由として考えられる。

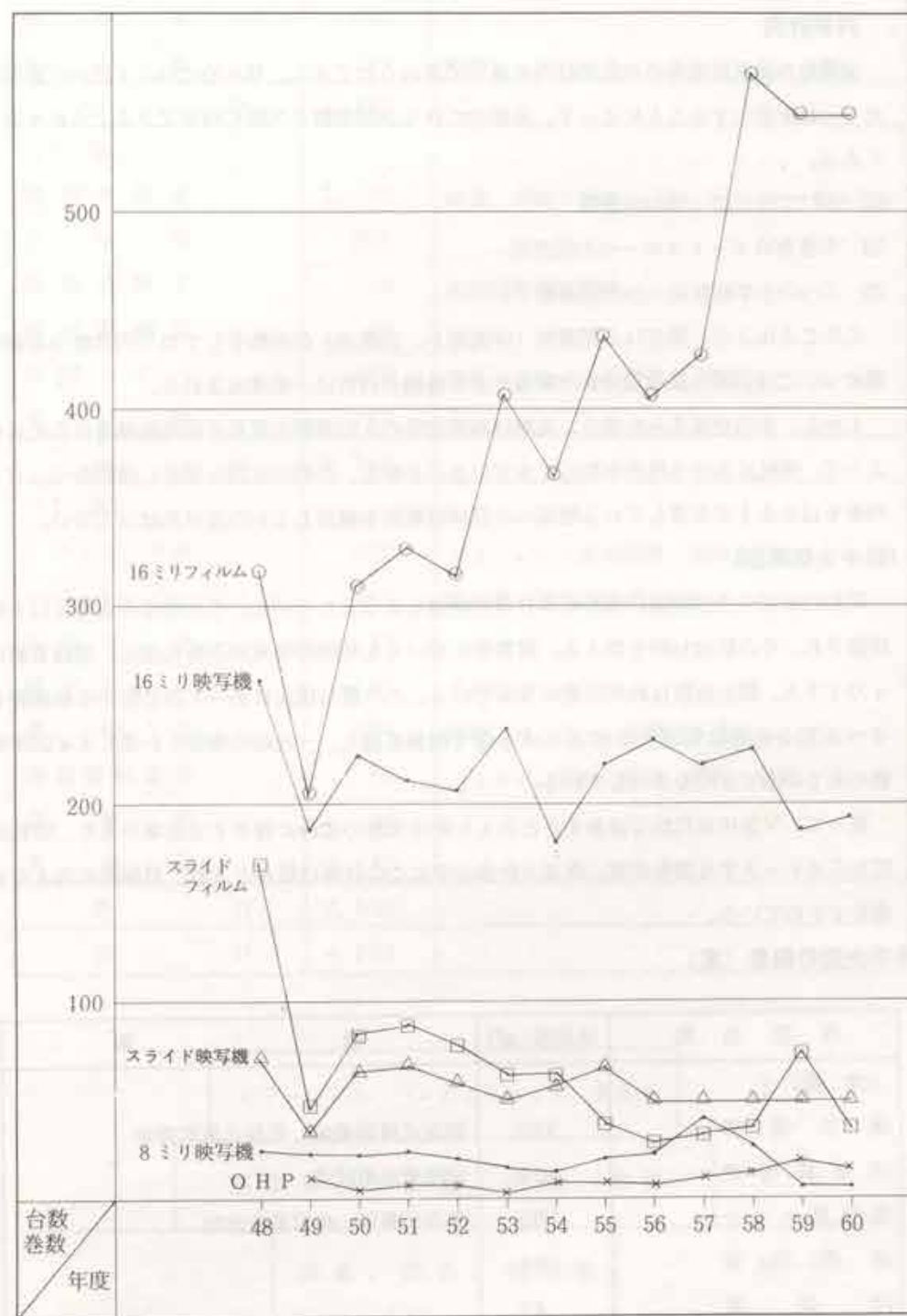
視聴覚機材・教材月別利用状況（昭和60年度） 表〔Ⅷ-1〕

視聴覚機材・教材 月別	16 ミ リ 映 写 機	ス ク リ ー ン	OHP (オ ー バ ー ヘ ッ ド プ ロ ジ ェ ク タ ー)	ス ラ イ ド 映 写 機	8 ミ リ 映 写 機	暗 幕	16 ミ リ フ ィ ル ム	ス ラ イ ド フ ィ ル ム
4	14	6	1	2	0	4	40	0
5	14	4	1	0	1	1	47	0
6	12	6	0	3	0	4	55	0
7	14	11	1	3	2	2	83	7
8	19	6	0	7	0	2	60	4
9	11	3	0	3	0	9	30	0
10	20	5	1	5	1	3	56	2
11	21	5	0	3	0	0	32	0
12	22	9	6	2	1	6	35	3
1	12	3	1	2	0	1	27	2
2	13	5	1	1	0	3	38	0
3	23	9	7	8	0	3	53	9
合計	195	72	19	39	5	38	556	27
保有数	10	8	2	7	4	6	256	261

視聴覚教材・教材年度別利用状況 表 (Ⅷ-2)

年度	16ミリフィルム	16ミリ映写機	スライドフィルム	スライド映写機	8ミリ映写機	OHP (オーバーヘッド プロジェクター)
48	315	255	158	70	29	
49	205	187	42	26	22	10
50	313	225	86	64	20	6
51	339	206	94	71	21	7
52	322	204	76	56	16	6
53	405	232	53	42	12	2
54	369	183	53	52	10	3
55	438	218	32	69	16	3
56	406	234	19	39	17	1
57	435	219	25	40	33	10
58	572	223	25	39	16	12
59	556	185	72	40	5	21
60	556	195	27	39	5	19

視聴覚教材・教材年度別利用状況 表 (Ⅷ-2)



IX その他

1. 将来計画

図書館の建設は調布市の長期計画に基づいて進められてきた。基本的には、下記の三原則を満たす分館配置をすることによって、市民のだれもが図書館を気軽に利用できるようにすることにある。

- (1) 人口2万人に一つの図書館
- (2) 半径800メートルに一つの図書館
- (3) 二つの小学校区に一つの図書館

このことにより、現在11の図書館（中央館1、分館10）が活動しており図書館分館網の整備については、57年度佐須分館の開設により所期の目的は一応達成された。

しかし、市内全域をみた場合、長期計画策定後の人口動態の変化や生活動線等社会的変化によって、地域における格差が生じてきていることから、当初の計画を見直し図書館サービスの均衡をはかる上で欠落している地域への具体的施策を検討していかなければならない。

(新中央館構想)

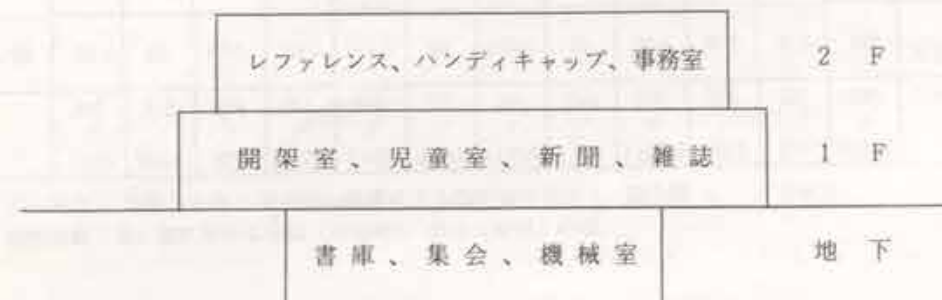
昭和41年現中央館設置以来20年の月日が経過しようとしている。その間市内各地には分館が建設され、その数は10館を数える。蔵書数においても昭和60年末34万冊に達し、登録者数は約4万1千人、貸出冊数は約69万冊に及んでいる。この様な状況にあって各分館の中核機能を果たすべき現中央館は規模その他あらゆる面で限界を越え、一分館的機能しか果たえず図書館活動の全ての面で支障をきたしている。

従って、早急に近代的な設備をととのえた新中央館の建設に着手する必要があり、昭和60年度からスタートする調布市第三次基本計画の中にこの計画は組みこまれ、具体的に歩き出す準備をすすめている。

新中央館の概要(案)

各室名称	床面積(m ²)	概 要
(地階)		
閉架書庫	330	固定式積層書架、電動式集密書架
団体貸出室	100	団体貸出用図書
視聴覚ホール	200	集会室兼用 映写室を含む
読書会室	60	
団体室	40	

各室名称	床面積(m ²)	概 要
機械室	200	
その他	290	階段、エレベーター、トイレ、ホール等
小 計	1,220	
(1階)		
開架書架室	1,100	閲覧、新聞・雑誌、目録、カウンター等を含む
児童室	200	
児童資料室	50	児童図書研究資料
貸出準備室	40	
玄関ロビー	100	喫煙コーナー、公衆電話、談話
その他	260	
小 計	1,750	
(2階)		
レファレンス室	530	レファレンス室用図書、書庫を含む
ハンディキャップサービスコーナー	150	録音室、対面朗読室を含む
おはなし室	40	
展示ホール	150	多目的ホール
事務室	300	印刷、ロッカー、倉庫等を含む
視聴覚作業室	70	フィルム、機材の修理、利用、保管
会議室	50	
その他	240	
小 計	1,530	
合 計	4,500	



2. 貸出制度と開館時間

調布市立図書館館則<抜粋>

(個人貸出)

第9条 館長は、図書資料を個人に貸出することができる。

2. 図書資料の個人貸出しを受けようとする者は、個人登録票によらなければならない。
3. 個人登録票は調布市内に住居を有し、又は調布市内に通勤・通学している、身元確実な者に対し、本人の請求によりこれを交付する。
4. 個人登録票の有効期間は1年とする。
5. 個人登録票は貸与若しくは譲渡してはならない。貸与され、若しくは譲渡され、または紛失届の出された個人登録票は無効とする。
6. 個人貸出しの出来る図書資料は原則として2冊(部・種)とする。
7. 図書資料の貸出期間は14日以内とする。
8. 個人貸出しを受けようとする者に対する個人登録票は各館ごとに交付する。

(団体貸出)

第10条 図書資料の団体貸出しを受けようとするものは、団体登録票によらなければならない。

2. 団体登録票は社会教育団体、官公署、会社、学校等の代表者の申請により館長が審査の上適当と認めた場合に交付する。
3. 団体登録票の有効期間は1年とする。
4. 館長は、図書資料の団体貸出しを受けた機関、又は団体の代表者に対しその利用状況について報告を求めることができる。
5. 同時に団体貸出しのできる図書資料は原則として100冊(部・種)以内とする。
6. 同一の図書資料の団体貸出期間は3箇月以内とする。

図書の貸出冊数については、現行1人1回2冊という制限であるが今後更に検討し、早い機会に増冊していく方向である。



開館時間と休館日

館名	開館時間	休館日
中央館	日曜日 10時30分 ~ 17時30分	月曜日 第3日曜日 第4金曜日
	火・土曜日 12時00分 ~ 19時00分	
	水・木・金曜日 12時00分 ~ 17時30分	
分館	毎日 13時00分 ~ 17時00分	
	ただし若葉分館は日曜日のみ 10時30分 ~ 17時00分	

※ 休館日はこのほかに 国民の祝日(この日が月曜日の場合は翌日)
年末年始
臨時休館(その都度お知らせする)

各館の開館時間は、別表のように曜日によって異なっている。

中央館の場合は、週2回(火曜・土曜)夜間の利用者への配慮から開館時間を1時間30分延長している。

又、日曜日については、午前中からの利用にそなえ、中央館・若葉分館は、平常の開館時間を早め、午前10時30分から開館している。

今後の課題として、新中央館の開館を機に中央館の開館時間の延長を検討していく必要がある。

開館日数と開館時間

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
館名	日数	22	23 (19)	24 (19)	24	25	21	24	22	22	20	21	(15) 中 23 分	263日
														262日
中央館		137.5	141.5	151.5	150	155.5	130.5	150	136	136	125	130.5	97.5	時間 1,641.5
各分館	@	88	76	76	96	100	84	96	88	88	80	84	92	時間 1,048
	館 @x9	792	684	684	864	900	756	864	792	792	720	756	828	時間 9,432
若葉分館		95.5	81	83.5	103.5	107.5	94	103.5	93	95.5	87.5	91.5	102	時間 1,138
計		242	213	214	264	275	231	264	242	242	220	231	245	2,883日
		1,025	906.5	919	1,117.5	1,163	980.5	1,117.5	1,021	1,023.5	932.5	978	1,027.5	時間 12,211.5

※ 5~6月一分館、3月一中央館の曝書による臨時休館を行う。該当館()で示す。

※ 開館日数「計」欄における中は「中央館」、分は「分館」の意。

3. 運営組織

1. 図書館運営に関する条例・規則は次のとおりである。

- (1) 調布市立図書館設置条例（昭和41年3月30日条例第10号）
- (2) 調布市立図書館館則（昭和41年3月30日教育委員会規則第1号）
- (3) 調布市立図書館処務規程（昭和41年3月30日教育委員会規則第1号）
- (4) 調布市立図書館職員の勤務時間・休憩時間等に関する規程（昭和41年4月16日教育委員会規程第4号）
- (5) 調布市視聴覚ライブラリー設置規則（昭和45年11月11日教育委員会規則第5号）
- (6) 調布市視聴覚ライブラリー運営要綱（昭和45年11月1日教育委員会要綱）
- (7) 調布市立図書館録音テープ図書貸出要綱（昭和56年7月25日教育委員会要綱第3号）
- (8) 調布市立図書館協力員の設置および勤務に関する内規（昭和50年4月1日教育委員会内規）
- (9) 調布市立図書館集会室使用基準（昭和57年9月1日教育委員会基準）

調布市立図書館処務規程（抜粋）

（係の設置）

第2条 館に次の係を置く

- (1) 庶務係
- (2) 図書係

（分掌事務）

第3条 各係の分掌事務は、次のとおりとする。

庶務係

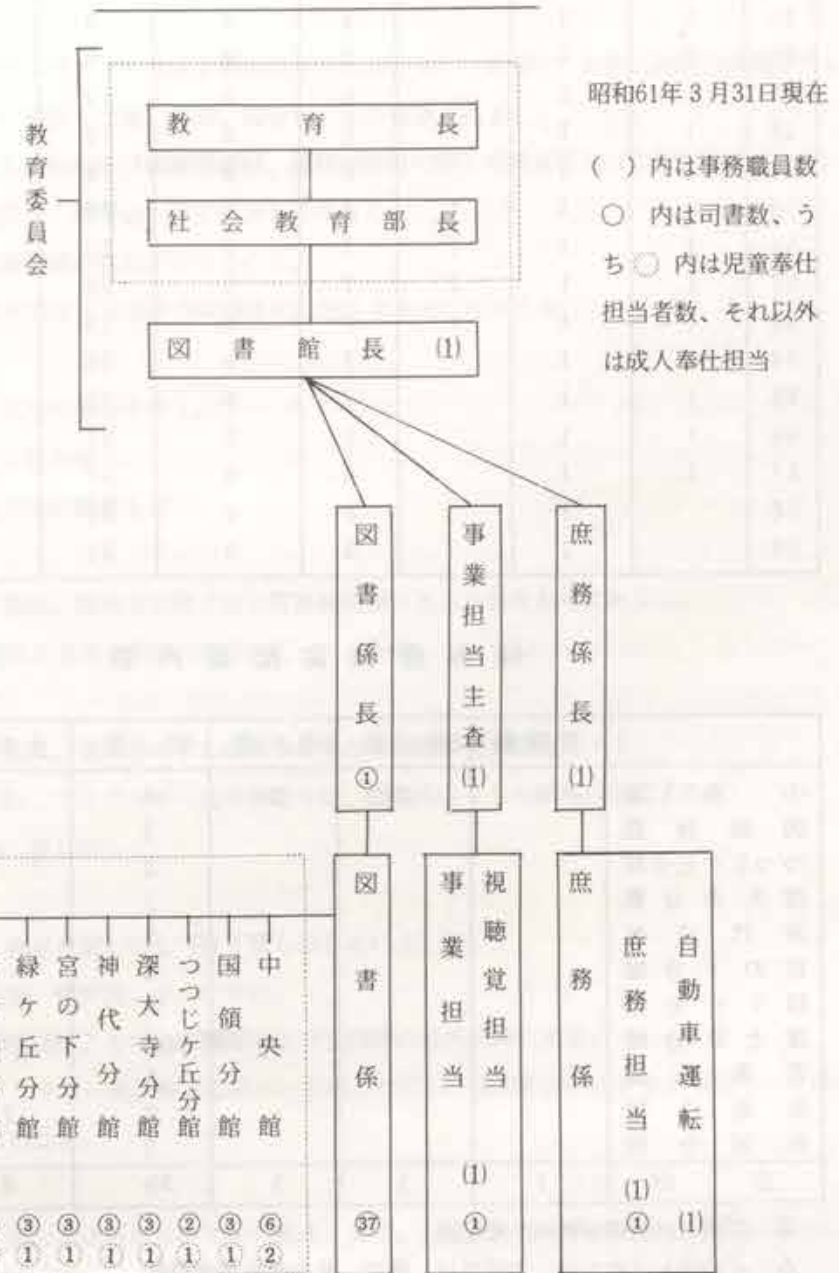
- (1) 公印の保管に関する事。
- (2) 文書の收受、発送に関する事。
- (3) 施設、設備の維持管理に関する事。
- (4) 企画運営統計及び調査に関する事。
- (5) 関係各機関との連絡に関する事。
- (6) 予算の編成及び執行に関する事。
- (7) 館内の取締りに関する事。
- (8) その他、他係に属さない事項に関する事。

図書係

- (1) 図書資料並びに視聴覚資料の収集、整理、保管及び利用に関する事。
- (2) 整本及び修理に関する事。
- (3) 読書案内及び読書相談に関する事。

- (4) 読書会、研究会、講演会、映写会、鑑賞会等の開催及び奨励に関する事。
- (5) 郷土資料に関する事。
- (6) 図書室の利用並びに管理に関する事。
- (7) 図書資料の相互貸借に関する事。

組 織 図



年度別職員数の推移

年度	名誉館長	館長	副館長	事務	中央館司書	分館司書	その他	計
41	1	(兼)1		2	2		1	7
42	1	1		2	4		1	9
43	1	1		3	4		2	11
44	1	1		4	4	2	2	14
45	1	1		4	4	4	2	16
46	1	1		3	4	8	2	19
47	1	1		5	5	10	3	25
48	1	1		5	6	10	4	27
49	1	1		6	5	18	6	37
50	1	1	1	7	5	20	8	43
51	1	1	1	7	6	20	7	43
52	1	1	1	7	6	22	6	44
53	1	1	1	7	6	23	8	47
54	1	1		7	6	24	8	47
55	1	1		7	6	27	8	50
56	1	1		8	6	27	7	50
57	1	1		6	8	30	7	53
58		1		6	8	31	8	54
59		1		5	9	31	8	54

60年度職員配置内訳

(昭和61.3.31)

	管理職	係長	事務	司書	その他	計
中央館	1	3	3	8	7	22
国領分館				3		3
つつじヶ丘分館				2		2
深大寺分館				3		3
神代分館				3		3
宮の下分館				3		3
緑ヶ丘分館				3		3
富士見分館				3		3
若葉分館				5		5
染地分館				3	1	4
佐須分館				3		3
合計	1	3	3	39	8	54

※ 事務とは司書以外の一般職員

※ その他とは協力員、委託要員、嘱託、社会教育指導員等

調布市視聴覚ライブラリー運営要綱

(昭和45年11月1日)
教育委員会要綱

第1章 総 則

(目 的)

1. この要綱は、調布市教育委員会規則に基づき、視聴覚ライブラリーの運営について必要な事項を定めることを目的とする。

(事 業)

2. 調布市視聴覚ライブラリー(以下調布市AVLという)の事業は、おおむね次の事業とする。
 - (1) 視聴覚教材、機材を収集、整理、保管し、その利用を図ること。
 - (2) 調布市AVLの利用及び視聴覚教材、機材の利用に関し調査研究及び指導を行なうこと。
 - (3) 試写会、鑑賞会、講習会、研究会等を行なうこと。
 - (4) 16ミリ発声映写機の登録を行なうこと。
 - (5) その他前項に規定する設置目的達成に必要な事業を行なうこと。

(職 員)

3. 調布市AVLに次の職員を置く。
 - (1) ライブラリー長を置く。
 - (2) 運営に必要な専任職員を置く。

(職員の資格)

4. ライブラリー長は、調布市に属する主管課長の職にあるものをもってあてる。
 - (2) その他の職員は当該主管課の職員がこれにあたる。

(職員の職責)

6. ライブラリー長は、調布市AVLの事務を掌り所属職員を指揮監督する。
 - (2) その他職員は、ライブラリー長の命をうけ、調布市AVLの事務に従事する。

第2章 貸し出し

(対 象)

7. 視聴覚機材、教材の貸し出し(以下貸し出しという)は
 - (1) 市内の幼稚園、保育園、小・中学校。
 - (2) 社会教育関係団体、その他公機関および公機関の関係団体とする。
 - (3) その他ライブラリー長が適当と認めたもの。ただし、営利を目的とするものについては貸し出しを行なわない。

(範 囲)

8. 貸し出しは1回の申込みについて次の範囲とする。ただし特別の理由の認められる場合はこの限りでない。

(1) 期間、貸し出しの日より3日以内。

(2) 貸し出し品目及び制限数については別表のとおりとする(略)。

(方 法)

9. 貸し出しを受けようとする者は、あらかじめ連絡し、3日前までに様式第1号の「視聴覚教育教具、教材用借用申請書」を提出すること。

(機材操作等について)

10. 16ミリ映写機ならびに16ミリ映画フィルムの操作をする者は、16ミリ発声映写機操作講習会修了証の所持者もしくは教育委員会の実施する一定の講習を受講し、技術検査に合格した者とする。

(転用の禁止)

11. 貸し出し機材等は転貸してはならない。

(使用料)

12. 貸し出しについては全て無料とする。ただし、利用者が貸し出し機材等を亡失し、または毀損した場合には現品または金銭をもって賠償させることができる。

(貸し出しの禁止)

13. 貸し出しを受けた者が教育委員会の諸規程に違反した場合は以後そのものの申込みに対してこれを拒否することがある。

(返納及び報告)

14. 貸し出しを受けた者は、貸し出し期間内に様式第2号「視聴覚教育機材利用報告書」又は様式第3号の「視聴覚教材利用報告書」を添えて返納しなければならない。

(2) 貸し出しを受けた者は、返納と同時に機材、教材の異常の有無について報告しなければならない。

(施 行)

15. この要綱は、昭和45年11月1日より施行する。

調布市立図書館録音テープ図書貸出要綱

(昭和56年7月25日)
教育委員会要綱第3号

第1 目 的

この要綱は、一般出版物のままでは図書資料を利用できない者に教養、調査、レクリエーション等に係る聴覚資料(以下「録音テープ図書」という。)を貸し出すことにより、図書館利用の拡大を図ることを目的とする。

第2 対 象

録音テープ図書の貸出を受けることができる者(以下「利用者」という。)は、次の各号の一に該当するものとする。

- (1) 視聴障害者
- (2) 寝たきり老人
- (3) 重度の肢体不自由者
- (4) 前各号に掲げるもののほか、図書館長が適当と認めた者

第3 利用方法

録音テープ図書の利用方法は、調布市立図書館館則(昭和41年調布市教育委員会規則第1号)第6条、第9条及び第10条の規定の例による。ただし、図書館長が特に必要があると認めるときはこの限りでない。

2 第2第1号に規定する者の利用方法は、郵便法(昭和22年法律第165号)第26条第1項第3号の規定により差し出すことができる。

第4 損害賠償の義務

利用者は、録音テープ図書の利用に際し、当該録音テープ図書を故意又は重大な過失により亡失又は著しく汚損若しくはき損した場合は、現品又は相当の代価をもって損害額を賠償しなければならない。

附 則 この要綱は、昭和56年8月1日から施行する。

調布市立図書館集会室使用基準

(昭和57年9月1日
教育委員会基準)

第1 この基準は、調布市立図書館集会室（以下「集会室」という。）の使用について、必要な事項を定めるものとする。

第2 集会室の名称及び収容人員は、次のとおりとする。

名 称	収 容 人 員
調布市立図書館深大寺分館集会室	30 人
調布市立図書館神代分館集会室	30 人
調布市立図書館宮の下分館集会室	40 人
調布市立図書館富士見分館集会室	40 人
調布市立図書館若葉分館集会室	55 人

第3 集会室の使用時間は、休館日を除き次のとおりとする。ただし、調布市立図書館長（以下「館長」という。）が特に必要があると認めるときはこの限りでない。

	午 前	午 後	夜 間
時 間	9時30分から 12時まで	1時から 5時まで	6時から 9時まで

備考 神代分館集会室及び若葉分館集会室は、夜間の使用ができないものとする。

第4 集会室を使用しようとする者は、使用申請書（第1号様式）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

2 前項に規定する使用申請書の提出は、使用しようとする日（以下「使用日」という。）の1月前（その日が休館日に当たるときは、その直後の開館日）から、使用日の前日（その日が休館日に当たるときは、その前日）までとする。ただし、館長が特に必要があると認めるときはこの限りでない。

3 集会室の使用は、官公署及び市民団体並びに市民サークルが主催する会議又は催物とし、個人が主催する催物等は使用できないものとする。

第5 使用の承認は、申込みの順序による。ただし、申込みが同時のときは、協議若しくは抽せんにより定める。

2 館長は、第4の申請について使用を承認したときは、使用承認書（第2号様式）を当該申請をした者に交付する。

第6 使用の承認を受けた者（以下「使用者」という。）が第4の規定により承認を受けた事項を変更するときは、その内容を速やかに館長に届け出て、その承認を受けなければならない。

第7 館長は、次の各号の一に該当すると認めるときは、その使用を承認しない。

- (1) 公益を害し、風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 営利を目的として使用するとき。
- (3) 管理上支障があるとき。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、館長が使用を不相当と認めるとき。

第8 集会室の使用は、無料とする。

第9 使用者又は入場者は、係員の指示に従って、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 入場人員は、適正収容人員を標準とすること。
- (2) 施設及び設備の管理を適正に行うこと。
- (3) 火気又は電熱器等を使用するときは、あらかじめ係員の許可を受け、火災予防及び事故防止に万全を期すること。
- (4) 集会室での飲食はしないこと。ただし、館長が特に必要があると認めるときはこの限りでない。
- (5) 館長の許可なく、物品を販売し、又は金品の寄附募集等を行わないこと。
- (6) 環境衛生上思わしくないものを持ち込み、又は使用しないこと。
- (7) 図書館利用者及び近隣住民の迷惑となるような行為を行わないこと。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、館長が特に必要があると認めるとき。

第10 館長は、使用者が次の各号の一に該当すると認めるときは、使用の承認を取消し、又は使用を制限し、若しくは停止することができる。

- (1) 使用の目的に違反したとき。
- (2) この基準、又は承認の条件に違反したとき。
- (3) 著しく騒音又は振動若しくは臭気を発する行為があったとき。
- (4) 災害その他の事故により、集会室の使用ができなくなったとき。
- (5) 工事その他の都合により、館長が特に必要があると認めるとき。

第11 第3に規定する集会室の夜間使用については、次の各号に掲げるところによる。

- (1) 使用者は、使用日午後5時までに係員と鍵の受渡しを行うこと。
- (2) 使用者は、集会室の使用を終了したときは、鍵を所定の位置へ返納すること。

第12 使用者は、集会室の使用を終了したときは、施設及び設備を原状に回復しなければならない。又、第10の規定により、使用を停止され、若しくは使用の承認を取り消されたときも同様とする。

第13 使用者は、集会室の使用を終了したときは、使用報告書（第3号様式）を館長に提出しなければならない。

2 前項に規定する使用報告書は、使用終了後直ちに提出するものとする。又、夜間に使用した場合は、第11第2号に規定する鍵の返納と共に所定の位置に提出するものとする。

第14 使用者は、集会室の使用に際し、施設及び設備等に損害を生ぜしめた場合は、館長が相当と認める損害額を賠償しなければならない。ただし、館長がやむを得ない理由があると認めるときは、その額を減額し、又は免除することができる。

附 則

この基準は、昭和57年9月1日から施行する。

4. 事務分掌表

昭和61年10月1日現在

館長	係長	係名	分掌事務	職 種	氏 名	備 考
	係長 小林忠司	庶務	予算の執行に関すること 館の管理に関すること 経理に関すること 広報に関すること 館内の庶務に関すること	司書 事務 事務		
館長	主査 金沢敬	事業	集会、行事に関すること ブッククラブに関すること 視聴覚ライブラリーに関すること	事務 司書 (社会教育) 指導員		
森	係長 座間直社	図 央	中央館の運営・管理に関すること	司書 司書 司書 司書		布田4～17～5 (81) 7661
正			障害者サービスに関すること	(嘱託)		
克		座	図書整理等	(委託) (委託) (協力員) (協力員)		
間		直	国領分館	国領分館の運営・管理に関すること	司書 司書	
社	書	つつじヶ丘分館	つつじヶ丘分館の運営・管理に関すること	司書		西つつじヶ丘 4～23～6 (85) 2000

館長	係長	係名	分掌事務	職種	氏名	備考
森 正 克	館 長 座 間 直 社	図 書	深大寺分館	深大寺分館の運営・管理に関すること	司書 司書 司書	深大寺北町 5-6-1 (85) 3350
			神代分館	神代分館の運営・管理に関すること	司書 司書 司書	西つつじヶ丘 1-40-2 (86) 0054
			宮の下分館	宮の下分館の運営・管理に関すること	司書 司書 司書	上石原 3-34-10 (86) 5798
			緑ヶ丘分館	緑ヶ丘分館の運営・管理に関すること	司書 司書 司書	緑ヶ丘2-25 03(300) 7672
			富士見分館	富士見分館の運営・管理に関すること	司書 司書 司書	富士見町 2-3-26 (81) 7664
			若葉分館	若葉分館の運営・管理に関すること	司書 司書 司書 司書	若葉町 3-16-13 03(309) 3411
			染地分館	染地分館の運営・管理に関すること	司書 司書 司書 (協力員)	染地3-3-1 (88) 8393
			佐須分館	佐須分館の運営・管理に関すること	司書 司書 司書	佐須町 4-42-2 (85) 1306

X 年 表

昭和 60 年度のおゆみ

60. 4. 1 貸出券更新(各館名入及び館名なしの両方を作成)
職員人員 新規採用職員(司書)2名(欠員補充)
嘱託職員(時村幸子)新任、担当 障害者サービス
社会教育指導員(浅野哲郎・林 一夫)新任、担当 読書会
協力員(井出千代子、橋本京子、木田じゅん子)委嘱
新刊雑誌の貸出試行開始(若葉、緑ヶ丘、国領の3館で試行)
- 3 教育広報「ちょうふの教育」編集会議発足(No.1 第1回)
- 7 高架下資料保存庫電話開通
- 10 文芸図書の直接事前注文制度発足(文芸書関係の出版社9社)
- 12 朗読ボランティアの集い
- 17 第7回生涯教育推進調査研究会(社会教育部各課係長がメンバー)、「社会教育事業(生涯教育)の現状について」と題し中間報告を行う
- 20 小学生読書会会員募集
5. 目録カード記入用筆記用具、デスク・ペン(プラチナ・カーボンペン)を採用
- 9 ファイリングシステム説明会(事務文書の管理)
- 17 朗読ボランティア講座 ~11.22まで(延べ10回)
- 18 白百合女子大学司書課程学生見学 50名(緑ヶ丘分館)
- 22 染地分館事務室模様替え(地域センター事務室を分離)
- 24 高架下資料保存庫、除湿機据付け
染地分館事務室の使用方法について社会課と協議、以後2回会合を持つ
- 25 図書館だより第110号発行「図書館のなかの中学生」
- 28 特別整理(曝書)つつじヶ丘、深大寺、神代、緑ヶ丘、若葉~6.6まで
日本道路公団八王子管理事務所助役他6名、高架下資料保存庫を視察
- 29 高架下資料保存庫電動式集密書架据付工事 ~6.27まで
16ミリ映写機操作講習会(午前の部)受講者42名~6.2まで

60. 6. 5 16ミリ映写機検定 検定台数89台 ～6.7まで
- 11 高架下資料保存庫固定式書架設置
- 14 染地分館事務室内に事務用書架設置
- 19 著者を囲む会 (増田みず子)
- 20 高架下資料保存庫へ資料搬入(緑ヶ丘、若葉、佐須、染地、宮の下、富士見の各館から) ～7.5まで
- 25 16ミリ映写機操作講習会(夜間の部)受講者36名 ～6.29まで
調布ブッククラブ世話人会
- 28 教育講座(伊藤隆二)
- 29 点訳講習会(伊藤夏三郎) ～7.13まで(延べ3回)
7. 9 教育講座(河井芳文)
実習生受入(図書館情報大・4年)1名 ～7.28まで
- 10 第2次「事務事業の見直し」について職員会議に協力要請、91件提案する
- 11 整理委託要員の代替 1名(段木万里子) ～10.5まで
- 18 教育講座(遠藤豊吉)
公民館預りの図書すべてを搬出、高架下資料保存庫へ配架
- 19 高架下資料保存庫の整理要員(百合田敬依子) ～8.17まで
- 21 緑ヶ丘分館プレハブ書庫解体撤去
- 23 夏期特別開館(中央館) ～8.31まで 協力:白百合女子大学
- 25 図書館だより第111号発行「夏休み・図書館を上手に使いましょう。」
- 26 中央館自転車置場整備 樹木を撤去し拡張をはかる
- 30 若葉分館おはなし室床面改修工事 ～8.4まで
8. 6 実習生受入(立教大学 4年)1名 ～8.20まで
- 30 文書管理説明会
札幌市中央図書館より視察
9. 1 実習生受入れ(慶応大学 3年)1名 ～9.14まで
佐須分館町名地番改正 佐須町4-42-2
- 18 埼玉県富士見市立図書館より視察
- 25 図書館だより第112号発行「暮しと農業を考える」
- 27 北海道婦人教育指導者国内研修生の視察 11名

9. 27 調布ブッククラブ総会
著者を囲む会(山本茂實)
10. 11 中央大学司書課程学生見学
16 分館応援体制の変更
19 座談会(山田太一)
11. 1 絵本リスト「このほんよんで」刊行 11.7から図書館窓口で無料配布
6 講演会(山下一海)
7 児童文学講座(板倉聖宣) 2回目 11.14
20 地域講演会(中西 龍)
25 図書館だより113号発行「武者小路実篤記念館-ゆかりの地仙川にオープン」
27 深大寺分館外周工事着工 ～12.11まで
29 長野県児童福祉審議会図書審査委員会審査委員の視察 6名
12. 6 東京工業大学からの町丁別登録分布状況調査実施の依頼があり、資料提供する(集計結果は73頁～を参照)
10 我孫子市民図書館より視察
14 年末特別貸出開始 ～12.27まで
23 中央館外壁塗装及び改修工事着工 ～2.14まで
61. 1. 11 国領小学校との打合せ、就学中の盲児の状況と今後の協力について
22 高架下資料保存庫固定式書架据付け(第二期)
24 時局講演会(鶴見良行)
28 調布ブッククラブ世話人会
30 点訳講習会(図書館職員)
2. 2 第14回図書館まつり開催 ～3.7まで
5 図書館だより第114号発行「このほんよんで」1歳から6歳までの絵本」
6 地域講演会(藤原てい)
14 保谷市図書館協議会委員の視察 7名
18 実習生受入(東京学芸大学 3年)1名 ～3.2まで
25 手袋人形講習会(三木和子)

61. 3. 11	特別整理(曝書)中央館 ～3.20まで	13
13	調布ブッククラブ世話人会	19
19	文化講演会(立川昭二)	23
23	大雪のため繰り上げ閉館 分館3時、中央館5時閉館	25
25	図書館だより第115号発行「第14回図書館まつり」	31
31	職員の退職 1名(運転手)	

数字で見る図書館活動

昭和61年版
 昭和61年10月30日 発行
 編集・発行
 調布市立図書館
 編集委員会
 〒182 調布市布田4-17-5
 電話 0424(81)7661
 印刷 (株)天沼印刷

